




(仮称) 賀茂川学園整備に伴う 放課後児童クラブ新築工事

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙・目次	—	S-1	建築工事特記仕様書(構造関係)(1)	—	E-01	電気設備特記仕様書	—	M-01	特記仕様書(一般共通事項)	—
A-01	木造建築工事仕様書(1)	—	S-2	建築工事特記仕様書(構造関係)(2)	—	E-02	付近見取図	1:2500	M-02	特記仕様書(工種別事項)	—
A-02	木造建築工事仕様書(2)	—	S-3	木造建築工事仕様書(構造関係)(1)	—	E-03	配置図	1:300	M-03	全体配置図	1:500
A-03	建築工事特記仕様書(1)	—	S-4	木造建築工事仕様書(構造関係)(2)	—	E-04	コンセント・構内交換・テレビ共同受信設備配線図	1:50	M-04	給排水衛生設備 器具表・樹リスト・勾配図・平面図	1:50
A-04	建築工事特記仕様書(2)	—	S-5	構造関係共通事項(1)	—	E-05	電灯・動力設備配線図	1:50	M-05	空調和・換気設備 機器表・1階平面図	1:50
A-05	建築工事特記仕様書(3)	—	S-6	構造関係共通事項(2)	—						
A-06	建築工事特記仕様書(4)	—	S-7	構造関係共通事項(3)	—						
A-07	設計概要・付近見取図	1:2500	S-8	構造関係共通事項(4)	—						
A-08	敷地求積図	1:500	S-9	木造軸組接合部標準図(1)	—						
A-09	配置図(改修前後)	1:200	S-10	木造軸組接合部標準図(2)	—						
A-10	仕上表、求積表	1:100	S-11	木造軸組接合部標準図(3)	—						
A-11	平面図、屋根・天井伏図、立面図、断面図	1:100	S-12	木造軸組接合部標準図(3B)	—						
A-12	平面詳細図、矩計図	1:50	S-13	木造軸組接合部標準図(4)	—						
A-13	展開図	1:50	S-14	地質調査図	—						
A-14	建具表、法令チェックリスト	1:100	S-15	基礎伏図	1:50						
A-15	部分詳細図	1:20・10・5	S-16	1階柱壁土台伏図	1:50						
A-16	仮設計画図	1:500	S-17	陸梁レベル梁床伏図	1:50						
			S-18	登り梁、母屋伏図	1:50						
			S-19	軸組図(1)(A, E, I, M通)	1:100						
			S-20	軸組図(2)(1, 5, 8, 11, 14, 15通)	1:100						
			S-21	基礎リスト、部材リスト	—						

御承認	記事	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第322322号 小笠原 勲	校閲  設計 	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 表紙・目次	設計年月日 2025. 03.	図面番号 A-00 縮尺 —
-----	----	---	--	------------------------	--	--	--------------------	-------------------------

11 防水工事	1	FRP系透膜防水	・ ルーフドレン ・ FRP系透膜防水用ルーフレドレン ・ 鉄製 ・ オーバーフロー管 ※ つけ付き 製造所の指定する製品 ・ 下地合板の上の防火板 種類 (※ ケイ酸カルシウム板) 厚さ (※ 10mm) 防水層平場の勾配 ※ 1/100以上 水張り試験 ・ 行う	<11.2.2, 4>
	2	シーリング	下記以外は、木造標準仕様書表11.3.11による。 ただし、外装壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。 シーリング材の種類 (記号) シーリング材の目地寸法 ※ 木造標準仕様書11.3.3(1)(ア)~(ウ)による	<11.3.2> <表11.3.1> <11.3.3>
	3	防水テープ	両面粘着防水テープの幅 ※ 50mm以上	<11.4.2>
	4	バルコニー手すり	バルコニー手すりの工法 ※ 木造標準仕様書11.4.3(イ)~(エ)までによる固定方法 ・ 図示	<11.4.3>
	5	ケイ酸質系塗布防水	防水層の種類 種類 施工箇所 種別 施工箇所 ※ C-U-I C-U-P	<11.5.1>(9.6.1, 3) (表9.6.1, 2)

12 土留工事	13	【建築工事特記仕様書(1)を流用する】	
	14	材料	下葺材料 ※ 改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ) ○ アスファルトルーフィング940 改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・ 行う

14 屋根及び土留工事	15	金属板葺	板及びコイルの種類 ※ JIS G 3322の屋根用コイル 溶融 - 55% アルミニウム - 溶融合金めっき鋼板 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 厚さ (mm) 屋根葺形式 ・ 平葺 (一文字葺) ・ 心木あり瓦葺葺 ・ 心木なし瓦葺葺 ・ 横葺 ・ 立平葺 固定釘等の材質 心木の防蟻・防蟻処理方法 ・ 平葺 (一文字葺) の工法 はげの作り方 ※ 図示 ・ 心木あり瓦葺葺の工法 鋼板以外の板による屋根一般部分の工法 溝板及びキャップの留付け方法 ※ 木造標準仕様書14.3.5(3)(7)(a)による 瓦葺の間隔 ※ 図示 鋼板による屋根一般部分の工法 瓦葺の間隔 ※ 図示 ○ 心木なし瓦葺葺の工法 屋根の流れ方向に並行な壁との取合い部 ・ 雨押えを付ける場合 ※ 木造標準仕様書14.3.6(イ)(a)による ・ 雨押えを用いない場合 ※ 木造標準仕様書14.3.6(イ)(b)による 工法 吊子、各部の釘の留付け間隔 ・ 図示 1章 適用区分による風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 雪止め ・ 設置する (施工箇所 ・ 図示)	<14.2.2> <14.3.2~8>
----------------	----	------	---	------------------------

14 屋根及び土留工事	16	折板葺	施工箇所 形式 山高、山ピッチによる区分 耐力による区分 材料による区分 厚さ (mm) 軒先 耐火性能 山高 山ピッチ () 種 ※ 鋼板葺 ・ アルミニウム合金板葺 ・ 重ね形 ・ はげ締め形 材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () 断熱材張り ・ 行う (断熱材の種類: 厚さ (mm): 防火性能: 時間) ・ 行わない タイフレームを留め付ける下地材 材質 形状 寸法 工法 1章 適用区分による風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 耐雪性能に対応した工法 ・ 適用する ・ 適用しない	<14.4.2, 3> <表14.3.1>
----------------	----	-----	--	-----------------------

14 屋根及び土留工事	17	金属板葺	材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () 断熱材張り ・ 行う (断熱材の種類: 厚さ (mm): 防火性能: 時間) ・ 行わない タイフレームを留め付ける下地材 材質 形状 寸法 工法 1章 適用区分による風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 耐雪性能に対応した工法 ・ 適用する ・ 適用しない	<14.4.2, 3> <表14.3.1>
----------------	----	------	---	-----------------------

20 ユニット及びその他の工事	4	粘土瓦葺	種類 形状による区分 製法による区分 寸法による区分 大きさ 産地等 ・ J形瓦 ・ S形瓦 ・ F形瓦 ※ 図示 瓦葺木 材質 ※ 杉 寸法 ※ 木造標準仕様書14.5.2(2)(ア)による ・ 図示による 防蟻・防蟻処理の種類 棟補強用金物 材質 ※ 杉 寸法 ※ 木造標準仕様書14.5.2(3)による ・ 図示による 防蟻・防蟻処理の種類 瓦葺用釘又はねじ 種類 材質等 径及び長さ ・ 瓦葺用釘 ステンレス製 ・ 瓦葺用ねじ ステンレス製 棟補強用金物等 種類 材質等 形状、寸法及び留付け方法 ・ 棟補強用金物 ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製 工法 1章 適用区分による風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 瓦の緊結方法等工法 ※ 図示による 瓦葺木の留付け工法 ※ 図示 棟の工法 ※ 木造標準仕様書14.5.3(4)(7)から(9)までによる 面戸、省口及び葺士の露出する瓦葺合部に仕上げを施す場合 ・ モルタル ・ 瓦葺き用しっくい	<14.5.2, 3>
--------------------	---	------	---	-------------

20 ユニット及びその他の工事	5	スレート葺	種類 寸法 (mm) 役物 着色 (色調) 備考 (全長さ×全幅) 棟 けらば ・ 平形 ・ 波形 ・ 有 () ・ 有 () 工法 1章 適用区分による風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 雪止め ・ 設置する (図示)	<14.6.2>
--------------------	---	-------	--	----------

20 ユニット及びその他の工事	6	アスファルトシングル葺	品質 形状 色調 寸法 (mm) 備考 工法 1章 適用区分による風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 軒先、けらば等に曲面を設ける場合 ※ 半径500mm以上 雪止め ・ 設置する (図示)	<14.7.2>
--------------------	---	-------------	---	----------

20 ユニット及びその他の工事	7	とい	工法 1章 適用区分による風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 軒先、けらば等に曲面を設ける場合 ※ 半径500mm以上 雪止め ・ 設置する (図示)	<14.8.2, 3> <表14.8.1>
--------------------	---	----	--	-----------------------

20 ユニット及びその他の工事	15	金属板葺	材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () 断熱材張り ・ 行う (断熱材の種類: 厚さ (mm): 防火性能: 時間) ・ 行わない タイフレームを留め付ける下地材 材質 形状 寸法 工法 1章 適用区分による風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 耐雪性能に対応した工法 ・ 適用する ・ 適用しない	<14.4.2, 3> <表14.3.1>
--------------------	----	------	---	-----------------------

20 ユニット及びその他の工事	1	断熱材等材料	ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・ 断熱材 施工箇所 ※ 図示 断熱材の種類 材料名 規格番号 厚さ又は使用量 分類 材料名 規格番号 厚さ又は使用量 ○ フェルト状断熱材 ・ グラスウール ・ ロックウール ・ ボード状断熱材 ・ グラスウール ・ ロックウール ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム ・ 押出法ポリスチレンフォーム ・ 硬質ウレタンフォーム ・ ポリエチレンフォーム ・ フェノールフォーム ・ インシュレーションファイバー ・ ばら状断熱材 ・ グラスウール ・ ロックウール ・ セルローズファイバー ・ 現場発泡断熱材 ・ 吹付硬質ウレタンフォームA種1又はA種1H (難燃性を有するもの) 現場発泡断熱材 (品質・性能) 項目 品質・性能 難燃性 下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカローリー試験) に適合していること。 発熱性 準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な蒸気まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。 (試験方法) (1) 原液試験 (原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。	<20.1.2~4>
--------------------	---	--------	--	------------

20 ユニット及びその他の工事	2	排水工事	排水工事 排水工事 排水工事 排水工事
--------------------	---	------	------------------------------

20 ユニット及びその他の工事	3	舗装工事	舗装工事 舗装工事 舗装工事
--------------------	---	------	----------------------

20 ユニット及びその他の工事	4	【建築工事特記仕様書(4)を流用する】	
--------------------	---	---------------------	--

20 ユニット及びその他の工事	5	金属板葺	材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () 断熱材張り ・ 行う (断熱材の種類: 厚さ (mm): 防火性能: 時間) ・ 行わない タイフレームを留め付ける下地材 材質 形状 寸法 工法 1章 適用区分による風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 耐雪性能に対応した工法 ・ 適用する ・ 適用しない	<14.4.2, 3> <表14.3.1>
--------------------	---	------	---	-----------------------

20 ユニット及びその他の工事	2	窯業系サイディング工事	サイディング材 種類 形状 働き長さ 厚さ 表面仕上げ 耐凍害性能 防火耐火性能 ・ n'67繊維混入セメント板 張り方 ・ 縦張り工法 ○ 横張り工法 換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3)(イ)(c)①から④までによる ・ 図示 現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ 通気胴縁 樹種 ※ 杉 寸法 ※ 図示 通気胴縁の防蟻処理方法 (シーリング 寸法 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3)(イ)による)	<20.3.2>
--------------------	---	-------------	---	----------

20 ユニット及びその他の工事	3	複合金属サイディング工事	サイディング材 種類 形状 有効幅 長さ 厚さ 表面材 防火耐火性能 (mm) (mm) (mm) しん材の種類 張り方 ・ 縦張り工法 ・ 横張り工法 換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3)(イ)(c)①から④までによる 通気胴縁 樹種 ※ 杉 寸法 ※ 図示 通気胴縁の防蟻処理方法 ()	<20.3.3>
--------------------	---	--------------	--	----------

20 ユニット及びその他の工事	4	A L Cパネル (清形パネル) 工事	清形パネル パネルの区分 形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 長さ (mm) ・ 一般パネル ・ コーナーパネル 取付け ・ 縦張り工法 ・ 横張り工法 構造 ・ 通気構造 ・ 直張り構造 通気胴縁 樹種 ※ 杉 通気胴縁の防蟻処理方法 ()	<20.4.2, 3>
--------------------	---	---------------------	---	-------------

20 ユニット及びその他の工事	5	金属板葺	材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () 断熱材張り ・ 行う (断熱材の種類: 厚さ (mm): 防火性能: 時間) ・ 行わない タイフレームを留め付ける下地材 材質 形状 寸法 工法 1章 適用区分による風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 耐雪性能に対応した工法 ・ 適用する ・ 適用しない	<14.4.2, 3> <表14.3.1>
--------------------	---	------	---	-----------------------

20 ユニット及びその他の工事	6	金属板葺	材料 板及びコイルの種類 () 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 () 断熱材張り ・ 行う (断熱材の種類: 厚さ (mm): 防火性能: 時間) ・ 行わない タイフレームを留め付ける下地材 材質 形状 寸法 工法 1章 適用区分による風圧力の (※ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 耐雪性能に対応した工法 ・ 適用する ・ 適用しない	<14.4.2, 3> <表14.3.1>
--------------------	---	------	---	-----------------------

5	仕上塗材仕上げ	建物内部に使用する塗材のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2) ※ F☆☆☆☆ 仕上塗材の種類 ・ 薄付け仕上塗材	網戸等	形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面処理 外部に面する建具 種別 ・ BB-1種 ○BB-2種 色合等 ※ 標準色 () ・ 特注色 () 屋内の建具 種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種 色合等 ※ 標準色 () ・ 特注色 () 結露水の処理方法 ※ 図示 取付工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示 木下地の場合の内付け建具 ・ 適用しない ・ 適用する	10	木製建具	(16.7.2~4)	建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※標準仕様書16.7.2(2)(4)による 表面材の品質等	<table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 普通合板</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※ しな合板程度) 板面の品質 (※ 広葉樹1等) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ○ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・ 1類 ○ 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF)</td> <td>表面裏の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 接着剤による区分 () 難燃性による区分 ()</td> <td></td> </tr> </table>	合板の種類	規格等	備考	・ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※ しな合板程度) 板面の品質 (※ 広葉樹1等) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)		・ 天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)		○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ○ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・ 1類 ○ 2類)		・ ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF)	表面裏の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 接着剤による区分 () 難燃性による区分 ()		<p><鍵違い></p> <p>1) 鍵違い数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効な(鍵)違い数とみなさないものとする。</p> <p>2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一既みは、最大2連続までとしていること。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物一般-第1部:試験方法)による。</p> <p>【レバーハンドル】 (性能) <ねじり強度> レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</p> <p><引張り強度> ハンドルの引張り強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</p> <p><垂直荷重強度> ハンドルの垂直荷重強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。</p> <p>試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物一般-第1部:試験方法)による。</p> <p>クローザー類 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>① ドアクローザー</th> <th>② ヒンジクローザー</th> <th>③ フロアヒンジ</th> </tr> <tr> <td>性能試験項目</td> <td>Grade2</td> <td>Grade2</td> <td>Grade2</td> </tr> <tr> <td>閉じ速度 (秒)</td> <td>閉じモーメント (N・m) 効率 (%)</td> <td>閉じモーメント (N・m) 効率 (%)</td> <td>閉じモーメント (N・m) 効率 (%)</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>5以上 30以上</td> <td>5以上 30以上</td> <td>5以上 30以上</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10以上 30以上</td> <td>10以上 30以上</td> <td>10以上 30以上</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>15以上 35以上</td> <td>15以上 35以上</td> <td>15以上 35以上</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>25以上 40以上</td> <td>25以上 40以上</td> <td>25以上 40以上</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>35以上 45以上</td> <td>35以上 45以上</td> <td>35以上 45以上</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>45以上 45以上</td> <td>45以上 45以上</td> <td>45以上 45以上</td> </tr> </table> <p>閉じ速度 (秒) ※ 常温 (5~35℃) 無風状態において、閉扉 (70°) から全開 (0°) までの時間を5~8秒に調整できること。</p> <p>温度依存性 (℃) ※ 軽油の流動点は、JIS K 2269 (原油及び石油製品の流動点並びに石油製品の蒸気点試験方法) により測定し、-15℃以下であること。</p> <table border="1"> <tr> <th>ストローク力</th> <th>ストローク入力</th> <th>ストローク出力</th> <th>ストローク耐力</th> </tr> <tr> <td>Grade2</td> <td>60N・m以下 但し、コンシールド型は 200N・m以下</td> <td>100N・m以下</td> <td>100N・m以下</td> </tr> <tr> <td>Grade1</td> <td>8N・m以上</td> <td>3N・m以上</td> <td>10N・m以上</td> </tr> </table> <p>バックチェック性能 (秒) (バックチェック機能を有する機種のみ適用) ドア開扉方向に荷重60N/m2を5秒間から負荷する。バックチェック開始角度 (70~85°) から更に20°まで開閉の時間は0.8秒以上としていること。</p> <p>ディレードアクション性能 (秒) (ディレードアクション機能を有する機種のみ適用) 開扉90°の位置からディレードアクション解除度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。</p> <p>戸の開閉位置 (中心吊り込み自由のみに適用)</p> <table border="1"> <tr> <th>戸の開閉位置</th> <th>Grade2</th> <th>Grade1</th> <th>Grade0</th> </tr> <tr> <td>Grade2</td> <td>±3mm以内</td> <td>±3mm以内</td> <td>±3mm以内</td> </tr> </table> <p>耐久性的試験回数 (繰り返し開閉回数) Grade2 20万回 Grade1 10万回 Grade0 30万回</p> <p>注1. バラレ取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。 注2. コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。 Grade1を選定する場合は、図示による。</p> <p>1) 性能試験は、JIS A 1510-3 (建築用ドア金物の試験方法-第3部:フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ) に規定する試験方法による。 2) 試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。</p> <p>マスターキー ※ 製作する (2 組) ・ 製作しない ・ 既存に相込む 鍵の製作本数 ※ 各室3本1組 (室名札付き) 鍵筒 ・ 設ける (備用組) ○ 設けない</p>	区分	① ドアクローザー	② ヒンジクローザー	③ フロアヒンジ	性能試験項目	Grade2	Grade2	Grade2	閉じ速度 (秒)	閉じモーメント (N・m) 効率 (%)	閉じモーメント (N・m) 効率 (%)	閉じモーメント (N・m) 効率 (%)	1	5以上 30以上	5以上 30以上	5以上 30以上	2	10以上 30以上	10以上 30以上	10以上 30以上	3	15以上 35以上	15以上 35以上	15以上 35以上	4	25以上 40以上	25以上 40以上	25以上 40以上	5	35以上 45以上	35以上 45以上	35以上 45以上	6	45以上 45以上	45以上 45以上	45以上 45以上	ストローク力	ストローク入力	ストローク出力	ストローク耐力	Grade2	60N・m以下 但し、コンシールド型は 200N・m以下	100N・m以下	100N・m以下	Grade1	8N・m以上	3N・m以上	10N・m以上	戸の開閉位置	Grade2	Grade1	Grade0	Grade2	±3mm以内	±3mm以内	±3mm以内
		合板の種類								規格等	備考																																																																						
・ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※ しな合板程度) 板面の品質 (※ 広葉樹1等) 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)																																																																																
・ 天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)																																																																																
○ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ○ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・ 1類 ○ 2類)																																																																																
・ ミディアムデンシティ ファイバーボード (MDF)	表面裏の状態による区分 () 曲げ強さによる区分 () 接着剤による区分 () 難燃性による区分 ()																																																																																
区分	① ドアクローザー	② ヒンジクローザー	③ フロアヒンジ																																																																														
性能試験項目	Grade2	Grade2	Grade2																																																																														
閉じ速度 (秒)	閉じモーメント (N・m) 効率 (%)	閉じモーメント (N・m) 効率 (%)	閉じモーメント (N・m) 効率 (%)																																																																														
1	5以上 30以上	5以上 30以上	5以上 30以上																																																																														
2	10以上 30以上	10以上 30以上	10以上 30以上																																																																														
3	15以上 35以上	15以上 35以上	15以上 35以上																																																																														
4	25以上 40以上	25以上 40以上	25以上 40以上																																																																														
5	35以上 45以上	35以上 45以上	35以上 45以上																																																																														
6	45以上 45以上	45以上 45以上	45以上 45以上																																																																														
ストローク力	ストローク入力	ストローク出力	ストローク耐力																																																																														
Grade2	60N・m以下 但し、コンシールド型は 200N・m以下	100N・m以下	100N・m以下																																																																														
Grade1	8N・m以上	3N・m以上	10N・m以上																																																																														
戸の開閉位置	Grade2	Grade1	Grade0																																																																														
Grade2	±3mm以内	±3mm以内	±3mm以内																																																																														
※ 外装薄塗材E	呼称名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料																																																																												
・				・ 適用する	・																																																																												
・ 厚付け仕上塗材	呼称名	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り材	防火材料																																																																											
・				・ 適用する	・ 適用する	・																																																																											
・ 複層仕上塗材	呼称名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	防火材料																																																																												
※ 複層塗材E				溶媒 ※水系・弱溶媒系・溶媒系 樹脂 ※アクリル系(耐候性3種) ・ ポリウレタン系(耐候性2種) ・ アクリルシリコン系(耐候性1種) ・ ふっ素系(耐候性1種) 外観 ※つやあり ・ つやなし	・																																																																												
軽量骨材仕上塗材	呼称名	仕上げの形状	工法	防火材料																																																																													
・				・																																																																													
6	マステック塗材塗り	種類 ・ A種 ・ B種	(15.7.2)																																																																														
7	ロックワール吹付け	ロックワールのホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 仕上げ吹付け厚さ ・ 図示 ・ 25mm	(15.12.2.3)																																																																														
8	しっくい塗り	材料 ・ 既調合しっくい(種類等) 色しっくい ・ 適用する ・ 適用しない ・ 現場調合しっくい 下地 ・ せっこうボード ・ せっこうラスボード ・ モルタル塗り ・ 木ずり ・ こまい ・ 下塗りをせっこうプasterとし上塗りに使用する場合 既調合しっくいの場合 ・ せっこうボード下地 ※標準仕様書15.10.1 ・ モルタル塗り下地 ※標準仕様書15.10.2 ・ せっこうラスボード下地 ※製造所の仕様による 現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚 ・ 木ずり下地 ※標準仕様書15.10.3 ・ せっこうプaster下地、こまい下地 ※標準仕様書15.10.4 既調合しっくいの上塗り仕上げ工法 ・ なで切り仕上げ ・ パターン仕上げ	(15.10.2.3)																																																																														
9	こまい壁塗り	のりの種類 土壁用ののり ※ つのまた ・ ふのり ・ ぎんなんそう ・ 粉末海藻 砂壁用ののり ※ ふのり ・ つのまた ・ こんにやくのり ・ にかわ ・ 合成高分子系混和剤 色土の種類 土物仕上げに用いる色土 大津仕上げに用いる色土 色砂の種類 ・ 天然砂と岩石の砕砂 ・ 人工的に着色・製造したもの 下塗りの調合 ※ 標準仕様書15.11.2による 塗厚 ※ 標準仕様書15.11.8による ・ 建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 () こまい壁塗りの工程種別 ※ A種 ・ B種 土物仕上げの工法の種類 ・ 土物仕上げ工法 ・ 水ごね土物1工法 ・ 水ごね土物2工法 ・ のりさし土物工法 ・ のりこね土物工法 ・ 砂壁仕上げ工法 ・ 切り替え仕上げ工法 大津仕上げの工法の種類 ・ 普通大津仕上げ工法 ・ 大津みがき仕上げ工法 ちげじやくり ※ 図示による	(15.11.2~5, 7, 8)																																																																														
16	建具工事	1 防火戸 ・ 適用する 指定箇所 (※ 建具表による) (16.1.3) 2 見本の製作等 建具見本の製作 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない (16.1.4) 特殊な建具の仮組 ・ 行う (建具符号:) ・ 行わない 3 防犯建物部品 アルミニウム製建具 ・ 適用する 適用箇所 (※ 建具表による) (16.1.6) 性能値等 (16.2.2~5) (表14.2.1) (表16.2.1, 2) ※ 標準仕様書16.2.1による種別 外部に面する建具の種類 (コンクリート下地及び鉄骨下地) ・ A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) 外部に面する建具の種類 (木下地) ○ D種 (建具符号: ○ 全て ・ 建具表による) ・ E種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: ・ 建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (・ a角 ・ b角 ・ c角)	(16.1.3, 4, 6)																																																																														
7	鋼製建具	(16.2.2) (16.4.2~4.6) (表16.4.2) 性能値等 (建具符号: ・ 建具表による) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 鋼板の材料 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ 標準仕様書16.4.2による 標準型鋼製軽量建具の形状及び寸法 ※ 建具表による	(16.2.2) (16.4.2~4.6) (表16.4.2)																																																																														
8	鋼製軽量建具	(16.2.2) (16.5.2~4.6) (表16.5.1) 性能値等 (建具符号: ・ 建具表による) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 鋼板の材料 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ 標準仕様書16.5.1による 召合せ、軽小口色み板の材質 ※ 鋼板 標準型鋼製軽量建具の形状及び寸法 ※ 建具表による	(16.2.2) (16.5.2~4.6) (表16.5.1)																																																																														
9	ステンレス製建具	(16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5) 性能値等 (建具符号: ・ 建具表による) 簡易気密型ドアセット ・ 適用する 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 () 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 () 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304, SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (・ a角 ・ b角 ・ c角)	(16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5)																																																																														
校閲	藤本	設計	小原	設計年月日	2025.03.	工事名称	(仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事	図面番号	A-04																																																																								
校閲	藤本	設計	小原	設計年月日	2025.03.	図面名称	建築工事特記仕様書 (2)	縮尺	—																																																																								

13	自動ドア開閉装置 (表16.9.1)(表16.9.2)(16.9.2、3)	引き戸用駆動装置 性能 ※標準仕様書表16.9.1による 種類 ・ SSDL-1 ・ SSDL-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 ・ 車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置 性能 ※標準仕様書表16.9.2による 引き戸用検出装置 性能 ※標準仕様書表16.9.3による 種類 ・ 光線(反射)センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房スイッチの種類 ・ 大形(開・閉)押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ	
		戸の開閉方式 ※ 建具による 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない 凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない	
14	自閉式上吊り引戸装置 (試験方法) (1) 耐久性(開閉繰り返し)試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から閉端位置までの動作を確認できる試験を行う。開試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性を確認すること、試験に代えることができるものとする。 (2) 耐衝撃性試験 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。 耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。 適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 (3) 気密性試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。	性能等 ※ 標準仕様書表16.10.11による (16.10.3)	
		性能等 ※ 標準仕様書表16.10.11による (16.10.3)	
15	重量シャッター (16.11.2、3)	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 外壁開口部に設置する重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※ 電動式(手動併用) ・ 手動式 安全装置 急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ※ 図示 障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ※ 図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所 ※ 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼板) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき及び鋼板) めっきの付着量 ※ Z12又はF12を満足するもの ガイドレール、まてき、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板の材質 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1	性能等 ※ 標準仕様書表16.11.2、3による (16.11.2、3)
		性能等 ※ 標準仕様書表16.11.2、3による (16.11.2、3)	
16	軽量シャッター (16.12.2~4)	開閉方式の種類 ※ 手動式 ・ 電動式(手動併用) 耐風圧強度 () N/m ² 安全装置 障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ※ 図示 スラットの材質の種類 ※ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼板) めっきの付着量 (※ Z06 又はF06を満足するもの) ・ JIS G 3322 (塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼板) めっきの付着量 (※ A290を満足するもの) スラットの種類 ※ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 シャッターケース ※ 設ける ・ 設けない ガイドレール(中柱共)の材質 ※ ステンレス鋼板(SUS304) 厚さ1.0mm 座板の材質(屋外の場合) ※ ステンレス製製品	性能等 ※ 標準仕様書表16.12.2~4による (16.12.2~4)
		性能等 ※ 標準仕様書表16.12.2~4による (16.12.2~4)	
17	オーバーヘッドドア (16.13.2、3)	セクション材料による区分 ※ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 風圧力による強さの区分 ・ 125 ・ 100 ・ 75 ・ 50 開閉方式による区分 ※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納方式による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーテカル形 ガイドレールの材質 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板	性能等 ※ 標準仕様書表16.13.2、3による (16.13.2、3)
		性能等 ※ 標準仕様書表16.13.2、3による (16.13.2、3)	

18	ガラス (9.7)(16.14.2~4)(図16.14.1)	下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※ 建具表による 合わせガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による	18 塗装工事
		材料ガラスの種類、組合せ フロート板、フロート板合わせガラス 強化ガラスの形状による種類、材料ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料ガラスによる種類による名称 フロート強化ガラス フロート板ガラス 熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料ガラスによる種類 性能による種類 色調 熱線吸収フロート板ガラス 熱線吸収入り磨き板ガラス 複層ガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による 断熱性による区分 乾燥気体の種類 日射取得性、日射遮蔽性による区分 熱線反射ガラスの材料ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 下記以外は建具表による 材料ガラスによる種類 色調(ブルー・グレー) 反射表面 ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 アルミニウム製 樹脂製 鋼板及び鋼製軽量 ステンレス製 樹脂製 耐震性能 建築構造部材の耐震性能に係る特記事項による	18 塗装工事
19	ガラスブロック組み (16.14.5)	表面形状 呼び寸法(mm) 厚さ(mm) 色調 クリア 乳白 平積み 曲面積み 目地幅(mm) 伸縮調整目地位置(mm) 防火性能	19 内装工事
		壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※ 図示 石膏 材質 ※ ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※ 径5.5mm 形状 ※ はしご形状筋筋及び単筋 化粧目地モルタルの色() シーリングの種類() 金属製化粧カバー 材質 ※ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※ 図示 形状 ※ 図示	19 内装工事
20	ガラス用フィルム	木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 ※ 図示による 工法 1章 適用区分による風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 目地部の横骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様による ※ 図示	20 内装工事
		種類 記号 その他性能等 日射調整フィルム 低放射フィルム 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ガラス貫通防止フィルム 品質 JIS A 5759による	20 内装工事

1	材料 (18.1.3)	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	18 1.1 材料
		素地ごしらえ (18.2.2~7)	18 2.1 素地ごしらえ
2	錆止め塗料塗り (18.3.2、3)	下地面等 木部 鉄鋼面(DP以外) 鉄鋼面(DP) 亜鉛めっき鋼面 モルタル面及びせつこうプラスター面 コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面 押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP) せつこうボード面及び その他ボード面	18 3.1 錆止め塗料塗り
		下地面 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP) ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP) ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP) ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP) ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP) ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP)	18 3.2 錆止め塗料塗り
3	塗料 (18.4.1~18.12.2)	塗装 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP) ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP) ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP) ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP) ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP) ウレタン樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 耐熱性塗料塗り(DP)	18 4.1 塗料
		接着剤 (19.2.2)	19 2.1 接着剤
4	ビニル床シート (19.2.2、3)	種類 色柄 厚さ(mm) 備考	19 2.2 接着剤
		下地の工法 (19.2.3)	19 2.3 下地の工法
5	ビニル床シート (19.2.2、3)	種類 色柄 厚さ(mm) 備考	19 2.2 接着剤
		接着剤 (19.2.2)	19 2.2 接着剤
6	ビニル床シート (19.2.2、3)	種類 色柄 厚さ(mm) 備考	19 2.2 接着剤
		接着剤 (19.2.2)	19 2.2 接着剤
7	ビニル床シート (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 備考	19 2.2 接着剤
		接着剤 (19.2.2)	19 2.2 接着剤
8	ビニル床シート (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 備考	19 2.2 接着剤
		接着剤 (19.2.2)	19 2.2 接着剤
9	ビニル床シート (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 備考	19 2.2 接着剤
		接着剤 (19.2.2)	19 2.2 接着剤
10	ビニル床シート (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 備考	19 2.2 接着剤
		接着剤 (19.2.2)	19 2.2 接着剤
11	ビニル床シート (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 備考	19 2.2 接着剤
		接着剤 (19.2.2)	19 2.2 接着剤

5	特殊機能床材 (19.2.2)	シート種別 厚さ、形状、寸法 種類 帯電防止床シート 帯電防止床シート 視覚障害者用床シート 耐動荷重性床シート 防滑性床シート 防滑性床シート	19.2.2 特殊機能床材
		材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※ 60 厚さ(mm) ※ 1.5以上	19.2.2 特殊機能床材
6	ビニル床材 (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 寸法(mm)	19.2.2 特殊機能床材
		材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※ 60 厚さ(mm) ※ 1.5以上	19.2.2 特殊機能床材
7	ビニル床材 (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 寸法(mm)	19.2.2 特殊機能床材
		材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※ 60 厚さ(mm) ※ 1.5以上	19.2.2 特殊機能床材
8	ビニル床材 (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 寸法(mm)	19.2.2 特殊機能床材
		材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※ 60 厚さ(mm) ※ 1.5以上	19.2.2 特殊機能床材
9	ビニル床材 (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 寸法(mm)	19.2.2 特殊機能床材
		材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※ 60 厚さ(mm) ※ 1.5以上	19.2.2 特殊機能床材
10	ビニル床材 (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 寸法(mm)	19.2.2 特殊機能床材
		材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※ 60 厚さ(mm) ※ 1.5以上	19.2.2 特殊機能床材
11	ビニル床材 (19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 寸法(mm)	19.2.2 特殊機能床材
		材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ(mm) ※ 60 厚さ(mm) ※ 1.5以上	19.2.2 特殊機能床材

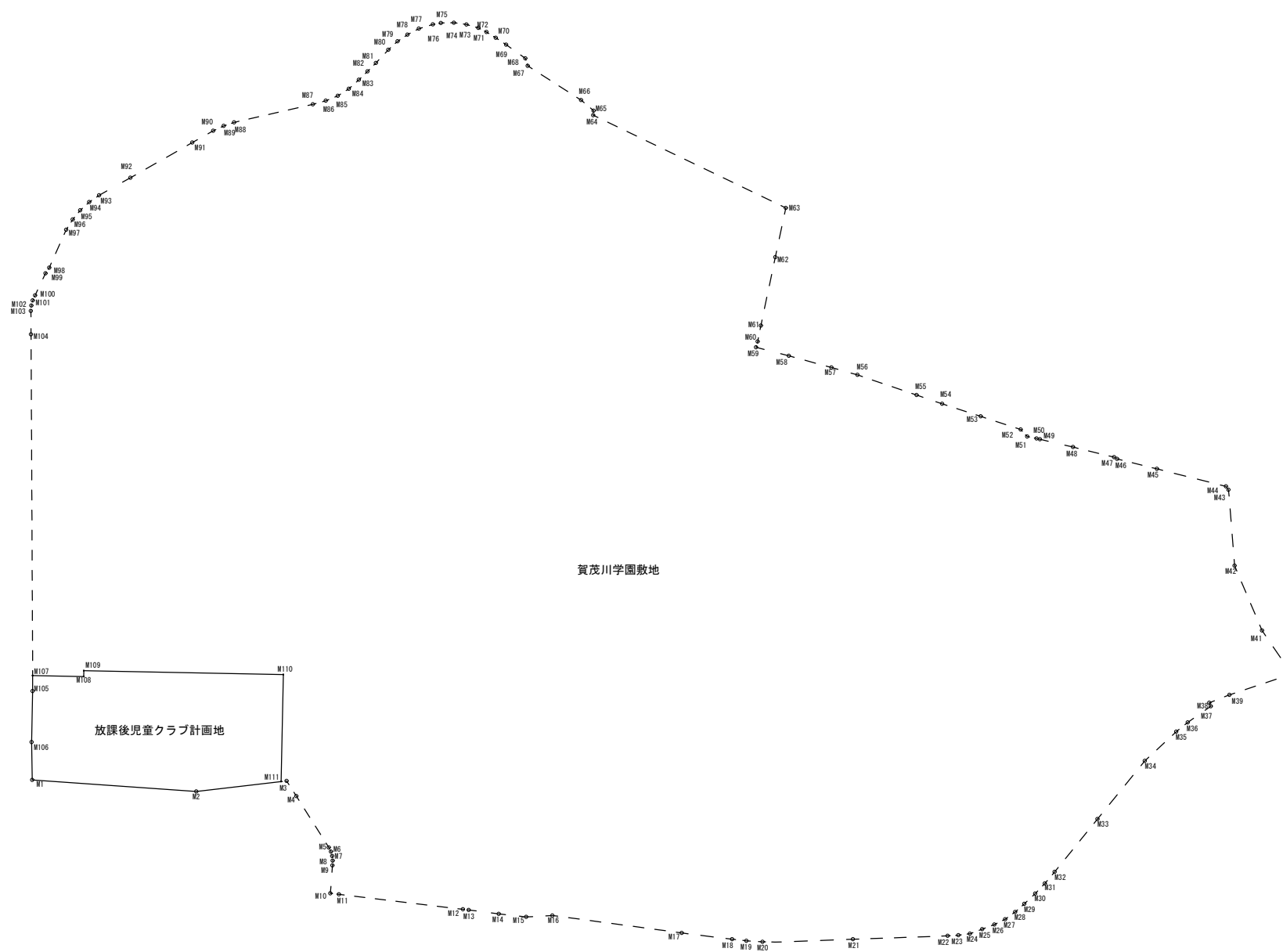
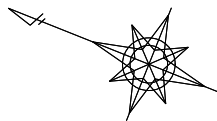
Table with 2 columns: Item description and specifications. Includes sections for 'せっこうボードその他', '壁紙張り', and '断熱材'. Specifications include material types (MDF, etc.), dimensions, and performance metrics.

Table with 2 columns: Item description and specifications. Includes sections for '現場発泡断熱材', '排水工事', '舗装工事', and '路盤'. Specifications include material types, dimensions, and performance metrics.




Table with 2 columns: Item description and specifications. Includes sections for 'コンクリート舗装', 'カラー舗装', '透水性アスファルト舗装', 'ブロック系舗装', '路床', '路盤', and 'アスファルト舗装'. Specifications include material types, dimensions, and performance metrics.

Table with 2 columns: Item description and specifications. Includes sections for '試験', 'コンクリート舗装', 'カラー舗装', '透水性アスファルト舗装', 'ブロック系舗装', '路床', '路盤', and 'アスファルト舗装'. Specifications include material types, dimensions, and performance metrics.

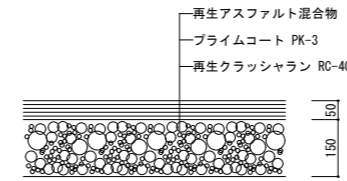
Project information form including company name (中電技術コンサルタント株式会社), project name (仮称)賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事, and other details.



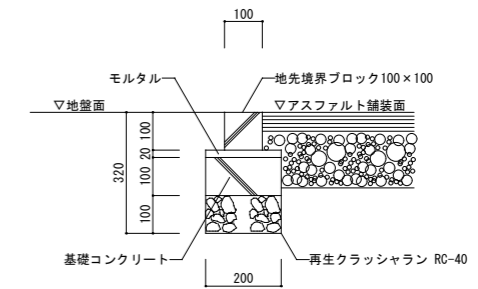
求積表 (放課後児童クラブ計画地)					
地番	X	Y	X-X	Y(X-X)	辺長
M110	-178258.934	66472.017	37.907	2519754.748419	33.710
M109	-178227.382	66460.149	31.200	2073556.648800	0.999
M108	-178227.734	66459.214	7.745	514726.612430	8.651
M107	-178219.637	66456.168	7.120	473167.916160	2.609
M105	-178220.614	66453.749	-4.006	-266213.718494	8.618
M106	-178223.643	66445.681	-5.483	-364321.668923	6.401
M1	-178226.097	66439.769	-28.936	-1922501.155784	27.797
M2	-178252.579	66448.218	-39.192	-2604238.559856	14.444
M111	-178265.289	66455.079	-6.355	-422322.027045	18.091
倍面積					1608.795707
面積					804.3978535
地積					804.39m ²

御承認	記事	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第322322号 小笠原 勲	校閲 	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 敷地求積図	図面番号 A-08
					設計 		設計年月日 2025.03

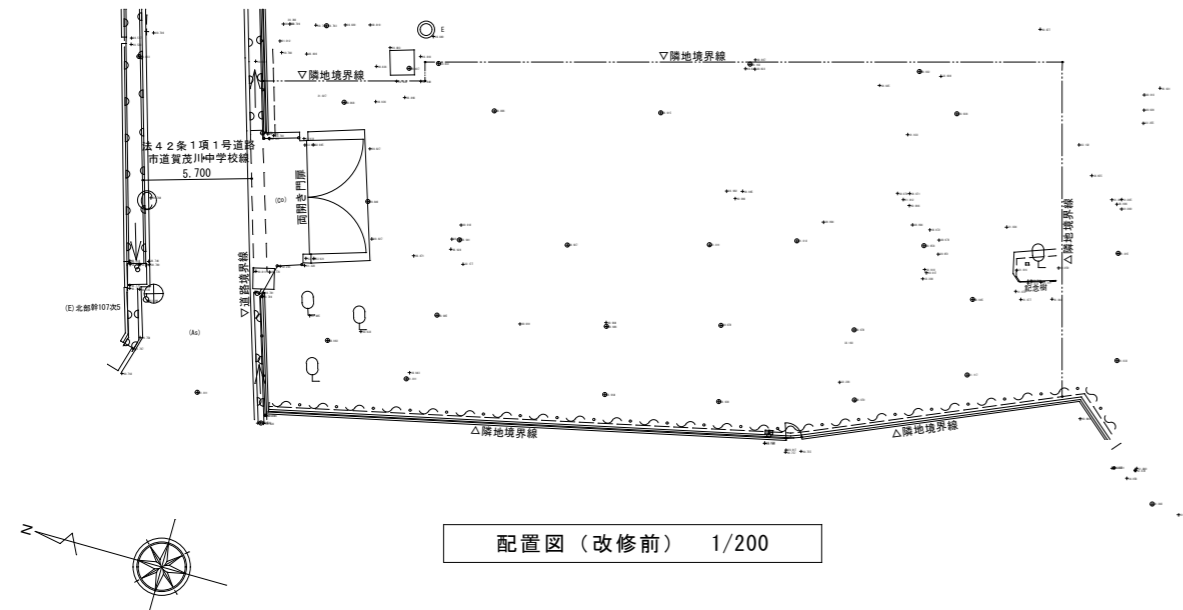
凡例	
(a)	アスファルト舗装 t=50 (新設)
(b)	地先境界ブロック 100×100 L=600 (新設)
(c)	駐車ライン引き (5,000×2,500) 溶融式白線 W=100



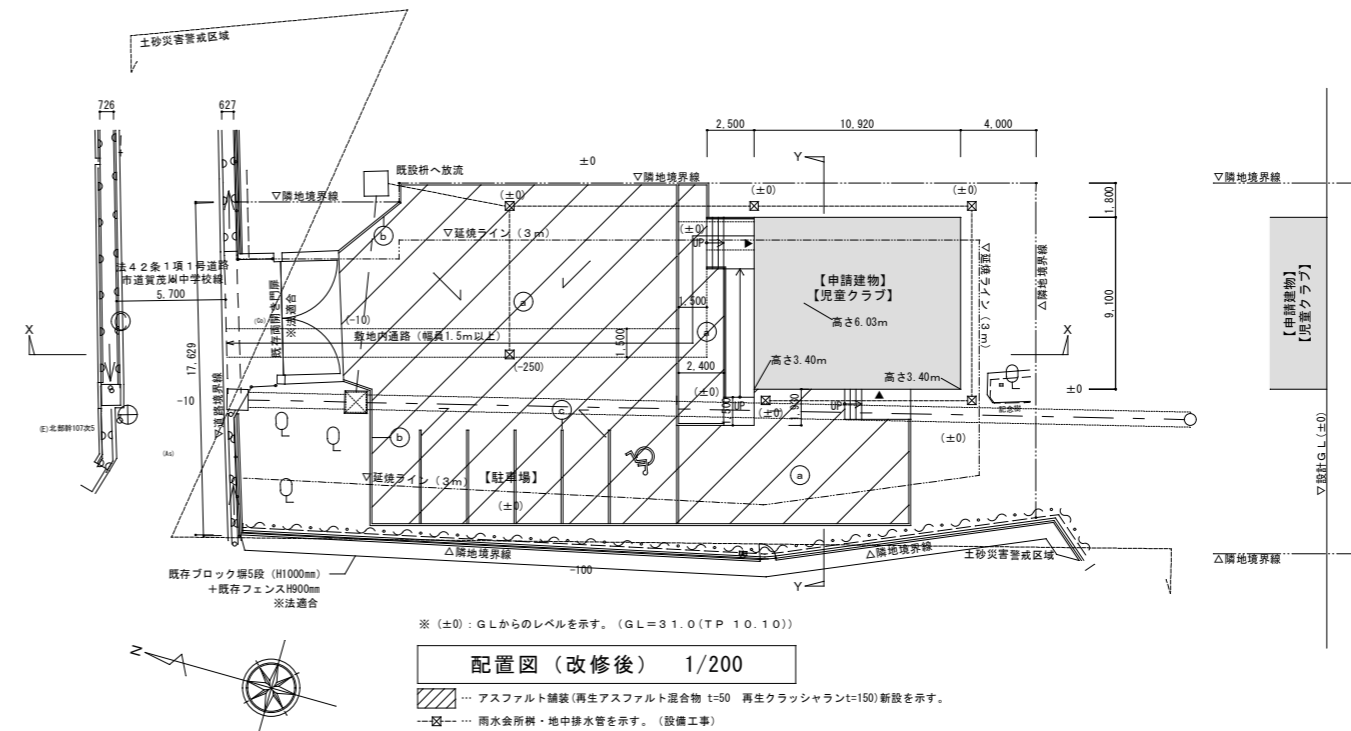
アスファルト舗装 詳細図 (新設) 1/10



地先境界ブロック 詳細図 (新設) 1/10



配置図 (改修前) 1/200



配置図 (改修後) 1/200

※ (±0) : GLからのレベルを示す。(GL=31.0(TP 10.10))

--- (a) --- アスファルト舗装(再生アスファルト混合物 t=50 再生クラッシュランt=150)新設を示す。
 --- (c) --- 雨水会所・地中排水管を示す。(設備工事)



X-X 敷地断面図 1/200

※ 道路斜線制限について
適用距離(20m)以上離れているため明らかに適合している
 ※ 隣地斜線制限について
建物高さ20m以下のため明らかに適合している

Y-Y 敷地断面図 1/200

御承認

記事

中電技術コンサルタント株式会社
 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8

建設コンサルタント登録 建 26 第378号
 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号
 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二

1級建築士登録 第322322号 小笠原 勲

校閲 藤本
 設計 小笠原

設計年月日 2025.03.

工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備工事
 図面名称 児童クラブ 配置図 (改修前後)

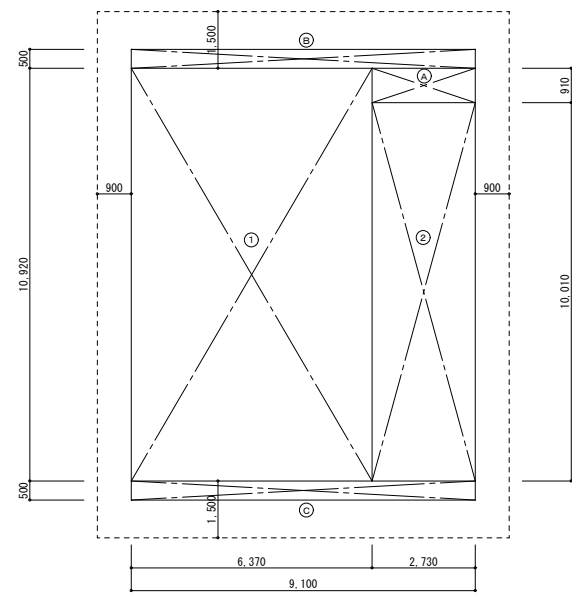
図面番号 A-09
 縮尺 1/200

外部仕上表		庇	出入口・勝手口	その他
屋根	瓦葺き（カラーガルバリウム鋼板t=0.4） 下地：アスファルトルーフィング940、野地板・構造用合板t=12 鼻隠し・破風板：繊維強化セメント板t=18 軒裏：天井用ボードt=12張り（一部・換気用有孔ボード張り）			アルミ製既製品（アルフィン同等）
外壁	窯業系サイディングボードt=15積張り（通気金具工法） 下地：縦筋線、透湿防水シートt=1.5、構造用合板t=9、断熱材・ロックウールt=100、防湿シートt=0.2		床・スロープ・階段：コンクリート金コテ押え（スロープのみ、刷毛引き仕上） 段高：ノンスリップタイル 玄関前・床：モルタル金コテ押え 磁器質タイル100×100 立上り：コンクリート打放し補修（B種） 手摺：ステンレス製H.L.仕上 38φ 支柱：ステンレス製H.L. 38φ@1000内外 手摺子：ステンレス製H.L. 15φ@100 手摺子受け：ステンレス製H.L. 22φ	
根廻り	コンクリート打放し補修（B種・増打ちt=20） 土台水切：カラーガルバリウム鋼板t=0.35曲げ加工 天端：基礎バックシ工法		床下換気口：200φNasta KS-0384P-R1 同等	
礎	軒礎：硬質塩化ビニル角型W120（カラー） ステンレス製受金物 壁礎：硬質塩化ビニル管V.P（カラー）75φ ステンレス製受金物			

内部仕上表 ※床高さは、F.L.±0とのレベル差を示す。

階	室名	床		幅木		壁		天井		天井高	廻り縁	室名札	カーテン 暗幕 ブラインド BOX	化学物質 測定装置	備考					
		下地	床高	下地	高さ	下地	下地	下地	下地											
玄関		C	-10	W	GB-Rt=12.5	ビニル幅木	75	W	GB-Rt=12.5	ビニルクロス	-	W	GB-Rt=9.5	ビニルクロス	-	2.400	塩ビ製	-	-	下駄箱W900xH1500xD300（28人用×2）（別途工事） 櫃：ステンレスH.L. t=1.2 巾=40×20
児童クラブ		C	±0	W	米相	CL	75	W	GB-Rt=12.5	ビニルクロス	-	W	GB-Rt=9.5	ビニルクロス	-	2.550	塩ビ製	-	-	ロッカーW1780xH1200xD450（5列タイプ×3）（別途工事） 手洗い：洗面器
児童クラブ （豊コーナー）		C	±0	W	畳寄せ		-	W	GB-Rt=12.5	ビニルクロス	-	W	GB-Rt=9.5	ビニルクロス	-	2.550	塩ビ製	-	-	
指導員室		C	±0	W	米相	CL	75	W	GB-Rt=12.5	ビニルクロス	-	W	GB-Rt=9.5	ビニルクロス	-	2.550	塩ビ製	-	-	ミニキッチンW1500
和室		C	±0	W	畳寄せ		-	W	GB-Rt=12.5	ビニルクロス	-	W	GB-Rt=9.5	ビニルクロス	-	2.550	塩ビ製	-	-	
WC 1		C	±0	W	GB-Rt=12.5	ビニル幅木	75	W	GB-Rt=12.5	ビニルクロス	-	W	GB-Rt=9.5	ビニルクロス	-	2.550	塩ビ製	○	-	L型手摺
WC 2		C	±0	W	GB-Rt=12.5	ビニル幅木	75	W	GB-Rt=12.5	ビニルクロス	-	W	GB-Rt=9.5	ビニルクロス	-	2.550	塩ビ製	○	-	L型手摺
収納		C	±0	W	GB-Rt=12.5	ビニル幅木	75	W	GB-Rt=12.5	ビニルクロス	-	W	GB-Rt=9.5	ビニルクロス	-	2.550	塩ビ製	-	-	中段、杖欄
押入		C	±0	W	雑巾摺		-	W	GB-Rt=12.5		-	W	GB-Rt=9.5		-	2.550	塩ビ製	-	-	中段、杖欄

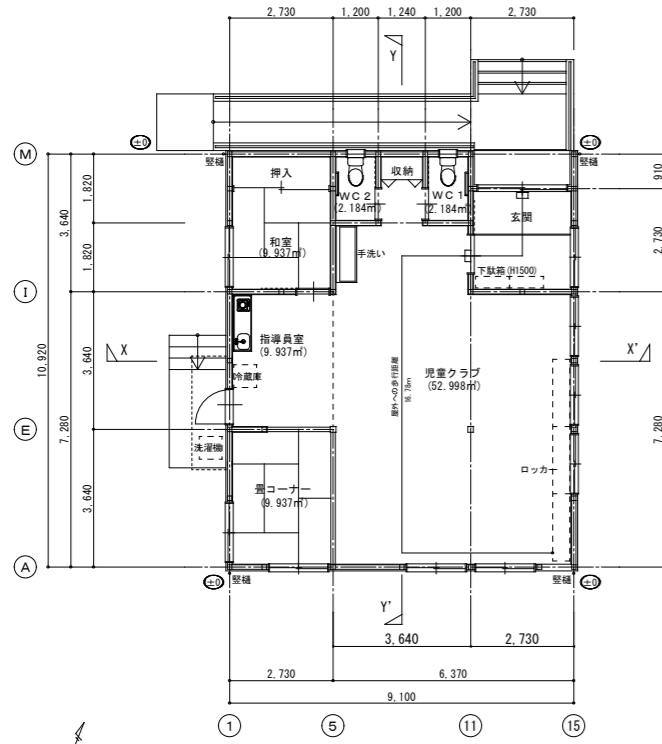
下地略号表		塗装略号表		不燃材料認定表		特記事項
記号	名称	記号	名称	名称	認定番号	
C	コンクリート	SOP	合成樹脂調合ペイント	石こうボード t=12.5	不燃 NM-8699号	<ul style="list-style-type: none"> ・内装材（天井裏を含む）塗装材については、F☆☆☆☆を使用すること。 ・消防法第9条の市町村条例に適合すること。 ・使用材料は、JIS又はJASに適合すること。
ALC	軽量気泡コンクリートパネル	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	化粧石こうボード t=9.5	不燃 NM-8614号	
LGS	軽量鉄骨			無石練けい酸カルシウム板 t=6.0	不燃 NM-8576号	
GB-R	石こうボード			EP・SOP塗装	不燃 NM-0916号	
GB-D	化粧石こうボード					
FK	無石練けい酸カルシウム板					



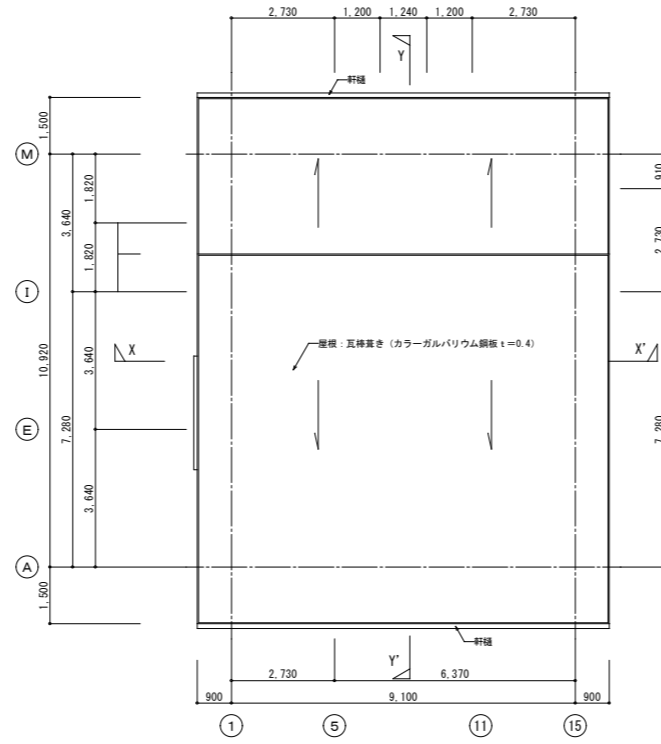
面積表			
①	6.370 × 10.920 =	69.5604	69.560
②	2.730 × 10.010 =	27.3273	27.327
A	2.730 × 0.910 =	2.4843	2.484
B	9.100 × 0.500 =	4.5500	4.550
C	9.100 × 0.500 =	4.5500	4.550
延床面積	①+②		96.887
建築面積	①+②+A+B+C		108.477

面積 求積図 1/100

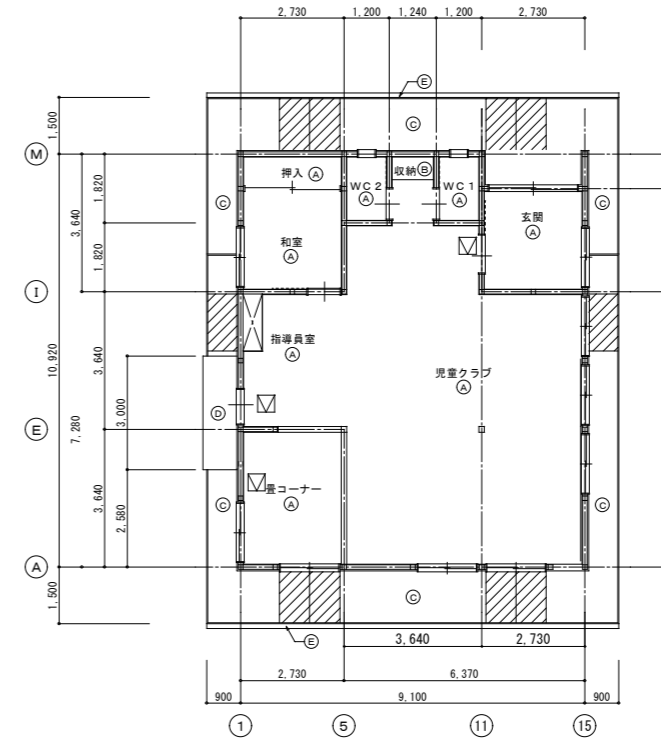
御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	校閲 設計	工事名称 （仮称）賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 児童クラブ 仕上表、求積表	図面番号 A-10 縮尺 1/100
-----	----	--	--	----------	---	-----------------------------



平面図 1/100 □: 避難口誘導標識を示す ※避難階で歩行距離30m以下のため非常用照明不要とする



屋根伏図 1/100

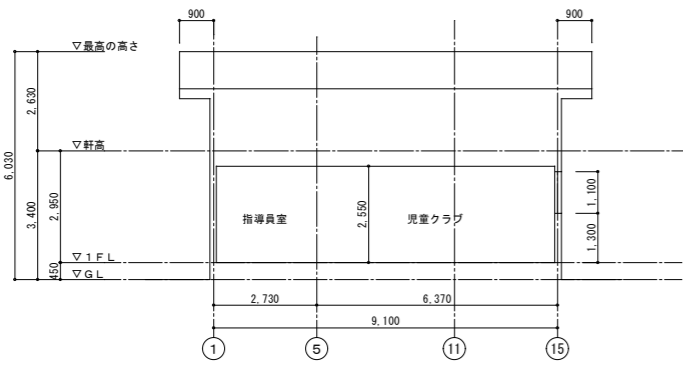


天井伏図 1/100

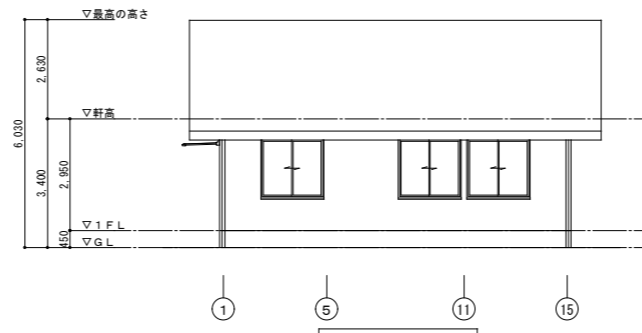
天井伏図 凡例・特記

(A)	木造下地 石膏ボード (9.5、ビニルクロス)
(B)	木造下地 石膏ボード (9.5)
(C)	木造下地 乾天用ボード ※一部・乾天用有孔ボード
(D)	底: アルミ製既製品 (アルフィン同等)
(E)	軒種: 塩ビ製
(F)	ブラインドBOX: 木製、SOP
(G)	天井点検口450角 (アルミ製枠・天井仕上げ材張り)
(H)	乾天有効ボード
(I)	設備用開口

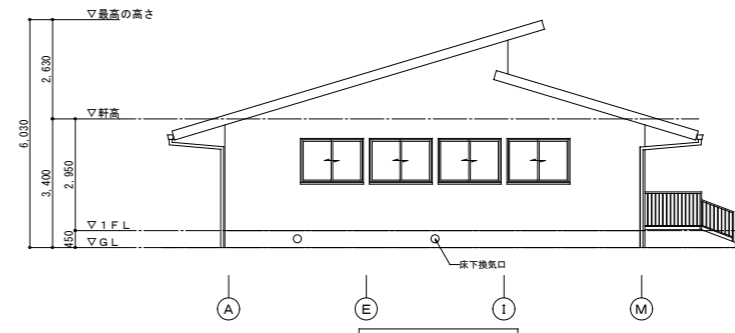
GL=31.1 (T P10.2)
 (G) GLからのレベルを示す。



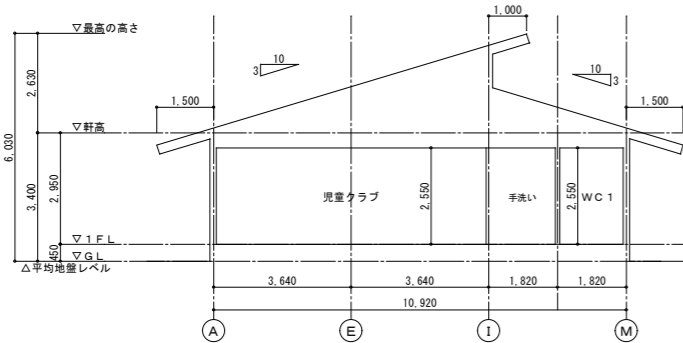
X-X' 断面図 1/100



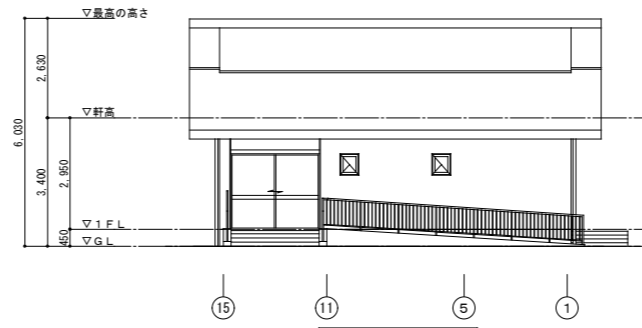
南立面図 1/100



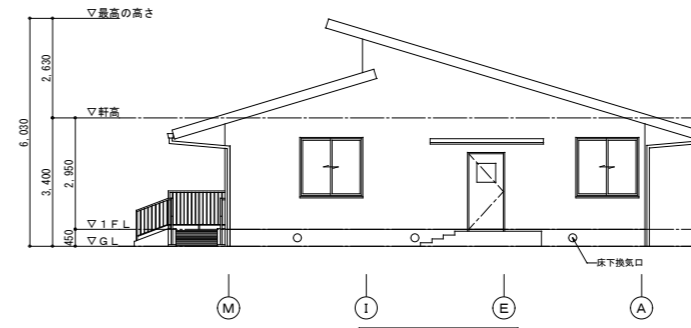
東立面図 1/100



Y-Y' 断面図 1/100

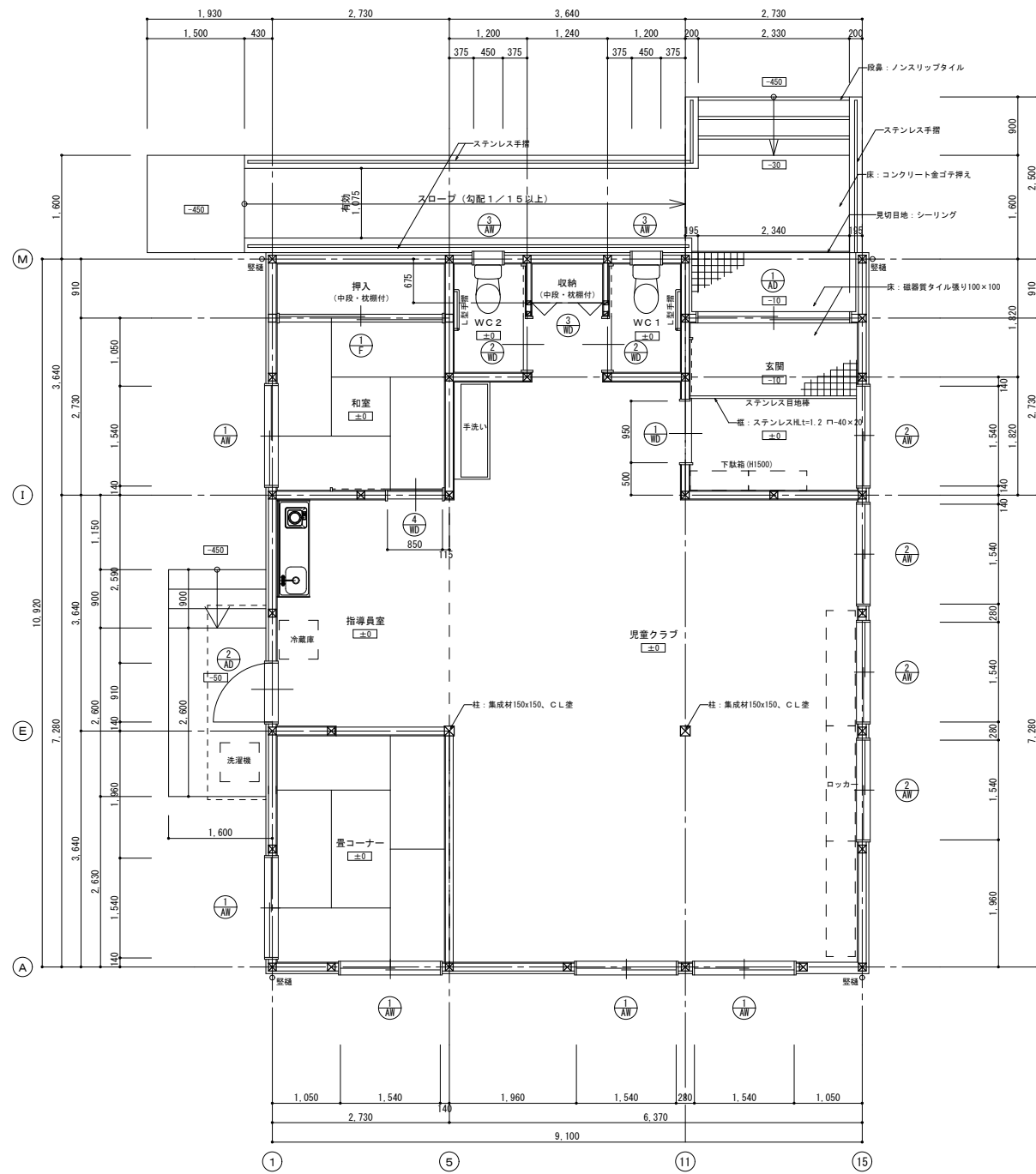


北立面図 1/100



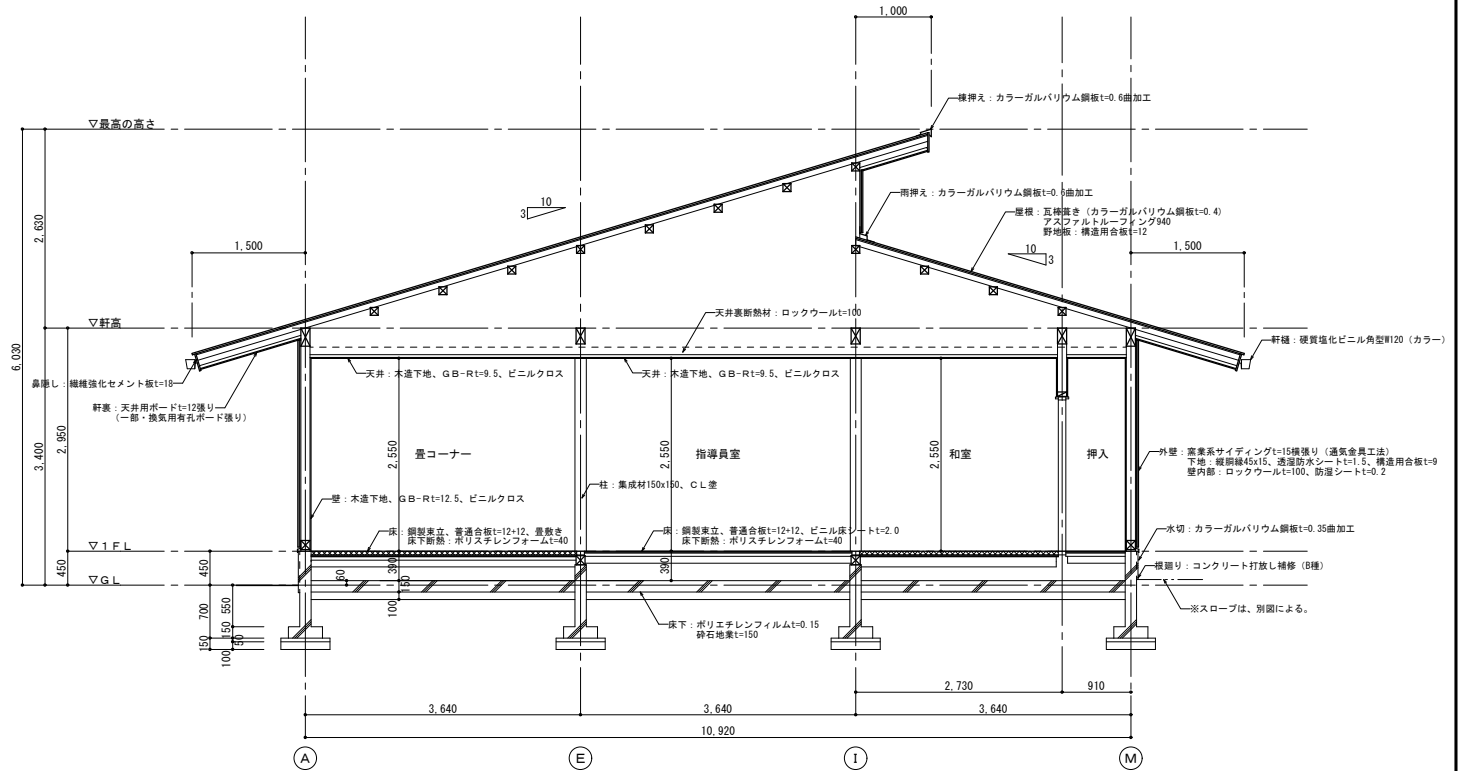
西立面図 1/100

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第322322号 小笠原 勲	校閲 藤本 誠二 設計 小笠原 勲	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 平面図、屋根・天井伏図、立面図、断面図	図面番号 A-11 縮尺 1/100
-----	----	--	--	------------------------	------------------------	--	-----------------------------

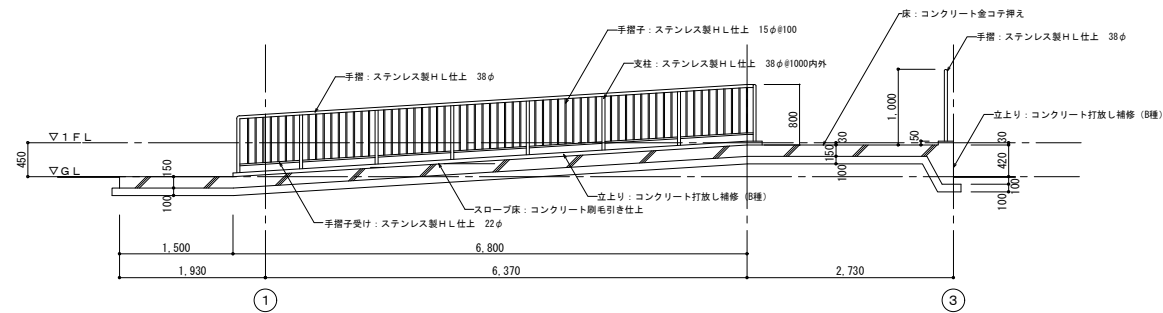


平面詳細図 1/50

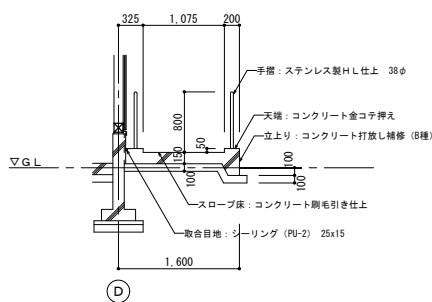
□ : 1 F L 以上の上レベルを示す。



矩計図 1/50

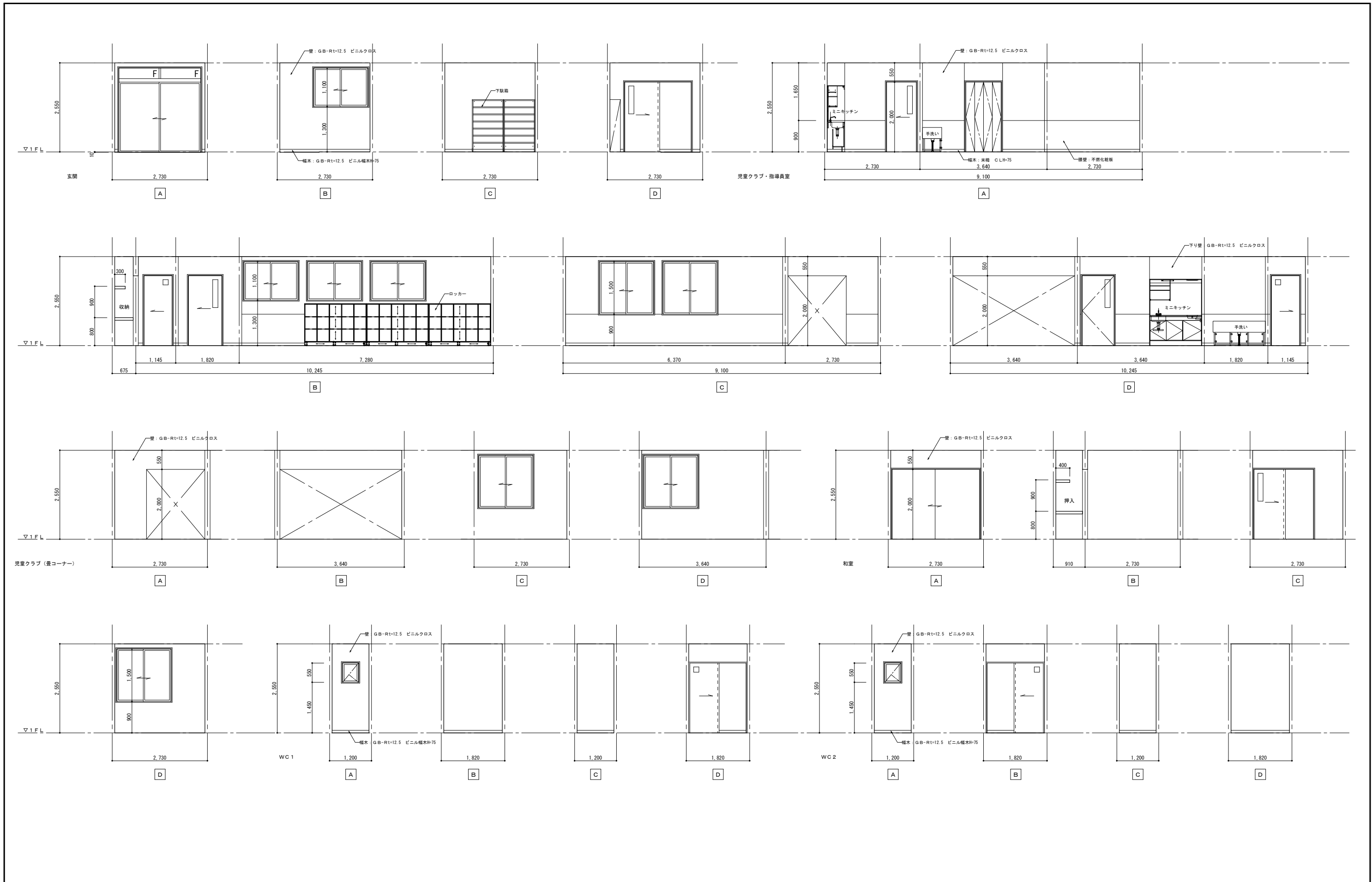





断面詳細図 1/50

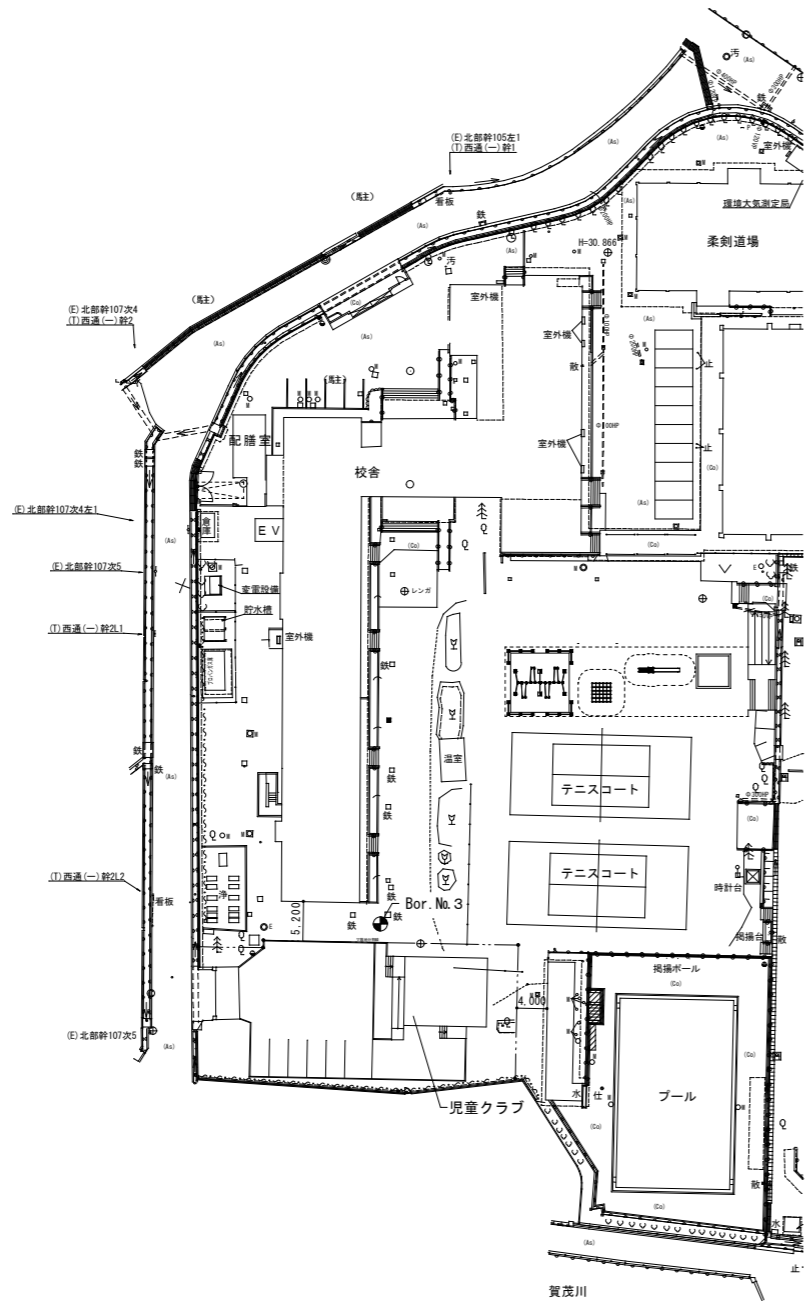
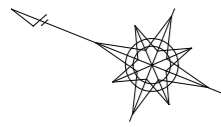


断面詳細図 1/50

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第322322号 小笠原 勲	校閲 藤本 設計 小笠原	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 平面詳細図、矩計図	図面番号 A-12 縮尺 1/50
-----	----	--	--	------------------------	-------------------	--	----------------------------



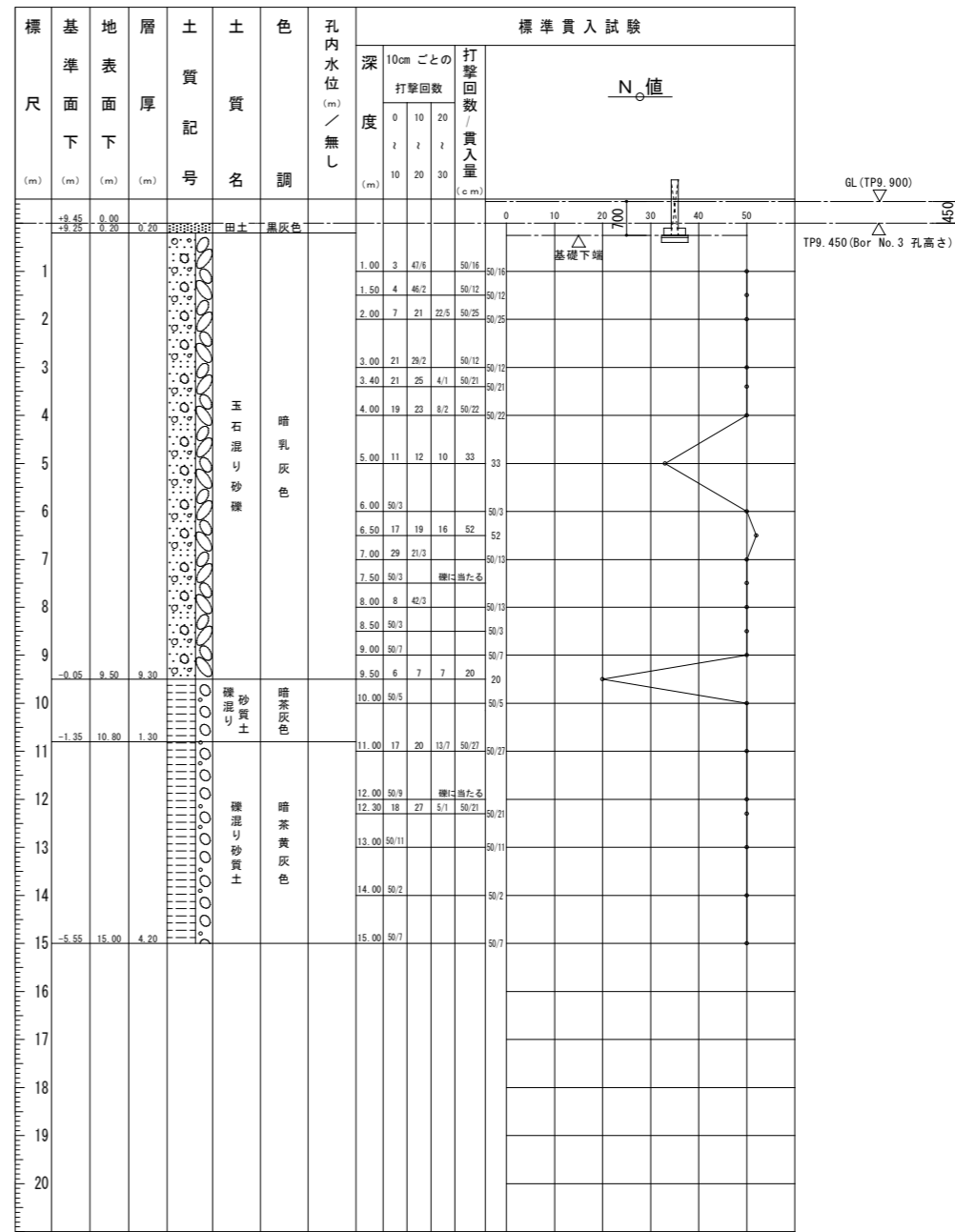
御承認	記事	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第322322号 小笠原 勲	校閲  設計 	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 展開図	図面番号 A-13 縮尺 1/50
			設計年月日 2025.03.				



調査位置図

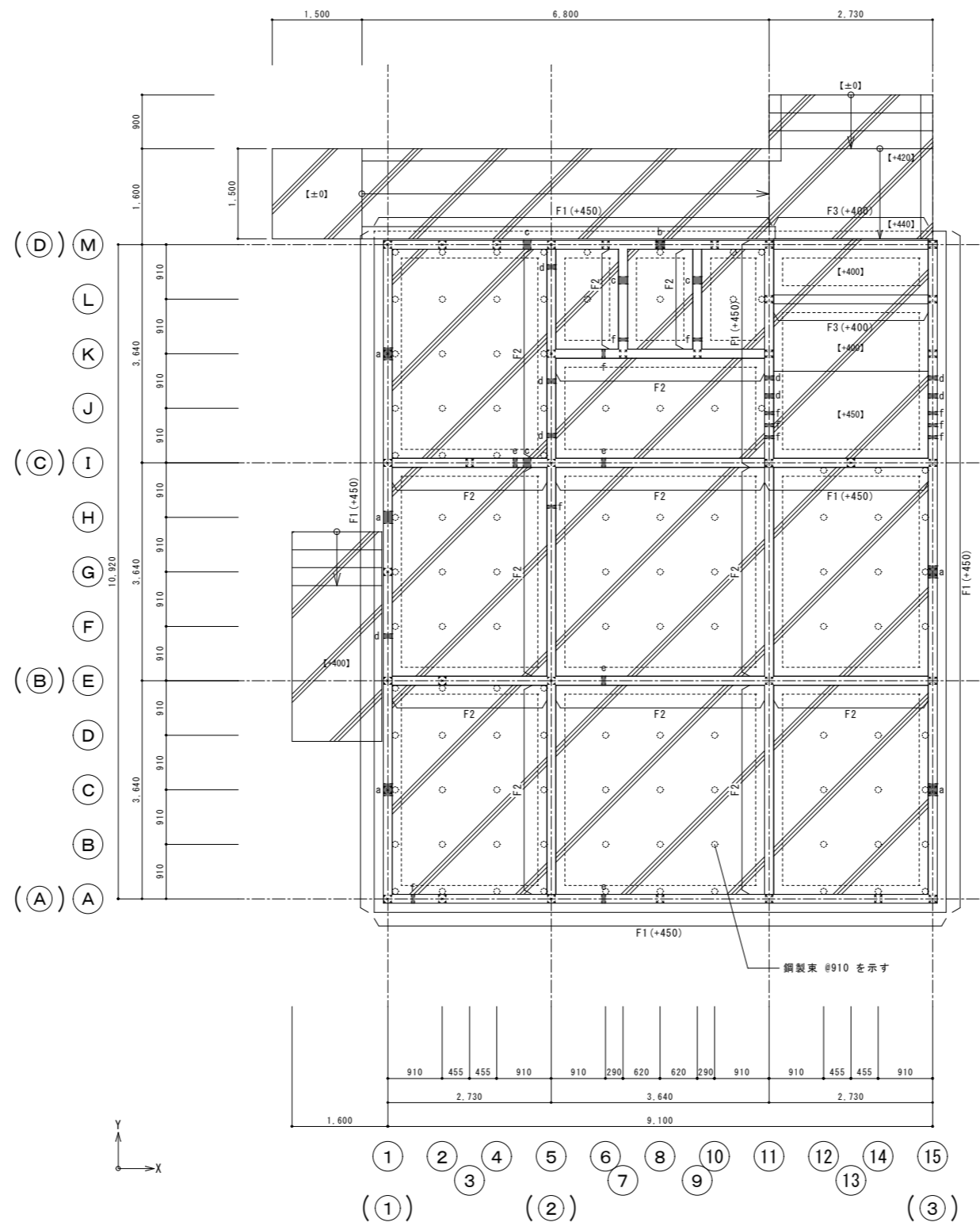
No. 3 調査名：賀茂川中学校 校舎 建設用地 地質調査

調査位置	広島県 竹原市	地盤高	+9.45m
調査期間	昭和53年5月1日～5月6日	孔内水位	GL-2.44m



GL (TP9_900)
TP9_450 (Bor. No. 3 孔高さ)

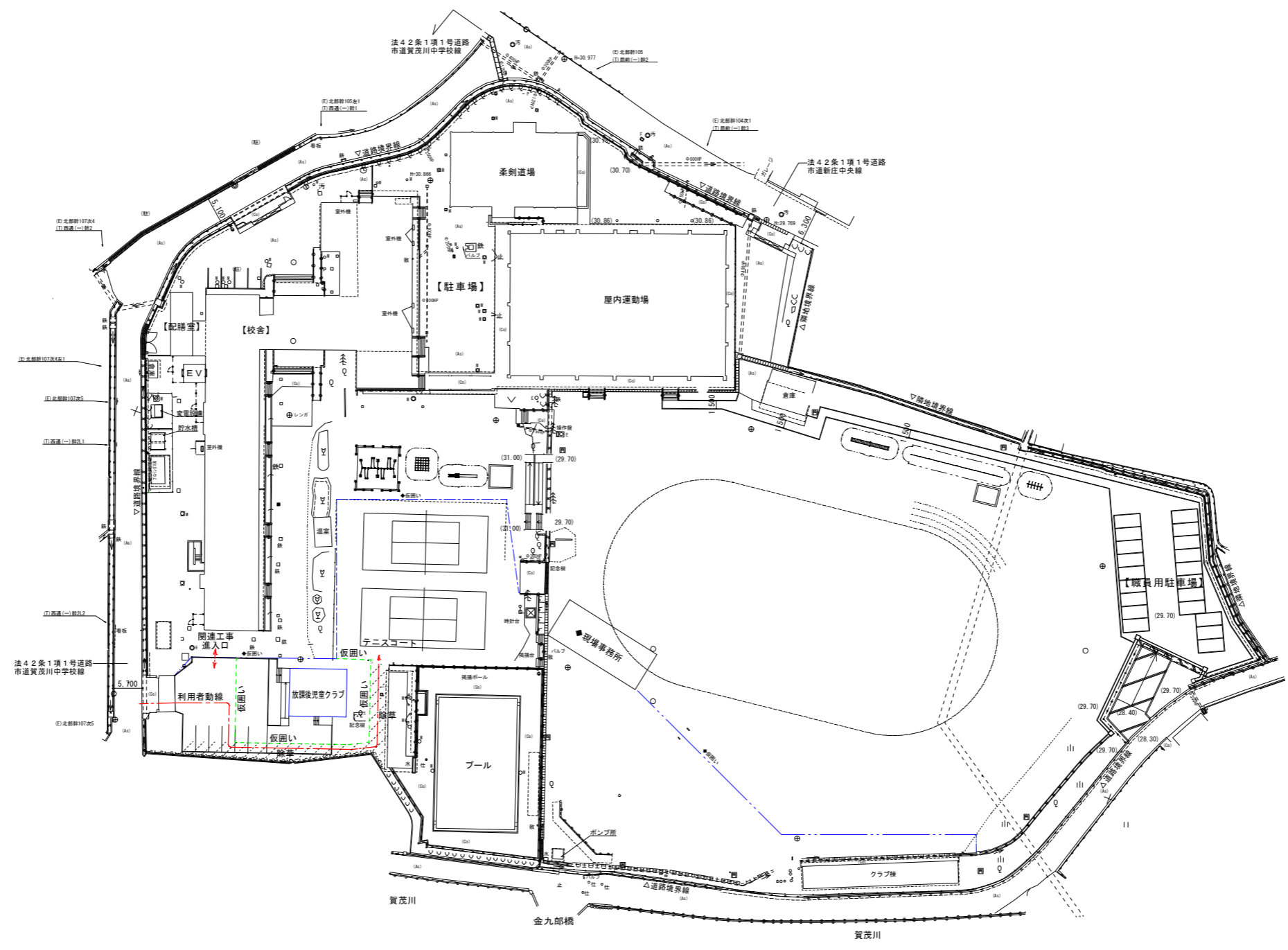
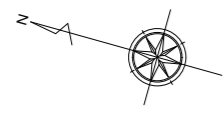
御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲 藤本 設計 西谷	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 設計年月日 2025.03.	図面名称 児童クラブ 地質調査図	図面番号 S-14 縮尺 -
-----	----	--	--	------------------------	------------------	--	---------------------	-------------------------



- 特記なき限り下記による
- 1FL = 設計GL+450
 - 基礎梁天端：設計GL+270
ただし()内寸法は設計GLからの基礎梁天端を示す。
 - 基礎下端：設計GL-700
 - 土間厚150を示す。
 - 土間天端は設計GL+60とする。
ただし【 】内寸法は設計GLからの土間天端を示す。
 6. 梁貫通孔
 - a: 200φ 5箇所
 - b: 150φ 1箇所
 - c: 125φ 4箇所
 - d: 75φ 8箇所
 - e: 65φ 4箇所
 - f: 50φ 11箇所
- ※梁貫通孔位置は、S-08『11.1 梁貫通孔』もしくは既製品の適用範囲に従うこと。

基礎伏図 1/50

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号	1級建築士登録 西谷 勇哉 第350543号	校閲	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事	図面番号 S-15
			1級建築士登録 藤本 誠二 第293685号	設計	設計年月日 2025.03.	図面名称 児童クラブ 基礎伏図	縮尺 1:50



計画配置図 1/500

◆○○○ … (仮称)賀茂川学園整備工事で設置する仮設物

御承認	記事	校関	工事名称 (仮称)賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事		図面番号 A-16
			設計	設計年月日 2026.03.	図面名称 仮設計画図




特記仕様書(構造関係)		適用範囲																																																																							
4 地業工事		4章から7章までの適用範囲下記の記事種目とする。 ・特記仕様書1 仕様書 1 工事概要 3 工事種目に掲げる下記の記事種目番号 (番号〇～番号〇までの記事種目)																																																																							
1	支持地盤等	<p>①直接基礎 支持地盤の位置及び土質(基礎底部の位置含む) ※構造図による ・試験掘り(根切り底の状態の確認等) 位置は構造図による</p> <p>②地盤の平板載荷試験 載荷試験の方法 ※地盤工学会基準 JGS 15211による ・構造図による 試験の位置、載荷荷重 ※構造図による</p>	(4.2.4)																																																																						
2	杭共通事項	<p>支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む) ※構造図による</p> <p>試験杭 試験杭の位置 ※構造図による</p> <p>杭の支持層への根入れ深さ ※構造図による</p> <p>杭の精度 水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・構造図による</p> <p>杭の傾斜 ・1/100以内 ・構造図による</p>	(4.3.4.5) (4.4.4) (4.5.5.6)																																																																						
3	既製コンクリート杭地業	<p>種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭 (PHC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC杭) ・外殻鋼管付きコンクリート杭 (SCH杭) SCH杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 ・ ()</p> <p>寸法、継手、性能等 (種別: 種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2) (4.3.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>杭符号</th> <th>種類</th> <th>コンクリート強度 (N/mm²)</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>杭長 (mm)</th> <th>継手数</th> <th>セツ数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状 (4.3.3) ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 ・構造図による</p> <p>工法 (4.3.1) (4.3.4) ・セメントミルク工法 掘削深さ ※構造図による 根固め液及び杭周固定液の管理試験 ※標準仕様書4.3.4(6) (7)による ・構造図による</p> <p>・特定埋込杭工法 (4.3.1) (4.3.5) ・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式のうち α、β、γ以下の値を採用できる工法 α= ()、β= ()、γ= ()</p> <p>工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 ・ ()</p> <p>・杭周固定液を使用する (4.3.3) (4.3.6)</p> <p>杭の継手の工法 (4.3.3) (4.3.6) ・アーク溶接継手 溶接材料 ※標準仕様書 7.2.5(1) (2)による ・構造図による ・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 (4.3.8) ・杭頭を処理する 処理方法 (切断しともなう補強方法含む) ※構造図による</p> <p>杭頭の中詰め材料 (4.3.8) ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・構造図による</p>	杭符号	種類	コンクリート強度 (N/mm ²)	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	上杭										中杭										下杭										上杭										中杭										下杭										(4.3.1)
杭符号	種類	コンクリート強度 (N/mm ²)	杭径 (mm)	厚さ (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																
上杭																																																																									
中杭																																																																									
下杭																																																																									
上杭																																																																									
中杭																																																																									
下杭																																																																									
4	鋼杭地業	<p>鋼杭の材料 (4.4.3) ・SKK400 ・SKK490 ・ ()</p> <p>寸法、継手等 (4.2.2) (4.4.3) (4.4.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>杭符号</th> <th>種類</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>板厚 (mm)</th> <th>杭長 (mm)</th> <th>継手数</th> <th>セツ数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	杭符号	種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	上杭									中杭									下杭									上杭									中杭									下杭									(4.4.3)							
杭符号	種類	杭径 (mm)	板厚 (mm)	杭長 (mm)	継手数	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																	
上杭																																																																									
中杭																																																																									
下杭																																																																									
上杭																																																																									
中杭																																																																									
下杭																																																																									
5	場所打ちコンクリート杭地業	<p>特定埋込杭工法 (4.4.4) ・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力方式のうち α、β、γ以下の値を採用できる工法 α= ()、β= ()、γ= ()</p> <p>工法 ・中掘り拡大根固め工法 ・ ()</p> <p>杭の継手の工法 (4.4.3) (4.4.5) ・アーク溶接継手 形状 ・JIS A 5525による ・構造図による</p> <p>溶接材料 ※標準仕様書 7.2.5(1) (2)による ・構造図による</p> <p>・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※評定等を受けた工法 (4.4.6) ・杭頭を処理する 処理方法 (切断しともなう補強方法含む) ※構造図による</p> <p>杭頭の中詰め材料 (4.3.8) ・基礎のコンクリートと同調合のもの ・構造図による</p> <p>工法 (4.5.1) ・アースドリル工法 (安定液 ※使用する ・使用しない) ・リブ工法 ・オールケーシング工法 (孔内の水張り ・行方 ・行わない) ・回転式 ・掘削式</p> <p>併用する工法 (4.5.1.6) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 ・ () ・拡大杭工法 (安定液 ・使用する ・使用しない) ・ ()</p> <p>寸法等 (4.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>杭符号</th> <th>軸径 (mm)</th> <th>拡直径 (mm)</th> <th>杭長 (mm)</th> <th>セツ数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・孔壁の保持状況(孔壁測定) 測定方法 ※超音波測定器 測定箇所 試験杭 () 箇所及び本杭 () 箇所 (4.5.4)</p> <p>鉄筋の種類 (4.5.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>帯筋 (4.5.4) ※構造関係共通事項 (配筋標準図) 6.2帯筋(b) (3) (6) (ロ) ・構造図による</p> <p>鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4) ・100mm ・ () mm</p> <p>鉄筋かごの補強 (4.5.4) ※構造図による</p> <p>・杭径1.5m以下の場合には鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50×75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋との接触部を溶接する。</p> <p>組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4) ※重ね継手 重ね継手の長さ ※構造図による ・ ()</p> <p>主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.4) ※構造図による</p> <p>セメントの種類 (4.5.4) ※高炉セメントB種 ・ ()</p> <p>コンクリートの設計基準強度 (4.5.4) () N/mm²</p> <p>コンクリートの種別 (4.5.4) ・A種 ・B種 ・評定等の内容による</p> <p>スランブ (4.5.4) ※18cm ・ () cm</p> <p>構造体強度補正值 (4.5.4) ※3N/mm² ・構造図による ・評定等の内容による</p> <p>材 料 (4.6.2) ※再生クラッシュラン ・切込砂利又は切込砕石</p> <p>砂利厚さ (4.6.3) ※60mm ・ (10) cm</p> <p>範囲 (4.6.4) ①基礎梁下、土間コンクリート下及び土に接するスラブ下 ②意匠図及び構造図による</p> <p>範囲 (4.6.4) ※基礎下、基礎梁下及び土に接するスラブ下 ・意匠図及び構造図による</p> <p>厚 さ (4.6.4) ※50mm ・ () mm</p> <p>設計基準強度 (4.6.4) ※18N/mm² ・ () N/mm²</p> <p>スランブ (4.6.4) ※15cm又は18cm ・ () cm</p>	杭符号	軸径 (mm)	拡直径 (mm)	杭長 (mm)	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																						種類の記号	呼び名	備考	・SD295			・SD345			(4.4.3) (4.4.5)																																	
杭符号	軸径 (mm)	拡直径 (mm)	杭長 (mm)	セツ数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																																																			
種類の記号	呼び名	備考																																																																							
・SD295																																																																									
・SD345																																																																									
6	砂利地業	<p>材 料 (4.6.2) ※再生クラッシュラン ・切込砂利又は切込砕石</p> <p>砂利厚さ (4.6.3) ※60mm ・ (10) cm</p> <p>範囲 (4.6.4) ①基礎梁下、土間コンクリート下及び土に接するスラブ下 ②意匠図及び構造図による</p>	(4.6.2)																																																																						
7	捨コンクリート地業	<p>範囲 (4.6.4) ※基礎下、基礎梁下及び土に接するスラブ下 ・意匠図及び構造図による</p> <p>厚 さ (4.6.4) ※50mm ・ () mm</p> <p>設計基準強度 (4.6.4) ※18N/mm² ・ () N/mm²</p> <p>スランブ (4.6.4) ※15cm又は18cm ・ () cm</p>	(4.6.4)																																																																						
8	床下防湿層	<p>材 料 (4.6.2) ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・意匠図による</p> <p>範囲 (4.6.5) ①建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ピット下を除く) ・意匠図による</p>	(4.6.2)																																																																						
9	地盤改良工法	<p>種類及び施工方法等 ※構造図による</p>	(4.6.5)																																																																						
5	鉄筋工事	<p>1 鉄筋 (5.2.1) 鉄筋の種類等 種類の記号 呼び名 備考 ※SD295 ※D16以下 ・ ・ ・</p> <p>2 溶接金網 (5.2.2) 鉄線の形状等 種類 種類の記号 網目寸法、鉄線の径 (mm) 備考 ※溶接金網 ・鉄筋格子</p> <p>3 鉄筋の継手及び定着 (5.3.4) (5.5.2.3) (5.6.3) 鉄筋の継手の方法等 部 位 継手の方法 呼び名 ※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 ・重ね継手 ・ ・ 床、壁の鉄筋 ※重ね継手 その他の鉄筋() ・重ね継手</p> <p>継手位置 (5.3.4) ※構造関係共通事項 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1 ・構造図による ・柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ※構造図による</p> <p>耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4) ※構造関係共通事項 (配筋標準図) 3.1(a) (3) ・構造関係共通事項 (配筋標準図) 3.1表3.1</p> <p>鉄筋の定着長さ (5.3.4) ※構造関係共通事項 (配筋標準図) 3.1(b) ・構造図による</p> <p>4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む) (5.3.5) 最小かぶり厚さ ※構造関係共通事項 (配筋標準図) 表4.1 ・軽量コンクリートに適用する場合 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm ・耐久性上不利な箇所がある場合 (塩害を受けるおそれのある部分等) 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm</p> <p>5 各部配筋 (5.3.7) 各部配筋 ※構造関係共通事項 (配筋標準図) ・構造図による</p> <p>6 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 試験方法は標準仕様書 5.4.10 (イ) (ロ) ①～⑥による</p> <p>7 機械式継手 (5.5.3) 適用箇所 ※構造図による H12建設第1463号に適合する性能 ※A級 ・ ()</p> <p>種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手 ・</p> <p>工法 ※第三者機関の評定等を取得している工法 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜取り ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度とする。 試験の箇所数 1ロットに対して () 箇所 ・全数 試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064 (鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準) による 不合格となった場合の措置 (5.5.5)</p>	(5.2.1)																																																																						
6	コンクリート工事	<p>1 コンクリートの種類 (6.2.1) コンクリートの類別 ※I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>2 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等 (6.2.1~4) (6.3.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm²)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m³)</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○21</td> <td>○標準仕様書6.2.2による</td> <td>2.3程度</td> <td>建物躯体 土間コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・18</td> <td>・15</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書6.3.2による ・構造図による</p> <p>・軽量コンクリート (6.2.1~3) (6.3.2) (6.10.1.2) 設計基準強度 (N/mm²) スランブ (cm) 気乾単位容積質量 (t/m³) 種類 適用箇所 ・ ・ ※21 ・ ・ ・1種 ・2種 構造図による</p> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書6.3.2による ・構造図による</p> <p>3 セメント (6.3.1) 種 類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352 J/g 以下、かつ28日目で402 J/g 以下のものとする ・高炉セメントB種 適用箇所 () ・フライアッシュセメントB種 適用箇所 ()</p> <p>4 骨 材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B</p> <p>5 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4) (a)による ・構造図による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4) (b)による ・構造図による</p> <p>6 寒中コンクリート (6.11.1) 適用期間 ・構造図による 構造体強度補正值 (6.11.2) ・積算温度を基に定める場合 () ・標準仕様書6.11.2(3) (7)による ・構造図による</p> <p>7 暑中コンクリート (6.12.2) 構造体強度補正值 ※6N/mm² ・構造図による</p>	設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所	○21	○標準仕様書6.2.2による	2.3程度	建物躯体 土間コンクリート	・18	・15			(6.2.1)																																																										
設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	適用箇所																																																																						
○21	○標準仕様書6.2.2による	2.3程度	建物躯体 土間コンクリート																																																																						
・18	・15																																																																								
校 関	藤本	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事	図面番号 S-01																																																																						
設 計	西谷	図面名称 児童クラブ 建築工事特記仕様書(構造関係) 1	縮尺 -																																																																						

6 コンクリート工事	8 マスコンクリート	適用箇所 (6.13.1)	7 鉄骨工事	1 鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している (7.1.5)	10 床構造用の デッキプレート	材質、形状及び寸法 (7.2.7)	19 耐火被覆	種類、材料、工法等 (7.9.2~8)
		セメントの種類 (6.13.2)	2 鉄骨製作工場における施工管理技術者	※配置する ・配置しない (7.1.4)	①デッキプレート 単独の構法 ・デッキプレートと コンクリートとの合 成スラブとする構法	種類、材料、工法等 (7.9.2~8)			
9 無筋コンクリート	マスコンクリート	混和材料 (6.13.2)	3 鋼材	種類等 (7.2.1)	種類等の 種類の記号 適用箇所(主要な部分) 規格	11 スタッド	開口部補強要領 (補強筋の定着長さ等を含む) ※構造図による 鉄骨部材への溶接方法 ※構造図による 耐火認定 ・あり ・なし	20 アンカーボルト等の 設置等	種類、材料、工法等 (7.9.2~8)
		スランブ (6.13.2)	4 高力ボルト	高力ボルトの種類 (7.2.2)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所		構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)		
10 流動化コンクリート	無筋コンクリート	設計基準強度 (6.14.1)	5 溶融亜鉛めっき 高力ボルト	セットの種類 (7.3.2)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所	12 柱底均しモルタル	JIS B1198 (頭付きスタッド) 種類等 (7.2.8)	21 軽量形鋼構造	種類、材料、工法等 (7.9.2~8)
		スランブ (6.14.1)		ボルトの種類 (7.3.2)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所		構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)		
11 打継ぎの位置、 ひび割れ誘発目地、 打継目地	無筋コンクリート	適用箇所 (6.14.1)	6 普通ボルト	ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所	13 製作精度	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しタイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12報告第1464号第二号イ(2)による ・構造図による アンダーカットの寸法 ※H12報告第1464号第二号イ(3)による ・構造図による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・構造図による	21 軽量形鋼構造	種類、材料、工法等 (7.9.2~8)
		目地寸法 (6.6.4)		ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所				
12 構造体コンクリートの 仕上り	無筋コンクリート	ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 (6.8.1)	7 アンカーボルト	摩擦面の処理方法等 (7.4.2)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所	14 溶接作業を行う 技能資格者の 技量付加試験	試験の要領 ※構造図による	21 軽量形鋼構造	種類、材料、工法等 (7.9.2~8)
		合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)		摩擦面の処理方法等 (7.4.2)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所				
13 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	無筋コンクリート	目地寸法 (6.6.4)	8 溶接材料	母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所	15 溶接接合	開先の形状 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-2 ・鋼製エンドタプの切断する部分 切断する箇所 ※構造図による 切断する範囲 ・構造図による ・鋼製エンドタプ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mmを残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差点をアール状に加工する。 切断面の仕上げ ※標準仕様書 7.6.7(1)(b) (2)による ・構造図による	21 軽量形鋼構造	種類、材料、工法等 (7.9.2~8)
		ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 (6.8.1)		母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径 (7.3.8)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所				
14 型枠	無筋コンクリート	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)	9 ターンバックル	ボルト及びナットの材料 (7.2.3)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所	16 入熱、バス間温度の 溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4 ・構造図による	21 軽量形鋼構造	種類、材料、工法等 (7.9.2~8)
		コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5)		ボルト及びナットの材料 (7.2.3)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所				
15 コンクリートの 単位水量測定	無筋コンクリート	コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5)	9 ターンバックル	座金 (7.2.3)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所	17 溶接部の試験	平12報告第1464号第二号に関する外観試験方法等 (7.6.12)	21 軽量形鋼構造	種類、材料、工法等 (7.9.2~8)
		コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5)		座金 (7.2.3)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所				
16 耐震スリット	無筋コンクリート	コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5)	9 ターンバックル	ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所	18 錆止め塗装	塗料の範囲 (7.8.2.4)	21 軽量形鋼構造	種類、材料、工法等 (7.9.2~8)
		コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5)		ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)	呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所				

建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	校 関 藤本 誠二	設計 西谷 勇哉	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 児童クラブ 建築工事特記仕様書 (構造関係) 2	図面番号 S-02 縮尺 -
--	--	--------------	-------------	---	-------------------------

4	1	防蟻・防蟻処理	<p><4.2.1~3></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">処理の種類及び処理の方法</th> </tr> <tr> <th>適用部材</th> <th>防蟻・防蟻処理が必要な樹種</th> <th>薬剤の加圧注入</th> <th>薬剤の塗布等</th> </tr> <tr> <td>土台</td> <td>・</td> <td>・K2 ○K3 ・K4</td> <td>・行う</td> </tr> </table> <p>インサイジング ○適用する ・適用しない</p> <p>○薬剤の塗布等による処理 薬剤の種類 ※樹種 木造標準仕様書 4.2.1.(9) (a) 適用部材 ※樹種 土台・柱・間柱・防交い (地盤面から+1m以内) 処理の方法 ※木造標準仕様書4.2.1.(9) (b)による ・図示</p> <p>・薬剤の接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 適用部位 処理の方法</p> <p>・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入 (K3) による防蟻・防蟻処理 適用部位 ※図示</p> <p><4.2.2> 地盤に接する鉄筋コンクリートによる床下の防蟻処理 適用は木造標準仕様書4.2.2 (7)による ・(f)による</p> <p><4.2.3> 地盤の土壌の防蟻処理 使用する薬剤 有効成分の系統 () 剤の種類 ・液剤 ・粒剤 処理方法及び使用量 ・帯状散布 (帯状の幅: 約20cm) 液剤: 処理長さ 1L/m 粒剤: () ・面状散布 液剤: 3L/m² 粒剤: ()</p> <p><4.2.4> 基礎外周部の換気孔 ○ねこ土台 材質等 (樹脂製) ※防鼠スクリーン又は防虫網 ・換気孔 ※防鼠スクリーン又は防虫網</p> <p>小屋裏換気方法は木造標準仕様書4.2.4.(3) ・(a) ・(b) ・(c) ・(d) ・(e)</p> <p>換気孔の大きさ ※図示</p> <p><4.3.1> ・国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法 ()</p> <p><4.3.2> 防火被覆の材料および工法 防火被覆の材料 ・図示による 防火被覆の厚さ ・図示による 防火被覆の留付け材の種類 ・図示による 防火被覆の留付け材の間隔 ・図示による 防火被覆の地下材への留付け長さ ・図示による 防火被覆の地下材への端あき距離 ・図示による 防火被覆の地下材への接着剤の使用 ・使用する ・使用しない 防火被覆材の目地等の処理方法 ・図示による ・柱又は梁の継手及び仕口の接合部の防火処理 ・図示による 防火被覆処理部への二次部材の取付け 防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理 ・図示による 防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による</p> <p><4.3.3> 燃えしる層の工法 燃えしる層の厚さ ・図示による 柱又は梁の継手及び仕口の接合部の防火被覆処理 ・図示による 接合部にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理 ・図示による 燃えしる層への二次部材の取付け 燃えしる層の配管等貫通部処理 ・図示による 燃えしる層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理 ・図示による</p> <p><4.3.4> 不燃処理木材等 ・図示による</p>	処理の種類及び処理の方法				適用部材	防蟻・防蟻処理が必要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等	土台	・	・K2 ○K3 ・K4	・行う	4	釘及び木ねじ	<p><5.2.4><5.5.7><5.5.9></p> <table border="1"> <tr> <th>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</th> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○鉄丸くぎ</td> <td>Z</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>Z</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>Z</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table> <p>木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・すりわり付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1135</td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物 <5.2.4><5.5.10></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○アンカーボルト</td> <td>Z</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○六角ボルト</td> <td>Z</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○座金</td> <td>Z</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○皿座付ボルト</td> <td>Z</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○皿穴付ナット</td> <td>Z</td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合具 ※図示</p> <p>ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書5.2.2による 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.3 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.4 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金 材質 ※図示 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.3 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書5.2.4 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物 <5.2.4><5.5.11></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ラグスクリュー</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー ※図示</p> <p>ドリフトピン <5.2.4><5.5.12></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>径・寸法等</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・ドリフトピン</td> <td>※SS400 ・JIS G 3505 SWMB</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>木栓及び木だば <5.2.4><5.5.13></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>形状・長さ等</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・木栓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木だば</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p> <p>ボルトの孔径 ※木造標準仕様書5.4.2による ・図示</p> <p>ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示</p> <p>見え掛り面の表面の仕上げの程度 <5.4.4>(18.13.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>製材</th> <th>機械加工</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>・手加工</td> <td>・H-A種</td> <td>・H-B種</td> <td>・H-C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・構造用集成材 機械加工 ・A種 ※B種 <5.4.4> 丸太材 機械加工 ・A種 ・B種 <5.4.6> 手加工 ・H-A種 ・H-B種 <5.4.7> ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種類 ・A種 ※B種 (18.13.2)</p> <p>埋込み深さ ※図示 保持、及び埋込み工法 ・A種 ○B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示</p> <p>基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ (15.3.2)<5.5.4> 材料 ・木造標準仕様書5.5.4.(4)による ・無収縮モルタル ○セメント系セルフベリング材 モルタルの厚さ ※図示 ○10mm程度</p> <p>建方精度 <5.5.6></p> <p>建入れ直し後の建方精度の許容値 ※垂直、水平の誤差の範囲1/1000以下 ・図示</p> <p>接合金物の工法 <5.5.8></p> <p>熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526) ・ ()</p> <p>構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木</p> <p>火打土台 <5.6.2></p> <p>・木材の火打土台 ・鋼製火打土台</p>	釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘	種類	材質	その他	○鉄丸くぎ	Z	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	Z	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	Z	ステンレス製		種類	材質	その他	○十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他	○アンカーボルト	Z		○六角ボルト	Z		○座金	Z		○皿座付ボルト	Z		○皿穴付ナット	Z		種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他	・ラグスクリュー			種類	材質等	径・寸法等	表面処理	・ドリフトピン	※SS400 ・JIS G 3505 SWMB			種類	樹種	形状・長さ等	その他	・木栓				・木だば				製材	機械加工	A種	B種	C種	・手加工	・H-A種	・H-B種	・H-C種		6	火打梁	<p><5.7.8><5.8.6></p> <p>小屋根 ・木材の火打梁 ○鋼製の火打梁 床組 ・木材の火打梁 ・鋼製の火打梁</p> <p><5.8.2> ・木製床束 ○鋼製床束 ・樹脂製床束</p> <p>木材 <6.2.2></p> <p>構造用面材 <6.2.3></p> <p>接合金物 <6.2.4></p> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外 ※図示 Z、C、X、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・火打金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・筋かいプレート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <6.2.4><6.5.10></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table> <p>木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・すりわり付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1135</td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物 <6.2.4><6.5.11></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・アンカーボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・六角ボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・座金</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合具 ※図示</p> <p>ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書6.2.2による 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書6.2.3 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書6.2.4 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金 材質 ※図示 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書6.2.3 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書6.2.4 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物 <6.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ラグスクリュー</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリュー ※図示</p> <p>ドリフトピン <6.2.4><6.5.13></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>径・寸法等</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・ドリフトピン</td> <td>※SS400</td> <td>※丸鋼</td> <td></td> </tr> </table> <p>木栓及び木だば <6.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>形状・長さ等</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・木栓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木だば</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p> <p>床書き現寸図を作成する <6.4.2></p> <p>ボルトの孔径 ※木造標準仕様書6.4.11による ・図示</p> <p>ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示 <6.4.6>(18.12.2)</p> <p>見え掛り面の表面の仕上げの程度 <6.4.2></p> <table border="1"> <tr> <th>製材</th> <th>機械加工</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>・手加工</td> <td>・H-A種</td> <td>・H-B種</td> <td>・H-C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・構造用集成材 機械加工 ・A種 ※B種 <6.4.4> 木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種類 ・A種 ・B種 (18.12.2)</p> <p>埋込み深さ ※図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示</p> <p>基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ (15.3.2)<6.5.4> 材料 ・木造標準仕様書6.5.4.(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示</p> <p>建方精度 <6.5.7></p> <p>建入れ直し後の建方精度の許容値 ※垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下 ・図示</p>	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・火打金物				・筋かいプレート				・引き寄せ金物				・梁受け金物				・				・				種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		種類	材質	その他	・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他	・アンカーボルト			・六角ボルト			・座金			種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他	・ラグスクリュー			種類	材質等	径・寸法等	表面処理	・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼		種類	樹種	形状・長さ等	その他	・木栓				・木だば				製材	機械加工	A種	B種	C種	・手加工	・H-A種	・H-B種	・H-C種		16	接合金物の工法	<p><6.5.9></p> <p>熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526) ・ ()</p> <p>構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木</p> <p>軸組工法 (壁構造系) 工事に使用する木材は、使用材料表 1 による <5.2.2></p> <p>構造用面材 <5.2.3></p> <p>接合金物 <5.2.4></p> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>○火打金物</td> <td>Z</td> <td></td> <td>同等の金物含む</td> </tr> <tr> <td>・筋かいプレート</td> <td>Z-S</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○引き寄せ金物</td> <td>Z-S</td> <td></td> <td>同等の金物含む</td> </tr> <tr> <td>○梁受け金物</td> <td>S</td> <td></td> <td>同等の金物含む</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合具 ※図示</p>	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	○火打金物	Z		同等の金物含む	・筋かいプレート	Z-S			○引き寄せ金物	Z-S		同等の金物含む	○梁受け金物	S		同等の金物含む	・				・				17	釘及び木ねじの工法	<p><6.5.10></p> <p>構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木</p> <p>軸組工法 (壁構造系) 工事に使用する木材等は、使用材料表 5 による <7.2.2.3></p> <p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <7.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table> <p>木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・ドリリングヘッド付木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1125</td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物 <7.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合具 ※図示</p> <p>ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書7.2.4による 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金 材質 ※図示 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p> <p>埋込み深さ ・図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示</p> <p>基礎天端均しモルタルの仕上げ <7.5.4></p> <p>材料 ・木造標準仕様書7.5.4.(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示</p> <p>床束 <7.7.2></p> <p>・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束</p>	種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		種類	材質	その他	・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・ドリリングヘッド付木ねじ	ステンレス製	JIS B 1125	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・引き寄せ金物				・梁受け金物				7	軸組工法 (壁構造系) 工事に使用する木材等は、使用材料表 5 による <7.2.2.3>	18	軸組工法 (壁構造系) 工事に使用する木材等は、使用材料表 5 による <7.2.2.3>	19	圧入型ジベル	<p><6.5.16></p> <p>圧入型ジベル 種類 材質・形状・寸法等</p>	20	火打土台	<p><6.6.2></p> <p>・木製の火打土台 ・鋼製火打土台</p>	21	火打梁	<p><6.7.8><6.8.6></p> <p>小屋根 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁</p>	22	床束	<p><6.8.2></p> <p>・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束</p>	7	軸組工法 (壁構造系) 工事に使用する木材等は、使用材料表 5 による <7.2.2.3>	8	丸太組構法 (壁構造系) 工事に使用する木材等は、使用材料表 6 による <8.2.2.3>
		処理の種類及び処理の方法																																																																																																																																																																																																																																																																																										
適用部材	防蟻・防蟻処理が必要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等																																																																																																																																																																																																																																																																																									
土台	・	・K2 ○K3 ・K4	・行う																																																																																																																																																																																																																																																																																									
釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘	種類	材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																									
○鉄丸くぎ	Z	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・太め鉄丸くぎ	Z	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ステンレス鋼くぎ	Z	ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
○十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
○アンカーボルト	Z																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○六角ボルト	Z																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○座金	Z																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○皿座付ボルト	Z																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○皿穴付ナット	Z																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ラグスクリュー																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	材質等	径・寸法等	表面処理																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・ドリフトピン	※SS400 ・JIS G 3505 SWMB																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	樹種	形状・長さ等	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・木栓																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・木だば																																																																																																																																																																																																																																																																																												
製材	機械加工	A種	B種	C種																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・手加工	・H-A種	・H-B種	・H-C種																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・火打金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・筋かいプレート																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・引き寄せ金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・梁受け金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・アンカーボルト																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・六角ボルト																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・座金																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ラグスクリュー																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	材質等	径・寸法等	表面処理																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	樹種	形状・長さ等	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・木栓																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・木だば																																																																																																																																																																																																																																																																																												
製材	機械加工	A種	B種	C種																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・手加工	・H-A種	・H-B種	・H-C種																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																									
○火打金物	Z		同等の金物含む																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・筋かいプレート	Z-S																																																																																																																																																																																																																																																																																											
○引き寄せ金物	Z-S		同等の金物含む																																																																																																																																																																																																																																																																																									
○梁受け金物	S		同等の金物含む																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ドリリングヘッド付木ねじ	ステンレス製	JIS B 1125																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・引き寄せ金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・梁受け金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2	釘及び木ねじ	<p><7.2.4></p> <p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table> <p>木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・ドリリングヘッド付木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1125</td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物 <7.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合具 ※図示</p> <p>ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書7.2.4による 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金 材質 ※図示 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p> <p>埋込み深さ ・図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示</p> <p>基礎天端均しモルタルの仕上げ <7.5.4></p> <p>材料 ・木造標準仕様書7.5.4.(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示</p> <p>床束 <7.7.2></p> <p>・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束</p>	種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		種類	材質	その他	・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・ドリリングヘッド付木ねじ	ステンレス製	JIS B 1125	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・引き寄せ金物				・梁受け金物				1	木材等	<p><8.2.2.3></p> <p>丸太組壁工法工事に使用する木材等は、使用材料表 6 による</p>	2	釘及び木ねじ	<p><7.2.4></p> <p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table> <p>木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・ドリリングヘッド付木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1125</td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物 <7.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合具 ※図示</p> <p>ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書7.2.4による 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金 材質 ※図示 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p> <p>埋込み深さ ・図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示</p> <p>基礎天端均しモルタルの仕上げ <7.5.4></p> <p>材料 ・木造標準仕様書7.5.4.(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示</p> <p>床束 <7.7.2></p> <p>・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束</p>	種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		種類	材質	その他	・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・ドリリングヘッド付木ねじ	ステンレス製	JIS B 1125	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・引き寄せ金物				・梁受け金物				3	接合金物	<p><7.2.4></p> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合具 ※図示</p> <p>ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書7.2.4による 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金 材質 ※図示 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p> <p>埋込み深さ ・図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示</p> <p>基礎天端均しモルタルの仕上げ <7.5.4></p> <p>材料 ・木造標準仕様書7.5.4.(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示</p> <p>床束 <7.7.2></p> <p>・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束</p>	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・引き寄せ金物				・梁受け金物				4	ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金	<p><7.5.8><7.2.4></p> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・アンカーボルト</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・六角ボルト</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・座金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>Z、C、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・Z、C、X、D、Sマーク表示金物以外の接合具 ※図示</p> <p>ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書7.2.4による 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>アンカーボルト、ナット及び座金 材質 ※図示 寸法 ※図示</p> <p>座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.5 () 種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書7.2.6 () 種</p> <p>表面処理 ※図示</p> <p>・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p> <p>埋込み深さ ・図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示</p> <p>基礎天端均しモルタルの仕上げ <7.5.4></p> <p>材料 ・木造標準仕様書7.5.4.(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示</p> <p>床束 <7.7.2></p> <p>・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束</p>	種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・アンカーボルト				・六角ボルト				・座金				1	丸太組壁用木材	<p><8.2.2.3></p> <p>丸太組壁用使用する木材は、使用材料表 6 による</p>	2	丸太組壁以外に用いる木材	<p><8.2.3></p> <p>丸太組壁以外に使用する木材は、使用材料表 6 による</p>	3	構造用面材	<p><8.2.4></p> <p>丸太組壁工法工事に使用する構造用面材は、使用材料表 7 による</p>	4	接合金物	<p><8.2.5></p> <p>M・Z、C、D、Sマーク表示金物</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>M、Z、C、D、Sマークの規格等</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・支柱高さ調整金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>M、Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 ・M、Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合具 ※図示</p>	種類	M、Z、C、D、Sマークの規格等	短期許容耐力 (kN)	その他	・支柱高さ調整金物																																																																																																																																																															
種類	材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ドリリングヘッド付木ねじ	ステンレス製	JIS B 1125																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・引き寄せ金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・梁受け金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	材質	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ドリリングヘッド付木ねじ	ステンレス製	JIS B 1125																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・引き寄せ金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・梁受け金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・引き寄せ金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・梁受け金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	Z、C、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・アンカーボルト																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・六角ボルト																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・座金																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	M、Z、C、D、Sマークの規格等	短期許容耐力 (kN)	その他																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・支柱高さ調整金物																																																																																																																																																																																																																																																																																												

丸太組 工法	5	だば	Zマーク表示金物 種類 Zマークの規格等 その他 ・ラグスクリーューだば ・ ・ ・Zマーク表示金物以外のだば ※図示	<8.2.5>	20	基礎天端及び柱底均し モルタルの仕上げ	材料 ・木造標準仕様書8.5.4(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示	<8.5.4>	丸太組 工法	1	木材	CLTパネル工法工事に使用する木材は、使用材料表8による	<9.2.2>
	6	ジャッキボルト	ジャッキボルト 種類 材質等 寸法・形状 表面処理 ・ SS400 図示 図示	<8.2.5>	21	通しボルトの増締め	・木造標準仕様書8.5.7(9)(イ)の工法 ・図示 ・木造標準仕様書8.5.7(9)(ウ)の(a)～(c)以外の時期に増締めを行う場合の時期()	<8.9.7>		2	接合金物	X、Z、C、D、Sマーク表示金物 種類 X、Z、C、D、S マークの規格 短期許容耐力(N) その他 ・引継金物 ・せん断金物	<9.2.4>
	7	垂木用スライド金物	垂木用スライド金物 種類 材質等 寸法・形状 表面処理 ・ SS400 図示 図示	<8.2.5>	22	ジャッキボルトの増締め	・木造標準仕様書8.5.8(2)の(7)～(9)以外の時期に増締めを行う場合の時期()	<8.5.8>		3	釘及び木ねじ	X、Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合金物も含む。 釘(JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 種類 材質 その他 ・鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・木の鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・ステンレス鋼くぎ ステンレス製	<9.5.10><9.2.3>
	8	釘及び木ねじ	釘(JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 種類 材質 その他 ・鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・木の鉄丸くぎ 表面処理された鉄 ・ステンレス鋼くぎ ステンレス製	<8.2.5>	23	釘及び木ねじの工法	構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木	<8.5.11>		4	ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金	X、Z、C、D、Sマーク表示金物 種類 X、Z、C、D、S マークの規格 その他 ・アンカーボルト ・座金 X、Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合金物も含む。 ・X、Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示 ボルト、ナット及び座金 材料 ※図示 形状 ※図示 寸法 ※図示 表面処理 ※図示 アンカーボルト、ナット及び座金 材料 ※図示 形状 ※図示 寸法 ※図示 表面処理 ※図示	<9.2.3><9.5.12>
	9	ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金	M、Zマーク表示金物 種類 M、Zマークの規格等 その他 ・アンカーボルト ・座金 M、Zマーク表示金物には付属する接合金物も含む。 ・M、Zマーク表示金物以外の接合金物 ※図示 ボルト、ナット及び座金 材料 ※木造標準仕様書8.2.6による 寸法 ※図示 座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書8.2.7()種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書8.2.8()種 表面処理 ※図示 アンカーボルト、ナット及び座金 材料 ※図示 寸法 ※図示 座金の種類 ・引張り応力を受ける座金 木造標準仕様書8.2.7()種 ・せん断応力を受ける座金 木造標準仕様書8.2.8()種 表面処理 ※図示	<8.2.5>	24	火打土台	・木材の火打土台 ・鋼製の火打土台	<8.6.2>		5	ラグスクリーュー	X、Z、C、D、Sマーク表示金物 種類 X、Z、C、D、S マークの規格 その他 ・ラグスクリーュー ・X、Z、C、D、Sマーク表示金物以外のラグスクリーュー ※図示	<9.2.3><9.5.12>
	10	通しボルト、高ナット及び座金	Mマーク表示金物 種類 Mマークの規格等 その他 ・通しボルト Mマーク表示金物には付属する接合金物も含む。 ・Mマーク表示金物以外の接合金物 ※図示	<8.2.5>	25	火打梁	小屋組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁	<8.7.9><8.8.6>		6	ドリフトピン	ドリフトピン 種類 材質等 径・寸法等 表面処理 ・ドリフトピン ※SS400 ※丸鋼	<9.2.3><9.5.13>
	11	接着剤	・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類(床根太用接着剤JIS A 5550) 種類()	<8.2.5>	26	床束	・木製床束 ・鋼製床束 ・樹脂製床束	<8.8.2>		7	接着剤	・床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類(床根太用接着剤JIS A 5550) 種類() ・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類()	<9.2.3>
	12	断面加工	機械加工 断面形状 木造標準仕様書8.4.11による ・(イ) ・(ロ) ・(ハ) ・(ニ) さね形状 ※製造所の仕様 ・図示	<8.4.2>	27	階段	階段の取付け ※木造標準仕様書8.9.7(1)による ・(7) ・(イ) ・(ウ) ・図示	<8.9.7>		8	孔あけ加工	ボルト孔の径 ※木造標準仕様書8.4.11による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示	<9.4.4>
	13	交差部形状加工	交差部の形状 ※製造所の仕様 ・図示 突出部分が高さから200mm未満の場合の補強方法 ※図示	<8.4.3>	28	丸太組壁用木材の表面仕上げ	機械加工 ※自動機械かんな掛け仕上げ ・図示 手加工 ※ちよんな、曲面かんな又はディスクサンダー掛け ・図示 ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ※B種	<8.4.5>(18.12.2)		9	表面の仕上げ	表面の仕上げの程度 CLTパネル ※A種 ・B種 ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ・B種	<9.4.5>(18.13.2)
	14	丸太組壁用木材の表面仕上げ	機械加工 ※自動機械かんな掛け仕上げ ・図示 手加工 ※ちよんな、曲面かんな又はディスクサンダー掛け ・図示 ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ※B種	<8.4.5>(18.12.2)	29	孔あけ加工	ボルト孔の径 ※木造標準仕様書8.4.4による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示	<8.4.6>		10	アンカーボルトの設置	埋込み深さ ・ 図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種(土台を設ける場合) 埋込み位置の許容誤差 ・±2mm ・±5mm(土台を設ける場合)	<9.5.4>
	15	孔あけ加工	ボルト孔の径 ※木造標準仕様書8.4.4による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示	<8.4.6>	30	丸太組壁以外に設ける木材の表面仕上げ	見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・製材 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 ・構造用集成材 機械加工 ・A種 ※B種 ・丸太材 機械加工 ・A種 ・B種 ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ※B種	<8.4.5><8.4.6><8.4.7>(18.13.2)		11	基礎天端均しモルタルの仕上げ	材料 ・木造標準仕様書9.5.4(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示	<9.5.4>(15.3.2)
	16	丸太組壁以外に設ける木材の表面仕上げ	見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・製材 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 ・構造用集成材 機械加工 ・A種 ※B種 ・丸太材 機械加工 ・A種 ・B種 ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ※B種	<8.4.5><8.4.6><8.4.7>(18.13.2)	31	建方精度	建入れ直し後の建方精度の許容値 ※垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下、かつ床及び壁の天端の平坦さ±3mm以下 ・図示	<9.5.7>		12	接合金物の工法	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 ・()	<9.5.9>
	17	継手の方法	丸太組壁用木材に設ける継手の方法 ※木造標準仕様書8.4.7(2) ・図示	<8.4.7>	32	釘及び木ねじの工法	構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木	<8.5.11>		13	接合金物の工法	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 ・()	<9.5.9>
	18	仮組立	※適用する	<8.4.9>	33	丸太組壁以外に設ける木材の表面仕上げ	見え掛り面の表面の仕上げの程度 ・製材 機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 ・構造用集成材 機械加工 ・A種 ※B種 ・丸太材 機械加工 ・A種 ・B種 ・木材保護塗料塗り 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ※B種	<8.4.5><8.4.6><8.4.7>(18.13.2)		14	基礎天端均しモルタルの仕上げ	材料 ・木造標準仕様書9.5.4(7)による ・無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示	<9.5.4>(15.3.2)
	19	アンカーボルトの設置	埋込み深さ ・ 図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm以下 ・()	<8.5.3>	34	建方精度	建入れ直し後の建方精度の許容値 ※垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下、かつ床及び壁の天端の平坦さ±3mm以下 ・図示	<9.5.7>		15	接合金物の工法	熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ・埋め木 ・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 ・()	<9.5.9>

御承認	記事	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲  設計 	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 児童クラブ 木造工事特記仕様書(構造関係)(2)	図面番号 S-04 縮尺 -
-----	----	---	---	------------------------	--	---	-------------------------

<p>建物概要等</p> <p>1. 構造概要</p> <p>2. 構造設計条件等</p> <p>3. 地盤調査資料</p> <p>4. 液状化対策</p>	<p>構造概要</p> <table border="1"> <tr> <th>構造種別</th> <td>地上 ()階~()階(木)造 地下 ()階~()階()造</td> <th>備考</th> <td></td> </tr> <tr> <th>架構形式</th> <td>X方向 ()軸組構法(壁構造系) Y方向 ()軸組構法(壁構造系)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>耐震構造方式</th> <td>○耐震構造・制振構造 ○免震構造(免震層の位置・基礎下免震・中間階免震()階)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>基礎方式</th> <td>○直接基礎(独立・連続・べた) ○杭基礎(場所打ちコンクリート杭・既製コンクリート杭・鋼管杭)</td> <td>適用箇所は図示による</td> <td>()</td> </tr> <tr> <th>耐震安全性の分類</th> <td>・I類(1.5) ○II類(1.25) ・III類(1.0)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>耐風に関する性能の分類</th> <td>・I類(1.3) ○II類(1.15) ・III類(1.0)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>計算方法</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>X方向</th> <th>Y方向</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>許容応力度計算(令第82条各号+令第82条の4)</td> <td>【ルート1】</td> <td>.</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>許容応力度等計算</td> <td>【ルート2】</td> <td>.</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>保有水平耐力計算</td> <td>【ルート3】</td> <td>.</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>限界耐力計算</td> <td></td> <td>.</td> <td>X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する</td> </tr> <tr> <td>その他の計算法(壁量計算、壁の配置バランス、柱頭柱脚接合方法の確認)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造計算適合性判定機関(広島県)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別な検証法(時刻歴応答解析による)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大臣認定(認定番号)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定性能評価機関</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価・高層評価・免震評価・その他(評価番号)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>外力等</p> <table border="1"> <tr> <th>地震力</th> <td>設計用一次固有周期 ()秒 地震地域係数(2) $Z=1.0$ ○D.9・0.8・0.7 地盤の種別 第()種地盤 $T_e=(0.6)$秒 標準せん断力係数 X方向 Y方向 一次設計 $C_d=()$ $C_d=()$ 二次設計 $C_d=()$ $C_d=()$ を確認する</td> <th>備考</th> <td>令46条の重い層壁として計算し、存在壁量(Ld) /必要壁量(La) ≥ 1.25</td> </tr> <tr> <th>風圧力(施行令第7条)</th> <td>地表面粗度区分 ・I・II・III・IV () ()m/s 基準風速(Va) 速度圧(q) 平均必要壁量を50(m²)として存在壁量(Ld) /必要壁量(La) ≥ 1.15 を確認する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>風圧力(施行令第8条の4)</th> <td>地表面粗度区分 ・I・II・III・IV () ()m/s 基準風速(Va) 速度圧(q) 平均必要壁量を50(m²)として存在壁量(Ld) /必要壁量(La) ≥ 1.15 を確認する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>積雪荷重</th> <td>設計積雪積雪量 ()cm 単位荷重 ()N/m²/cm 垂直積雪量の低減・低減する ○低減しない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	構造種別	地上 ()階~()階(木)造 地下 ()階~()階()造	備考		架構形式	X方向 ()軸組構法(壁構造系) Y方向 ()軸組構法(壁構造系)			耐震構造方式	○耐震構造・制振構造 ○免震構造(免震層の位置・基礎下免震・中間階免震()階)			基礎方式	○直接基礎(独立・連続・べた) ○杭基礎(場所打ちコンクリート杭・既製コンクリート杭・鋼管杭)	適用箇所は図示による	()	耐震安全性の分類	・I類(1.5) ○II類(1.25) ・III類(1.0)			耐風に関する性能の分類	・I類(1.3) ○II類(1.15) ・III類(1.0)				X方向	Y方向	備考	許容応力度計算(令第82条各号+令第82条の4)	【ルート1】	.	.	許容応力度等計算	【ルート2】	.	.	保有水平耐力計算	【ルート3】	.	.	限界耐力計算		.	X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する	その他の計算法(壁量計算、壁の配置バランス、柱頭柱脚接合方法の確認)	○	○		構造計算適合性判定機関(広島県)				特別な検証法(時刻歴応答解析による)				大臣認定(認定番号)				指定性能評価機関				評価・高層評価・免震評価・その他(評価番号)				地震力	設計用一次固有周期 ()秒 地震地域係数(2) $Z=1.0$ ○D.9・0.8・0.7 地盤の種別 第()種地盤 $T_e=(0.6)$ 秒 標準せん断力係数 X方向 Y方向 一次設計 $C_d=()$ $C_d=()$ 二次設計 $C_d=()$ $C_d=()$ を確認する	備考	令46条の重い層壁として計算し、存在壁量(Ld) /必要壁量(La) ≥ 1.25	風圧力(施行令第7条)	地表面粗度区分 ・I・II・III・IV () ()m/s 基準風速(Va) 速度圧(q) 平均必要壁量を50(m ²)として存在壁量(Ld) /必要壁量(La) ≥ 1.15 を確認する			風圧力(施行令第8条の4)	地表面粗度区分 ・I・II・III・IV () ()m/s 基準風速(Va) 速度圧(q) 平均必要壁量を50(m ²)として存在壁量(Ld) /必要壁量(La) ≥ 1.15 を確認する			積雪荷重	設計積雪積雪量 ()cm 単位荷重 ()N/m ² /cm 垂直積雪量の低減・低減する ○低減しない			<p>構造関係共通事項(共通事項)</p> <p>構-1</p> <p>1.1 適用範囲</p> <p>(1)構造関係共通事項(配筋標準図)は鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。</p> <p>(2)構造関係共通事項(鉄骨標準図)は鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。</p> <p>(3)建築構造図に特記なき事項は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年度版による。</p> <p>1.2 用語の定義</p> <p>(1)構造図とは、建築構造図のうち構造関係共通事項以外の図面をいう。</p> <p>(2)異形鉄筋の径(本文、図、表において「D、d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。</p> <p>(3)長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。</p> <p>1.3 優先順位</p> <p>設計図書の図面のうち建築構造図に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。</p> <p>1. 構造図及び構造関係共通事項(共通事項)</p> <p>2. 構造関係共通事項(配筋標準図)、構造関係共通事項(鉄骨標準図)</p> <p>1.4 記号等</p> <p>図面で使用する記号等は表1~表4を標準とする。</p> <p>表1 異形鉄筋の断面表示記号</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>径</th> <th>D10</th> <th>D13</th> <th>D16</th> <th>D19</th> <th>D22</th> <th>D25</th> <th>D29</th> <th>D32</th> </tr> <tr> <td>建築</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>∅</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>⊙</td> <td>⊗</td> <td>⊚</td> </tr> </table> <p>表2 各階図面における記号</p> <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>説明</th> <th>記号</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>○※</td> <td>スラブの配筋種別</td> <td>⊕</td> <td>杭の位置</td> </tr> <tr> <td>◇</td> <td>スラブ厚さ</td> <td>⊕</td> <td>試験杭の位置</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>階段の配筋種別</td> <td>▨</td> <td>打増しの範囲</td> </tr> <tr> <td>○※</td> <td>土間コンクリート</td> <td>⊗</td> <td>スラブ開口</td> </tr> <tr> <td>□</td> <td>コンクリートブロック壁(CB壁)</td> <td>⊕</td> <td>ポーリング位置</td> </tr> <tr> <td>▨</td> <td>梁・スラブの上り下りの範囲</td> <td>(±)</td> <td>凡からの上り下がり</td> </tr> <tr> <td>EW○○</td> <td>耐力壁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>EW○○</td> <td>片持ち57°階段を受け、かつ耐力壁土圧を受け、かつ耐力壁</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表3 梁貫通孔記号</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>径</th> <th>50</th> <th>75</th> <th>100</th> <th>125</th> <th>150</th> <th>175</th> <th>200</th> <th>225</th> <th>250</th> <th>275</th> <th>300</th> <th>325</th> <th>350</th> <th>375</th> <th>400</th> </tr> <tr> <td>建築</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>+</td> <td>+</td> </tr> </table> <p>表4 スリーブ材質の凡例</p> <table border="1"> <tr> <th>管名</th> <th>鋼管</th> <th>溶融亜鉛めっき鋼管</th> <th>硬質塩化ビニル管(薄肉管)</th> <th>つば付き鋼管(黒管)</th> </tr> <tr> <td>記号(建築用)</td> <td>SP(白管)</td> <td>GA</td> <td>WU</td> <td>RS</td> </tr> </table> <p>※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。</p>	区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	建築		○	×	∅	○	○	⊙	⊗	⊚	記号	説明	記号	説明	○※	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置	◇	スラブ厚さ	⊕	試験杭の位置	○	階段の配筋種別	▨	打増しの範囲	○※	土間コンクリート	⊗	スラブ開口	□	コンクリートブロック壁(CB壁)	⊕	ポーリング位置	▨	梁・スラブの上り下りの範囲	(±)	凡からの上り下がり	EW○○	耐力壁			EW○○	片持ち57°階段を受け、かつ耐力壁土圧を受け、かつ耐力壁			区分	径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400	建築		○	×	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	管名	鋼管	溶融亜鉛めっき鋼管	硬質塩化ビニル管(薄肉管)	つば付き鋼管(黒管)	記号(建築用)	SP(白管)	GA	WU	RS	<p>構造関係共通事項(配筋標準図)</p> <p>1.1 鉄筋の加工</p> <p>鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。</p> <p>表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">折曲げ角度</th> <th rowspan="2">折曲げ内法直径(D)</th> <th colspan="3">折曲げ内法直径(D)</th> </tr> <tr> <th>SD295, SD345</th> <th>SD390</th> <th></th> </tr> <tr> <td></td> <td>呼び名</td> <td>D16以下</td> <td>D19~D38</td> <td>D19~D38</td> </tr> <tr> <td>180°</td> <td></td> <td>4d以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>135°</td> <td></td> <td>6d以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>90°</td> <td></td> <td>8d以上</td> <td>3d以上</td> <td>4d以上 5d以上</td> </tr> <tr> <td>135°及び90°(幅止め筋)</td> <td></td> <td>4d以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。</p> <p>2. 90°未満の折曲げの内法直径は構造図による。</p> <p>2.1 異形鉄筋の末端部</p> <p>次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。</p> <p>(1) 柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部</p> <p></p> <p>図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋(●印)</p> <p>(2) 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)</p> <p>(3) 杭基礎のベース筋</p> <p>(4) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋</p> <p>3.1 継手及び定着</p> <p>(a) 鉄筋の重ね継手</p> <p>(1) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。</p> <p>(2) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁を除く鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。</p> <p>表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ</p> <table border="1"> <tr> <th>鉄筋の種類</th> <th>コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm²)</th> <th>L1 (フックなし)</th> <th>L1H (フックあり)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">SD295</td> <td>18</td> <td>45d</td> <td>35d</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>40d</td> <td>30d</td> </tr> <tr> <td>24, 27</td> <td>35d</td> <td>25d</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">SD345</td> <td>18</td> <td>50d</td> <td>35d</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>45d</td> <td>30d</td> </tr> <tr> <td>24, 27</td> <td>40d</td> <td>30d</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">SD390</td> <td>18</td> <td>50d</td> <td>35d</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>45d</td> <td>30d</td> </tr> <tr> <td>24, 27</td> <td>40d</td> <td>30d</td> </tr> </table> <p>(注) 1. L1, L1H 重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ</p> <p>2. フックありの場合のL1は、図3.1に示すようにフック部分Qを含まない。</p> <p>3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。</p> <p>図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ</p>	折曲げ角度	折曲げ内法直径(D)	折曲げ内法直径(D)			SD295, SD345	SD390			呼び名	D16以下	D19~D38	D19~D38	180°		4d以上			135°		6d以上			90°		8d以上	3d以上	4d以上 5d以上	135°及び90°(幅止め筋)		4d以上			鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L1 (フックなし)	L1H (フックあり)	SD295	18	45d	35d	21	40d	30d	24, 27	35d	25d	SD345	18	50d	35d	21	45d	30d	24, 27	40d	30d	SD390	18	50d	35d	21	45d	30d	24, 27	40d	30d	<p>(3) 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず40d以上(軽量コンクリートの場合は50d以上)又は表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。</p> <p>(4) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。ただし、スラブ筋でD16以下の場合及び壁筋の場合は除く。</p> <p>表3.2 隣り合う継手の位置</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">手廻り重</th> <th rowspan="2">フックありの場合</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">手廻り重</th> <th rowspan="2">フックなしの場合</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <th>手廻り重</th> <th>ガス圧接継手・溶接継手</th> <td></td> </tr> <tr> <th>手廻り重</th> <th>カップラー</th> <td></td> </tr> </table> <p>(b) 鉄筋の定着</p> <p>(1) 鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。</p> <p>(2) 柱に取り付ける引張り鉄筋の直線定着長さは、40d以上(軽量コンクリートの場合は50d以上)とする。</p> <p>表3.3 鉄筋の定着の長さ</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">鉄筋の種類</th> <th rowspan="2">コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm²)</th> <th colspan="4">直線定着の長さ</th> <th colspan="4">フックあり定着の長さ</th> </tr> <tr> <th>L1</th> <th>L2</th> <th>L3</th> <th>L3h</th> <th>L1h</th> <th>L2h</th> <th>L3h</th> <th>L3h</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">SD295</td> <td>18</td> <td>45d</td> <td>40d</td> <td>20d</td> <td>150mm</td> <td>35d</td> <td>30d</td> <td>25d</td> <td>20d</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>40d</td> <td>35d</td> <td>20d</td> <td>150mm</td> <td>30d</td> <td>25d</td> <td>20d</td> <td>15d</td> </tr> <tr> <td>24, 27</td> <td>35d</td> <td>30d</td> <td>20d</td> <td>150mm</td> <td>25d</td> <td>20d</td> <td>15d</td> <td>10d</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">SD345</td> <td>18</td> <td>50d</td> <td>40d</td> <td>20d</td> <td>150mm</td> <td>35d</td> <td>30d</td> <td>25d</td> <td>20d</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>45d</td> <td>35d</td> <td>20d</td> <td>150mm</td> <td>30d</td> <td>25d</td> <td>20d</td> <td>15d</td> </tr> <tr> <td>24, 27</td> <td>40d</td> <td>35d</td> <td>20d</td> <td>150mm</td> <td>25d</td> <td>20d</td> <td>15d</td> <td>10d</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">SD390</td> <td>18</td> <td>50d</td> <td>40d</td> <td>20d</td> <td>150mm</td> <td>35d</td> <td>30d</td> <td>25d</td> <td>20d</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>45d</td> <td>35d</td> <td>20d</td> <td>150mm</td> <td>30d</td> <td>25d</td> <td>20d</td> <td>15d</td> </tr> <tr> <td>24, 27</td> <td>40d</td> <td>30d</td> <td>20d</td> <td>150mm</td> <td>25d</td> <td>20d</td> <td>15d</td> <td>10d</td> </tr> </table> <p>(注) 1. L1, L1H: 2. から4. まで以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ</p> <p>2. L2, L2h: 鋼筋の破断のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ</p> <p>3. L3: 小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐力スラブ及びこれを受ける小梁を除く。</p> <p>4. L3h: 小梁の下端筋のフックあり定着の長さ</p> <p>5. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分Qを含まない。また、中間部での折曲げは行わない。</p> <p>6. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。</p> <p>図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ</p> <p>(2) 梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(i)、(ii)及び(iii)をすべて満足するものとする。</p> <p>(i) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上</p> <p>(ii) 余長は8d以上とする。</p> <p>(iii) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さLa及びLbは表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上とする。</p> <p>図3.3 折曲げ定着の方法</p>	手廻り重	フックありの場合			手廻り重	フックなしの場合			手廻り重	ガス圧接継手・溶接継手		手廻り重	カップラー		鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	直線定着の長さ				フックあり定着の長さ				L1	L2	L3	L3h	L1h	L2h	L3h	L3h	SD295	18	45d	40d	20d	150mm	35d	30d	25d	20d	21	40d	35d	20d	150mm	30d	25d	20d	15d	24, 27	35d	30d	20d	150mm	25d	20d	15d	10d	SD345	18	50d	40d	20d	150mm	35d	30d	25d	20d	21	45d	35d	20d	150mm	30d	25d	20d	15d	24, 27	40d	35d	20d	150mm	25d	20d	15d	10d	SD390	18	50d	40d	20d	150mm	35d	30d	25d	20d	21	45d	35d	20d	150mm	30d	25d	20d	15d	24, 27	40d	30d	20d	150mm	25d	20d	15d	10d
構造種別	地上 ()階~()階(木)造 地下 ()階~()階()造	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
架構形式	X方向 ()軸組構法(壁構造系) Y方向 ()軸組構法(壁構造系)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
耐震構造方式	○耐震構造・制振構造 ○免震構造(免震層の位置・基礎下免震・中間階免震()階)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
基礎方式	○直接基礎(独立・連続・べた) ○杭基礎(場所打ちコンクリート杭・既製コンクリート杭・鋼管杭)	適用箇所は図示による	()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
耐震安全性の分類	・I類(1.5) ○II類(1.25) ・III類(1.0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
耐風に関する性能の分類	・I類(1.3) ○II類(1.15) ・III類(1.0)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	X方向	Y方向	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
許容応力度計算(令第82条各号+令第82条の4)	【ルート1】	.	.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
許容応力度等計算	【ルート2】	.	.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
保有水平耐力計算	【ルート3】	.	.																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
限界耐力計算		.	X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
その他の計算法(壁量計算、壁の配置バランス、柱頭柱脚接合方法の確認)	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
構造計算適合性判定機関(広島県)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
特別な検証法(時刻歴応答解析による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
大臣認定(認定番号)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
指定性能評価機関																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
評価・高層評価・免震評価・その他(評価番号)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
地震力	設計用一次固有周期 ()秒 地震地域係数(2) $Z=1.0$ ○D.9・0.8・0.7 地盤の種別 第()種地盤 $T_e=(0.6)$ 秒 標準せん断力係数 X方向 Y方向 一次設計 $C_d=()$ $C_d=()$ 二次設計 $C_d=()$ $C_d=()$ を確認する	備考	令46条の重い層壁として計算し、存在壁量(Ld) /必要壁量(La) ≥ 1.25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
風圧力(施行令第7条)	地表面粗度区分 ・I・II・III・IV () ()m/s 基準風速(Va) 速度圧(q) 平均必要壁量を50(m ²)として存在壁量(Ld) /必要壁量(La) ≥ 1.15 を確認する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
風圧力(施行令第8条の4)	地表面粗度区分 ・I・II・III・IV () ()m/s 基準風速(Va) 速度圧(q) 平均必要壁量を50(m ²)として存在壁量(Ld) /必要壁量(La) ≥ 1.15 を確認する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
積雪荷重	設計積雪積雪量 ()cm 単位荷重 ()N/m ² /cm 垂直積雪量の低減・低減する ○低減しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
建築		○	×	∅	○	○	⊙	⊗	⊚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
記号	説明	記号	説明																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○※	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
◇	スラブ厚さ	⊕	試験杭の位置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○	階段の配筋種別	▨	打増しの範囲																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○※	土間コンクリート	⊗	スラブ開口																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
□	コンクリートブロック壁(CB壁)	⊕	ポーリング位置																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
▨	梁・スラブの上り下りの範囲	(±)	凡からの上り下がり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
EW○○	耐力壁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
EW○○	片持ち57°階段を受け、かつ耐力壁土圧を受け、かつ耐力壁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
建築		○	×	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
管名	鋼管	溶融亜鉛めっき鋼管	硬質塩化ビニル管(薄肉管)	つば付き鋼管(黒管)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
記号(建築用)	SP(白管)	GA	WU	RS																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
折曲げ角度	折曲げ内法直径(D)	折曲げ内法直径(D)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		SD295, SD345	SD390																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	呼び名	D16以下	D19~D38	D19~D38																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
180°		4d以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
135°		6d以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
90°		8d以上	3d以上	4d以上 5d以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
135°及び90°(幅止め筋)		4d以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L1 (フックなし)	L1H (フックあり)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
SD295	18	45d	35d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	21	40d	30d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	24, 27	35d	25d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
SD345	18	50d	35d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	21	45d	30d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	24, 27	40d	30d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
SD390	18	50d	35d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	21	45d	30d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	24, 27	40d	30d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
手廻り重	フックありの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
手廻り重	フックなしの場合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
手廻り重	ガス圧接継手・溶接継手																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
手廻り重	カップラー																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	直線定着の長さ				フックあり定着の長さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		L1	L2	L3	L3h	L1h	L2h	L3h	L3h																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
SD295	18	45d	40d	20d	150mm	35d	30d	25d	20d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	21	40d	35d	20d	150mm	30d	25d	20d	15d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	24, 27	35d	30d	20d	150mm	25d	20d	15d	10d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
SD345	18	50d	40d	20d	150mm	35d	30d	25d	20d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	21	45d	35d	20d	150mm	30d	25d	20d	15d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	24, 27	40d	35d	20d	150mm	25d	20d	15d	10d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
SD390	18	50d	40d	20d	150mm	35d	30d	25d	20d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	21	45d	35d	20d	150mm	30d	25d	20d	15d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	24, 27	40d	30d	20d	150mm	25d	20d	15d	10d																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	<p>構-2</p> <p>1. コンクリートの単位水量測定</p> <p>(1) 単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。</p> <p>(2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f)(c)による。</p> <p>(3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。</p> <p>1) 測定した単位水量が、配合計画書の設計値(以下「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合は、その運搬車のレディーミキストコンクリート(以下「生コン」という。)を合格とし、そのまま打設する。</p> <p>2) 測定した単位水量が設計値±15を超過±20kg/m³の範囲にある場合は、その運搬車の生コンを合格とし打設できないが、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20kg/m³以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m³以内安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。</p> <p>3) 測定した単位水量が設計値±20kg/m³を超える場合は、その運搬車の生コンを不合格とし、打設せずに持ち帰らせるとともに、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20kg/m³以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m³以内安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。</p> <p>4) 3)により不合格となった生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。</p> <p>(4) 単位水量管理についての記録を配合計画書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により監督職員に提出する。</p> <p>(5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は当該生コン生産者以外の機関とする。</p>	<p>建設コンサルタント株式会社</p> <p>建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号</p> <p>1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二</p> <p>1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉</p> <p>校閲 藤本 誠二</p> <p>設計 西谷 勇哉</p> <p>設計年月日 2025.03.</p>	<p>工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事</p> <p>図面名称 児童クラブ 構造関係共通事項(1)</p> <p>図面番号 S-05</p> <p>縮尺</p>	<p>御承認</p> <p>記事</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L_d	L_s
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	15d
SD390	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24, 27	20d	20d

- (注) 1. L_d : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ (基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。)
2. L_s : 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ (片持小梁及び片持スラブを除く。)
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。
- (3) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。
なお、 L_1 は表3.1に、 L_2 及び L_3 は表3.3による。

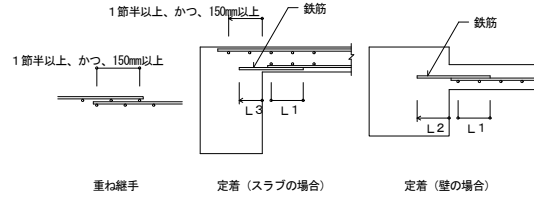


図3.4 溶接金網の継手及び定着

- (4) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による

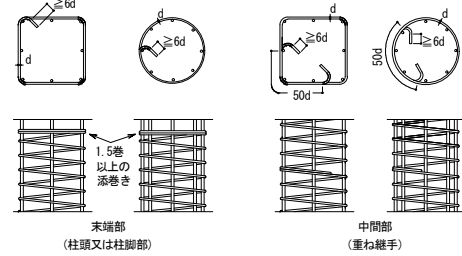


図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4.1 最小かぶり厚さ

- (a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。
ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種類	最小かぶり厚さ (mm)		
	土に接しない部分	土に接する部分	
スラブ	耐力壁以外の壁	仕上げあり 20	
	耐力壁以外の壁	仕上げなし 30	
	柱・梁・耐力壁	屋内	仕上げあり 30
		屋外	仕上げあり 30
擁壁、耐圧スラブ	柱・梁	40	
	スラブ・壁	40	
土に接する部分	基礎、擁壁、耐圧スラブ	60	
	煙突等高温を受ける部分	60	

- (注) 1. この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。
また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ (土塗料、塗装等) のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含めない。
4. 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭先端からとする。

- (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

- (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

- (d) 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のものとす。
- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 隣り合う鉄筋の径の平均 (呼び名の数値) の1.5倍

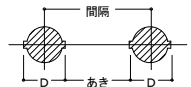


図4.1 鉄筋相互のあき及び間隔

- (e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。
- (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

5.1 基礎梁

- (a) 一般事項
- (1) 梁筋は、連続梁で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折曲げて定着する。
- (2) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(b) (4)による。

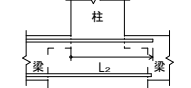
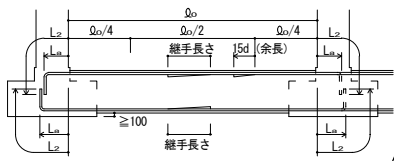


図5.1 基礎梁の基礎梁内への定着

- (b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいの3/4倍以上)

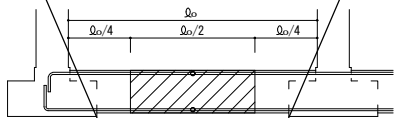
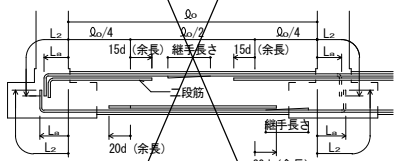


図5.3 主筋の継手、定着及び余長 (その1)

- (c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。
ただし、耐圧スラブが付く場合は、(a)による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいの3/4倍以上)

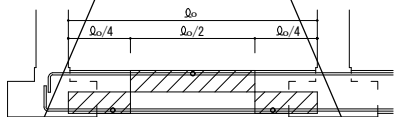
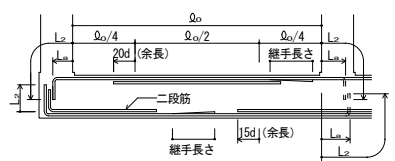


図5.3 主筋の継手、定着及び余長 (その2)

- (d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいの3/4倍以上)

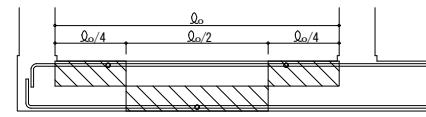


図5.4 主筋の継手、定着及び余長 (その3)

5.2 基礎梁のあばら筋等

- (a) 一般事項
- (1) あばら筋の径および間隔は、構造図による。
- (2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。
ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることできる。

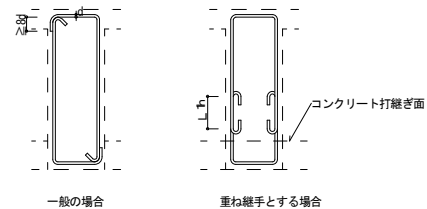


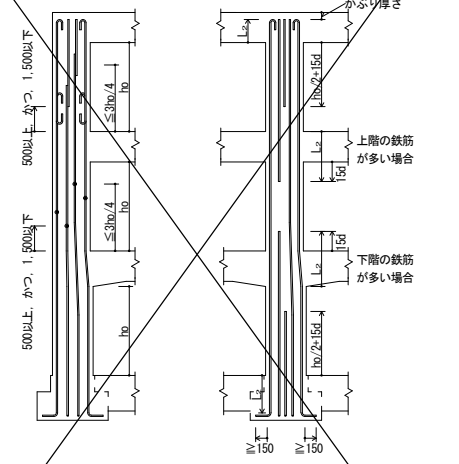
図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

- (b) 腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。

- (c) あばら筋の割付けは、7.2(c)による。

6.1 柱

- (a) 一般事項
- (1) 継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、 $3h_o/4$ (h_o は柱の内法高さ) 以下とする。
- (2) 継手、定着及び余長は、図6.1による。
ただし、柱頭定着長さL2が確保できない場合は、構造図による。



- (注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上層の柱頭にある場合には、フックを付ける。
2. 隣り合う継手の位置は、表3.2 [隣り合う継手の位置] による。
3. 継手及び定着は、すべての層に適用できる。

図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

- (b) 柱打増し部

- (1) 打増し部分に、壁、梁、スラブ等とつりつく場合の壁、梁、スラブ等の定着長さは、打増し部分を含めない。
- (2) 土に接する柱周囲の打増しは図6.2による。

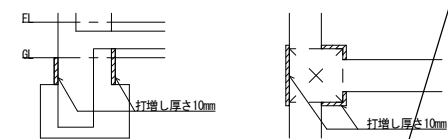
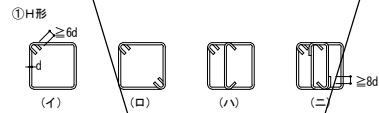


図6.2 柱打増し部

6.2 帯筋

- (a) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による。

- (b) 帯筋組立の形は図6.3により、適用は構造図による。
- (1) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。
- (2) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。
- (3) S P形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。



- (イ) H形

- (ロ) W-1形

- (ハ) S P形 (スパイラル筋)

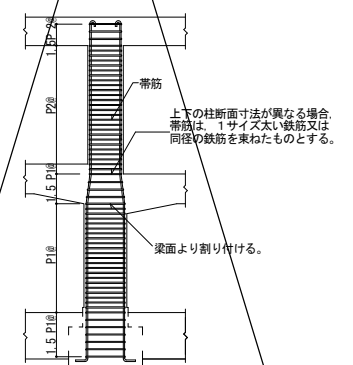
- (ニ) 丸形

- (イ) 丸形

図6.3 帯筋組立の形

- (c) フック及び継手の位置は交互とする。

- (d) 帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。



- (注) 1. 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5 P18または1.5 P28とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
2. 図中のP18、P28は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.4 帯筋の割付け

7.1 大梁

- (a) 一般事項
- (1) 梁の上り下りはFLを基準とした寸法とする。
- (2) 地中梁下の砂利地層及び捨てコンクリート地層は構造図による。
- (3) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合のスラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含めない。

- (b) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- (1) 継手中心位置は、次による。
上端筋: 中央 $Q_o/2$ 以内
下端筋: 柱より梁せい (D) 以上離し、 $Q_o/4$ を加えた範囲以内
- (2) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。
- (3) 梁筋は、連続梁で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。

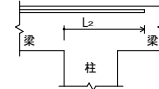


図7.1 大梁主筋の梁内定着

- (4) 梁主筋を柱内に折曲げて定着する場合は次による。
なお、定着の方法は3.1(b) (2)による。

- 上端筋: 曲げ替るす
下端筋 (一般): 原則、曲げ上げる。
下端筋 (ハンチ付き): 原則、曲げ上げる。
- (5) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は構造図による。
- (6) 段違い梁は、図7.2による。

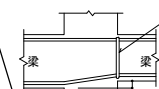


図7.2 段違い梁

- (c) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。

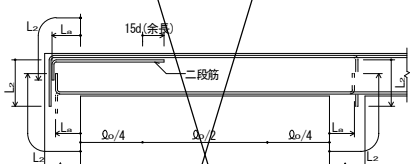
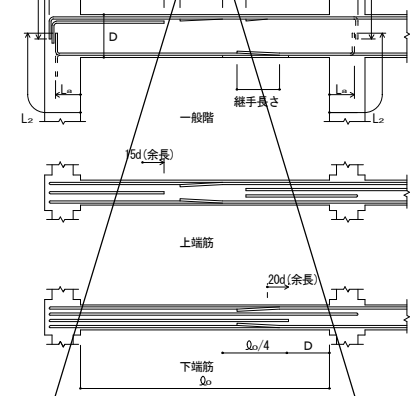


図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合 (基礎梁を除く) には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいの3/4倍以上)



- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合 (基礎梁を除く) には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
4. 梁主筋のみ込み長さ (柱せいの3/4倍以上)

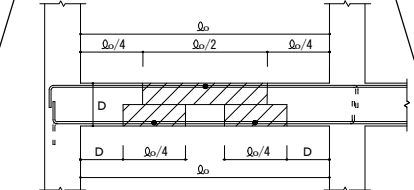


図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

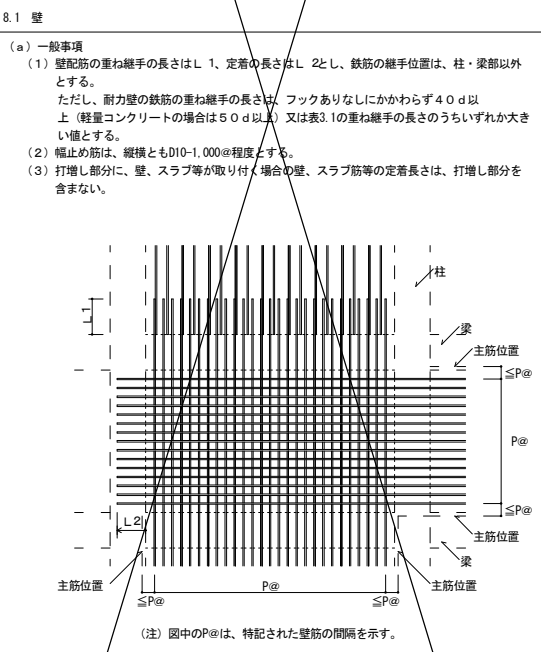
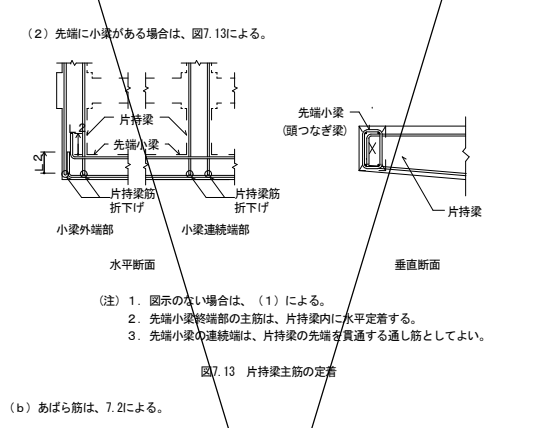
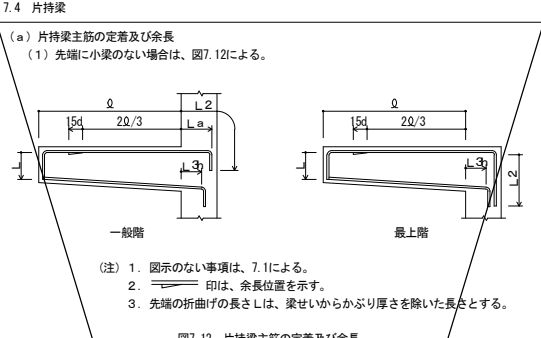
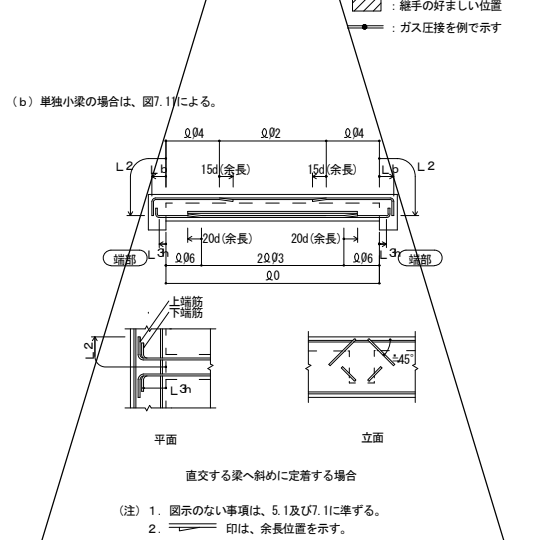
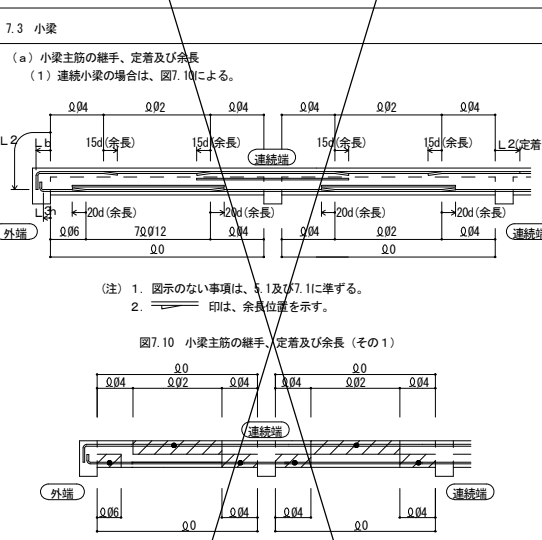
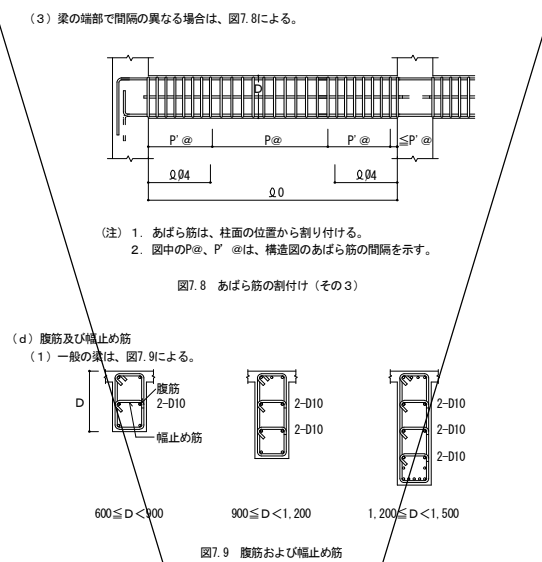
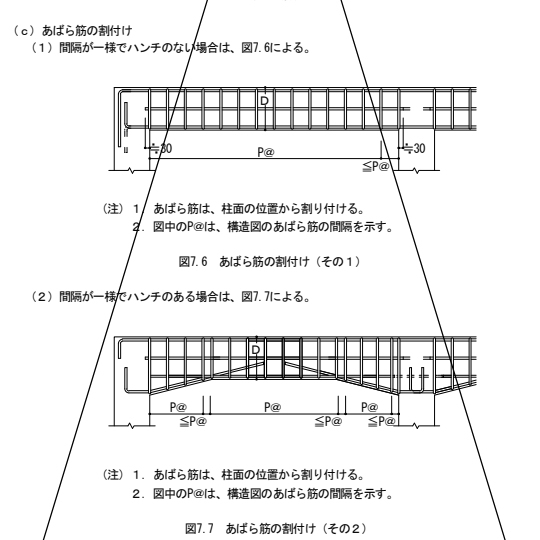
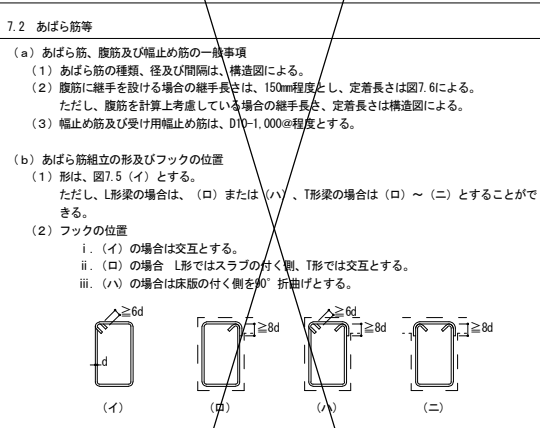
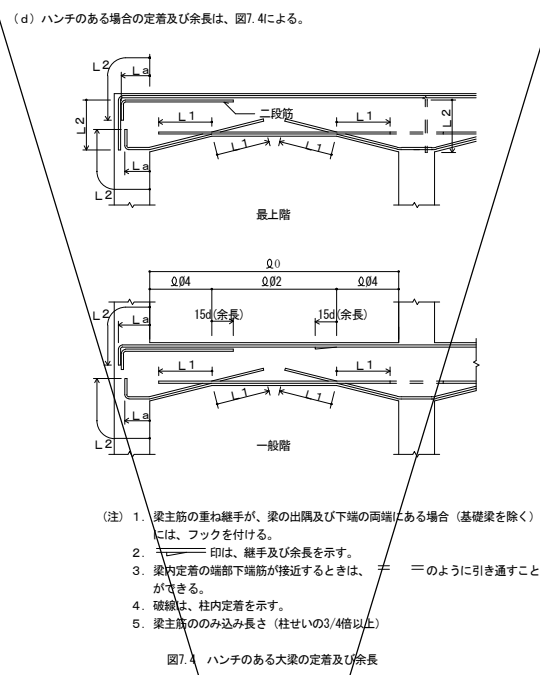


表8.1 壁の配筋

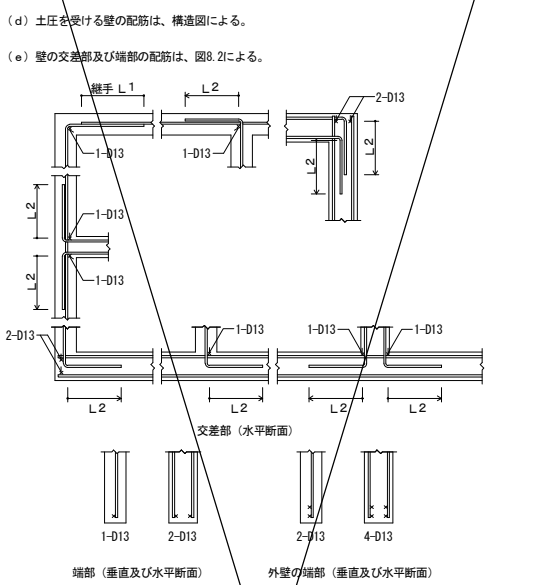
種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

表8.2 片持スラブ階段を受ける壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別 (表10.1)
KW1	縦筋	D13-200@ダブル	KA1 KA3
	横筋	D10-200@ダブル	
KW2	縦筋	D13-150@ダブル	KA2 KA4
	横筋	D10-200@ダブル	

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。



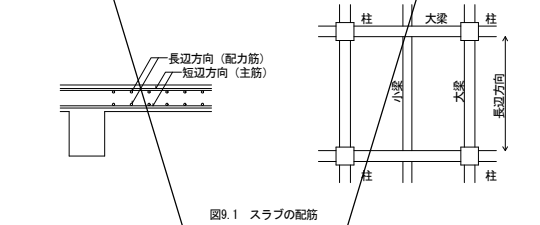
9.1 スラブ

- スラブ及び土間コンクリートの上がり下がり、FLを基準とした寸法値とする。
- 土間スラブ下の砂利地床厚及び捨てコンクリート地床厚は構造図による。
- 土間コンクリート補強筋 (D') の配筋及びコンクリート厚さは構造図による。
- スラブの配筋 (S形配筋) は表9.1及び図9.11により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

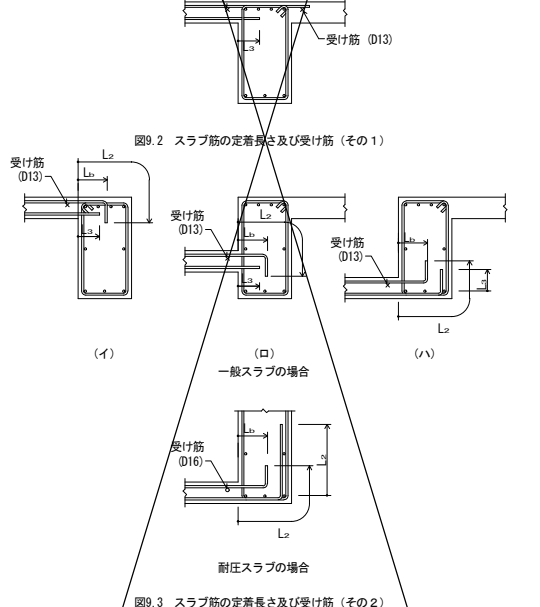
表9.1 S形配筋

配筋種別	短辺方向 (主筋)		長辺方向 (配力筋)	
	全域	配力筋	全域	配力筋
S1	D13-100@	D13-100@	S8	D10, D13-150@
S2	同上	D13-150@	S9	同上
S3	同上	D10, D13-150@	S10	D10, D13-200@
S4	D13-150@	D13-150@	S11	同上
S5	同上	D10, D13-150@	S12	同上
S6	同上	D10-150@	S13	D10-200@
S7	D10, D13-150@	D10, D13-150@	S14	同上

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



- 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
- 鉄筋の重ね継手長さは、L1とする。
- 定着長さ及び受け筋は、図9.3による。ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。



9.2 片持スラブ

片持スラブは、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は、構造図による。ただし、構造図になければ、片持ちスラブは現場打ちコンクリート部材とする。片持スラブの配筋は、次による。

- 片持スラブの配筋 (CS形配筋) は、表9.2並びに図9.4及び図9.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
CS1	上 D13-100@	CS5	上 D10-200@
	下 D13-200@		下 D10-400@
CS2	上 D13-150@	CS6	上 D10, D13-200@
	下 D13-300@		下 —
CS3	上 D10, D13-150@	CS7	上 D10-200@
	下 D10, D13-300@		下 —
CS4	上 D10, D13-200@		
	下 D10-200@		

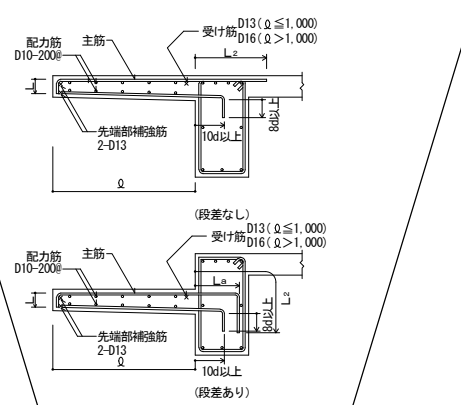


図9.4 片持スラブの配筋 (CS1からCS5)

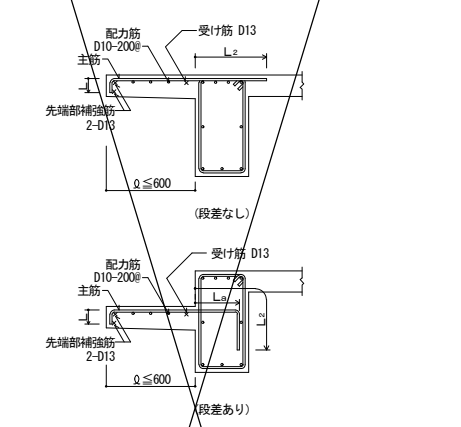


図9.5 片持スラブの配筋 (CS6及びCS7)

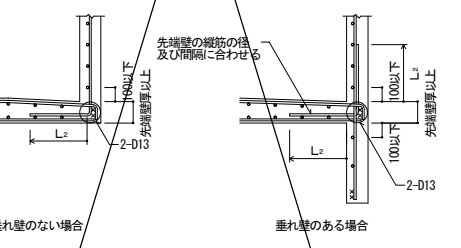


図9.6 先端に壁が付く場合の配筋

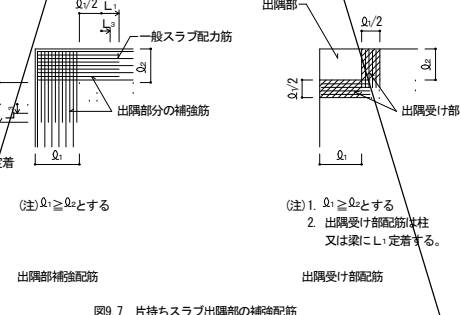


図9.7 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

9.3 スラブ等の補強

(a) スラブ開口部の補強
スラブ開口部の補強方法は、構造図による。構造図になければ、(i) (ii)による。
(i) スラブ開口の最大径が700mm以下の場合、図9.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (φ=2L_e) シングルを上下筋の内側に配筋する。

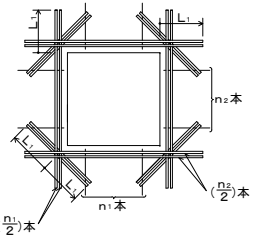


図9.8 スラブ開口部の補強配筋

(ii) スラブ開口の最大径が隅方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

(b) 屋根スラブの補強
屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図9.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

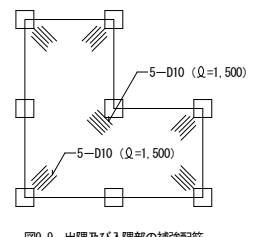


図9.9 出隅及び入隅部の補強配筋

(c) 土間スラブの打継ぎ補強
基礎梁とスラブを一体打ちとして、打継ぎを設ける場合の補強は図9.10による。ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。

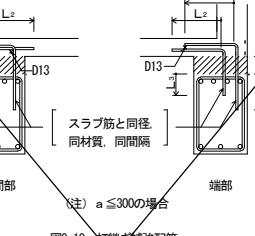


図9.10 打継ぎ補強配筋

(d) 土間コンクリートの補強
土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図9.11による。

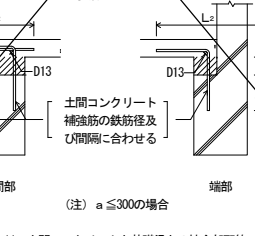


図9.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

10.1 片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の配筋は、表10.1及び図10.11により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

配筋種別	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	KA3	KA4
配筋図		

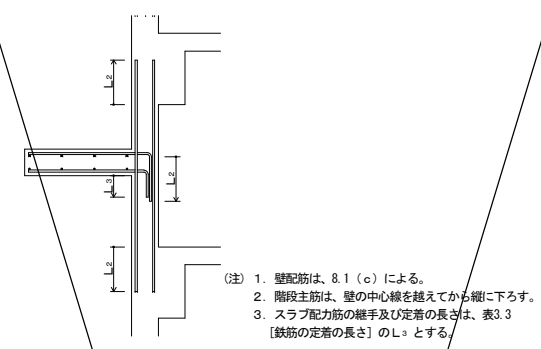


図10.1 片持スラブ形階段配筋の定着

(注) 1. 壁筋は、8.1 (c) による。
2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
3. スラブ配筋の継手及び定着の長さ、表3.3「鉄筋の定着の長さ」のL_eとする。

10.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段は、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。プレキャストコンクリート部材とする場合の継手方法は構造図による。

配筋種別	上端筋、下端筋とも (全端)
KB1	D13-200φ
KB2	D13-150φ
KB3	D13-100φ
KB4	D13, D16-150φ
KB5	D16-150φ
KB6	D16-125φ
KB7	D16-100φ

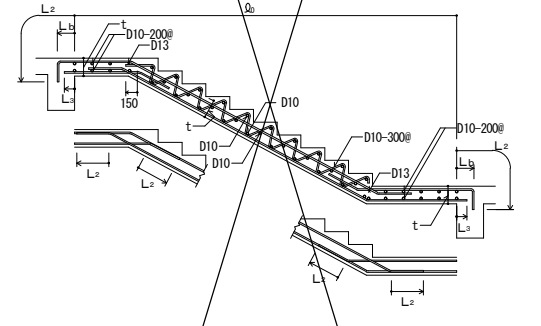


図10.2 二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)

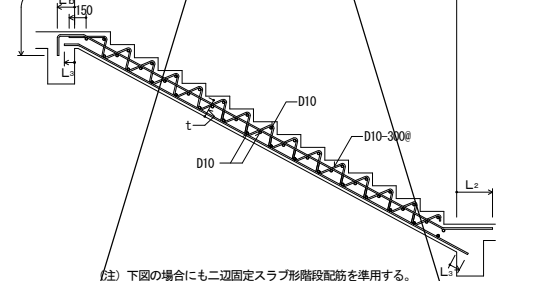


図10.3 二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)

(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

11.1 梁貫通孔

(a) 梁貫通孔は、次に由る。
(1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.11による。
(2) 孔の径は、梁せい1/3以下とする。
(3) 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部は梁下よりD/3 (Dは梁せい) の範囲には孔を設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりD/3の範囲に孔を設けてはならない。
(4) 孔は、柱面から原則として、1.5D以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
(5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
(6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
(7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。
(8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることで開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
(9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
(10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
(11) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

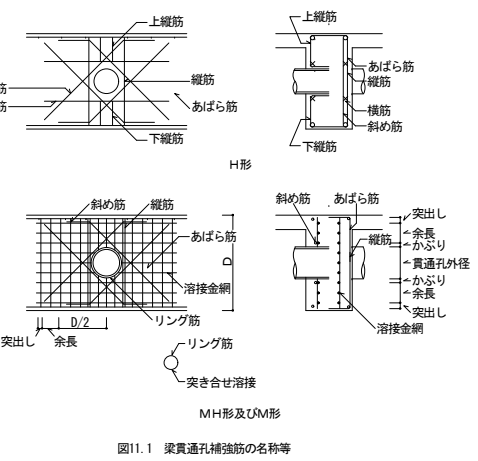


図11.1 梁貫通孔補強筋の名称等

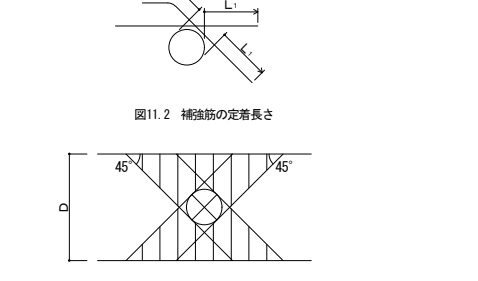


図11.2 補強筋の定着長さ

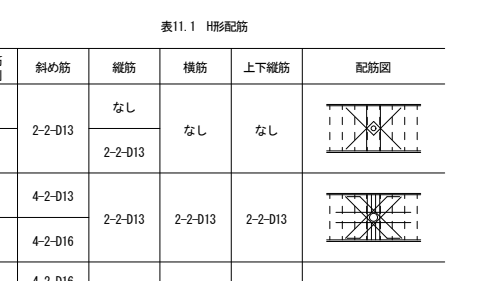


図11.3 他の開孔を設けない範囲

(b) 梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.3により、配筋種別は構造図による。

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	なし	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16	なし	なし	なし	
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22	なし	なし	なし	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2 コンクリートブロック縦壁との取合い

(a) 控壁は、次に由る。
(1) 控壁の配置は、構造図による。
(2) 配筋は、図11.4による。

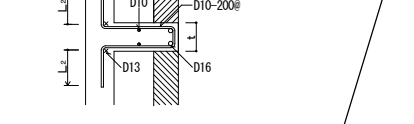


図11.4 控壁の配筋 (水平、垂直とも)

(b) 横壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

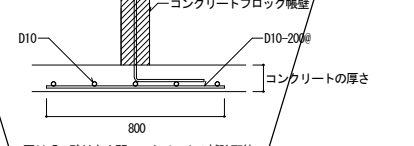


図11.5 壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.3 パラペット

パラペットの配筋は図11.6による。

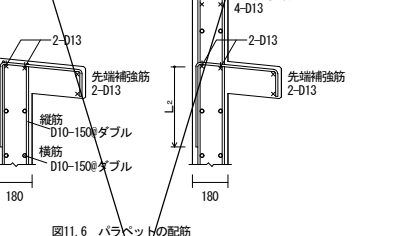
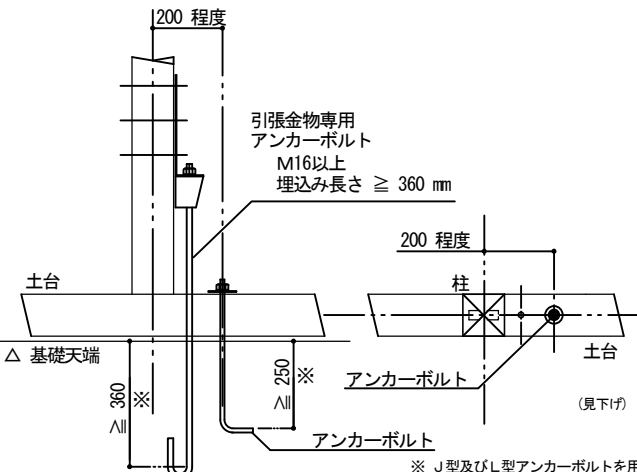
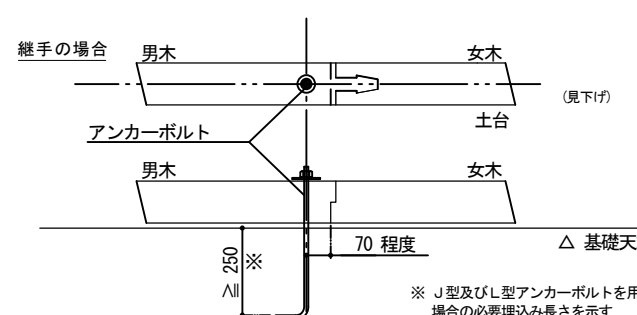
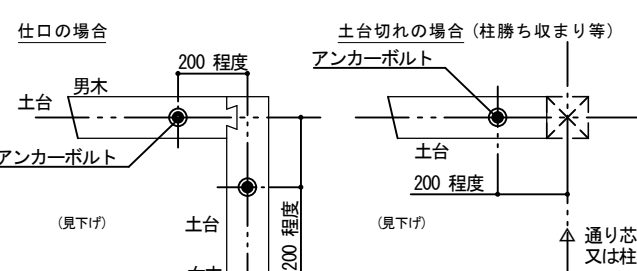
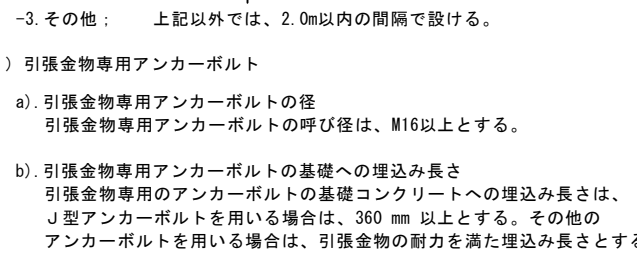


図11.6 パラペットの配筋


11.4 メッシュ型枠

(1) 使用箇所
使用部位は、基礎・地中梁及び関連する柱部分とする (見えがかりで、仕上げのない部分及びピット部分は除く)
(2) 材料及び構造
・メッシュ材質 鋼板: JIS G3302、板厚0.5mm以上、めっき80kg/m²以上
・メッシュ材質 JIS G3305、直径2.5mm以上、厚さ1.2mm以上
・継手材はボルト式又は番線式とし、付属材料は監督職員の承諾を受ける
(3) 組立て
・組立て用メッシュの立て込み間隔は300mm以下とする
・組立ては製造所の施工要領書に従う
(4) 型枠の取り外し
メッシュの存置期間は標準仕様書 6.8.4により、型枠用メッシュは取り外さない
(5) 鉄筋の最小かぶり厚さ
表4.1による
ただし、地中梁・柱は設計寸法に10mmを加える

木造軸組接合部標準図(1)

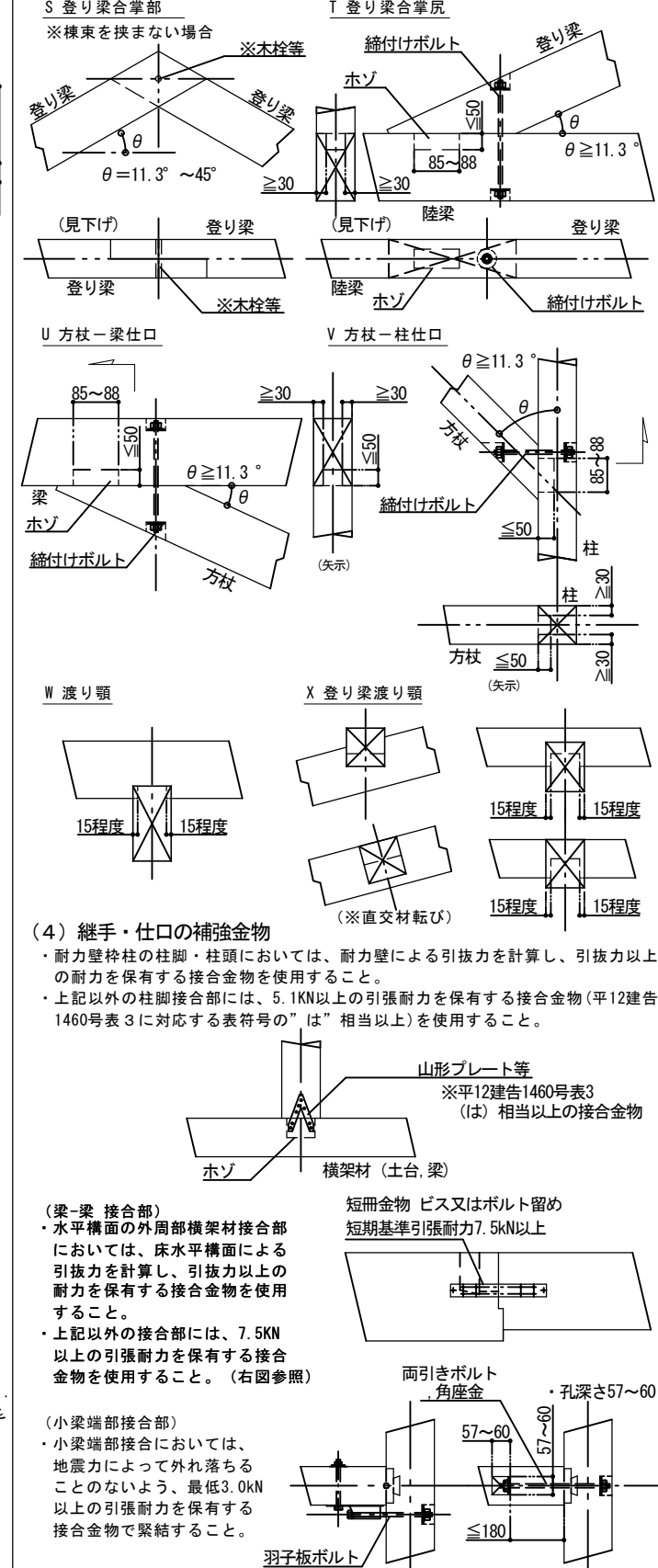
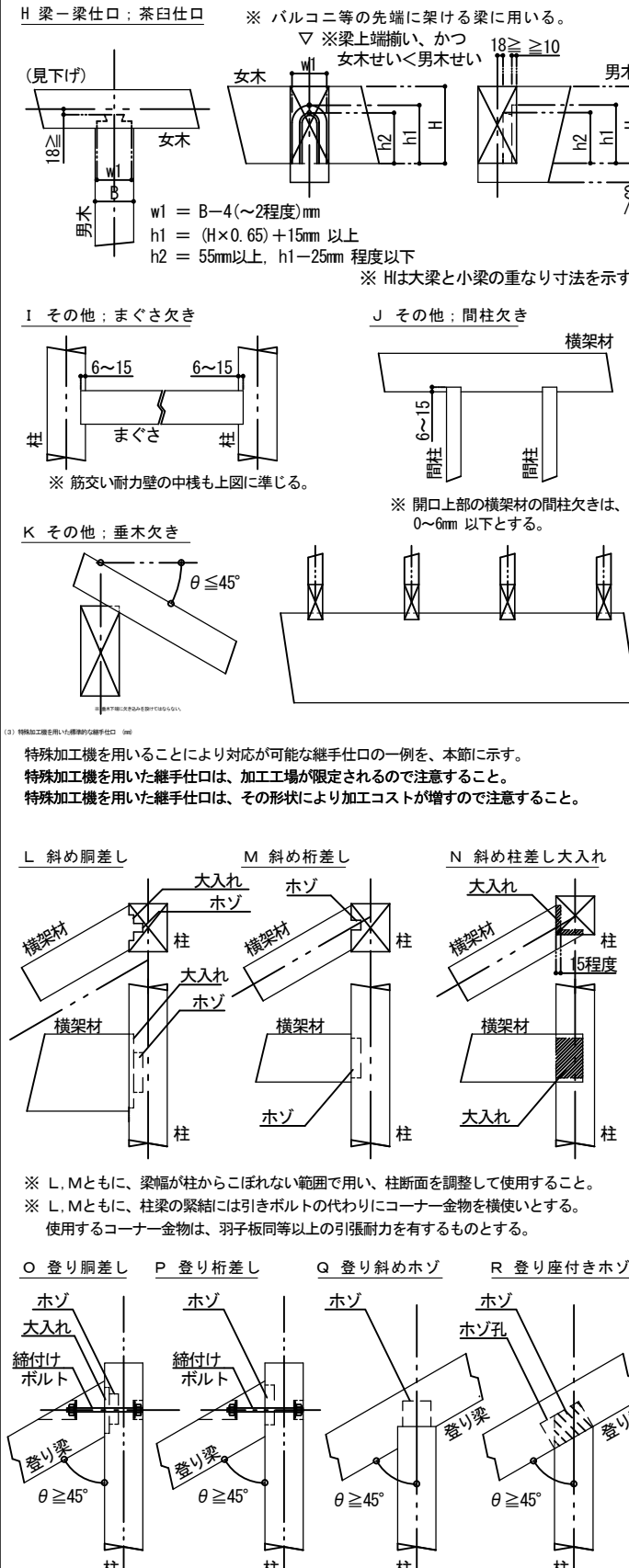
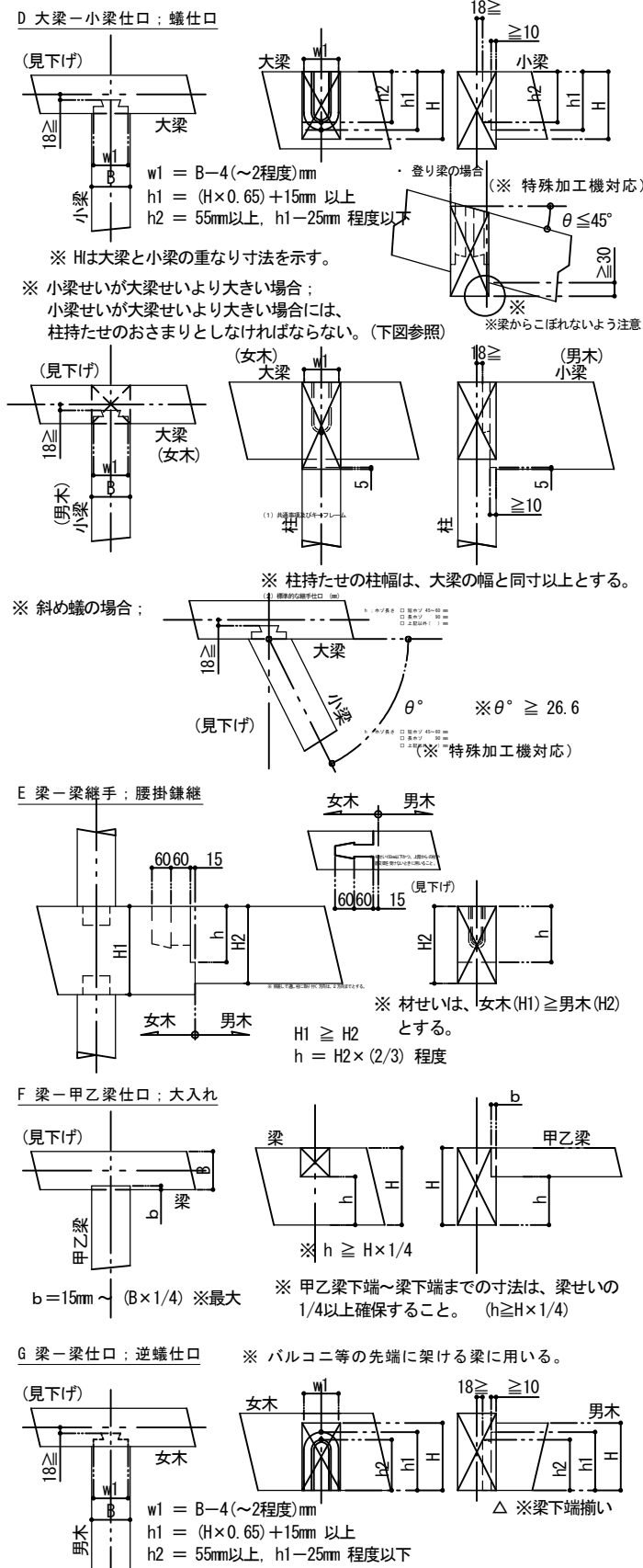
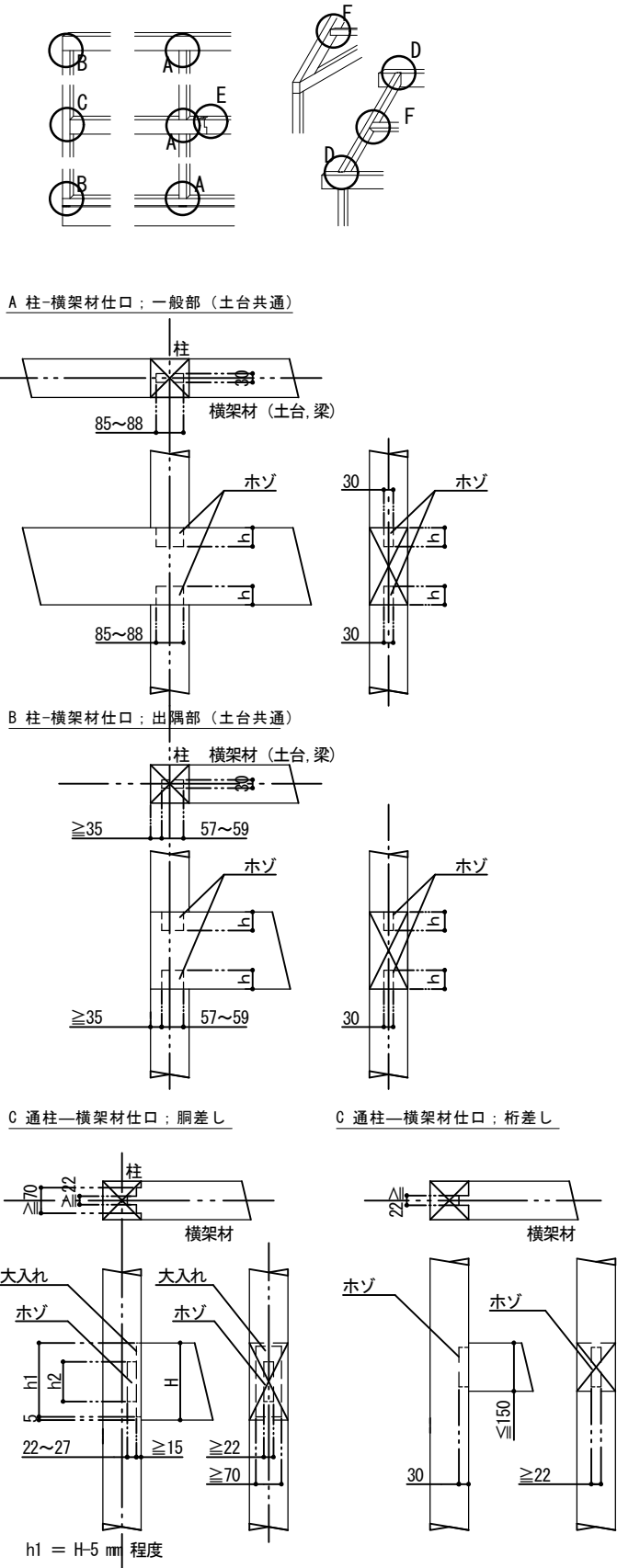
1. 一般事項	2. 材料	3. アンカーボルト	4. 接合一般
<p>(1) 適用範囲 ※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。 木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節(第41条～第47条および第49条)に規定する木造軸組工法に適用する。</p> <p>(2) 設計図書 設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書(現場説明書及び質疑回答書を含む)をいう。</p> <p>(3) 準拠する図書 設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。(※全て最新版による。) 「木造住宅工事仕様書」(住宅金融支援機構監修) 「公共建築木造工事標準仕様書 令和4年版」(国土交通大臣官房官庁営繕部監修) 「木造計画・設計基準 平成29年版」(国土交通大臣官房官庁営繕部監修) 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」(日本住宅・木材技術センター) 「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」(2015年改訂版)</p> <p>上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。</p> <p>(4) 設計図書の優先順位 設計図書の優先順位は下記による。 1. 指示書(現場説明書及び質疑回答書) 2. 設計図 3. 特記仕様書 4. 本標準図</p> <p>(5) 疑義 疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。</p> <p>(6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出 工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>(7) 施工図及びプレカット図の提出 工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。</p> <p>(8) 製作工場の選定、承諾 設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける</p> <p>(9) 各種試験・検査報告書の提出 施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。</p> <p>(10) 接合工法 本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。 ・継手仕口による在来工法 ・梁受け金物、及びホソパイプ等による金物工法</p> <p>なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。 また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。 本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。</p> <p>(11) 加工部材に関する留意事項 本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場加工可能な範囲は以下による。 ・梁:部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と同等～450mm、及び材長6m以下 ・柱:90角～150角の正方形断面、長さ6m以下</p> <p>これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。</p>	<p>(1) 木材及び木質材料 主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。</p> <p>(2) 接合具 a) くぎ 主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ(N釘)または太め鉄丸くぎ(CN釘)または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ(ZN釘)またはステンレス鋼釘(S釘)またはせっこうボード用くぎ(GN釘)を用いる。</p> <p>b) 木質構造用ビス 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス(コーススレッド等)を用いてはならない。使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>c) ボルト・ナット・座金 1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。 ・ボルトはJIS B 1051、ナットはJIS B 1052に規定される機械的性質を満たす炭素鋼 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット 【Zマーク表示金物】 【Dマーク表示金物】 【Sマーク表示金物】 ・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット 2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。 3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。 ※ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。</p> <p>d) ドリフトピン・ラグスクリュー 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>e) 木栓・木ダボ 主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。樹種・径等については、特記仕様書で指定する。節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。</p> <p>(3) 接合金物 a) 規格金物 構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。 ・JIS A 5531: 木構造用金物 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物; Zマーク表示金物、又はCマーク表示金物 ・同等認定金物; Dマーク表示金物 ・性能認定金物; Sマーク表示金物</p> <p>上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。 使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。</p> <p>b) 製作金物 製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。</p> <p>(4) 接着剤 原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。 建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。</p> <p>(5) 防腐防蟻処理及び耐候処理 防腐防蟻処理及び耐候処理(塗装)は特記仕様書で指定する。 土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。 適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。</p>	<p>※共通事項 ・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。</p> <p>(1) 土台固定用アンカーボルト a) アンカーボルトの埋設位置; アンカーボルトの埋設位置は以下による。 -1. 耐力壁(筋交い、合板仕様共通)の下部; 耐力壁(筋交い、合板仕様共通)の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置(柱芯より200mm内外)とする。  -2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口; 土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。  仕口の場合  土台切れの場合(柱勝ち収まり等)  -3. その他; 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。</p> <p>(2) 引張金物専用アンカーボルト a) 引張金物専用アンカーボルトの径 引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。 b) 引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ 引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J型アンカーボルトを用いる場合は、360mm以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。</p>	<p>(1) 釘接合 ・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。 ・面材表面に対し、釘頭がめり込んではいならない。 ・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。 ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。 ・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。</p> <p>(2) 木質構造用ビス接合 ・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。 比重が0.5以上の樹種・・・呼び径の60～75% 上記以外の樹種・・・呼び径の40～70% ※先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。</p> <p>(3) ボルト接合 ・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締め付けない。 ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座振り座金等、ナットと座金为一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。 ・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。</p> <p>(4) ラグスクリュー接合 ・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。 ・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。 比重が0.5以上の樹種・・・呼び径の60～75% 上記以外の樹種・・・呼び径の40～70% ※先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。 ・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。 ・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。 ・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。 ・呼び径 M12以下: +1.0mm ・呼び径 M16以上: +1.5mm</p> <p>(5) ドリフトピン接合 ・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。 ・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。</p> <p>(6) 木栓接合 ・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。 ・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。 ・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。</p> <p>(7) グルードインロッド接合 ・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。 ・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。</p>

平成27年 9月15日発行 一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

御承認	記事	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲 (藤本) 設計 (西谷)	設計年月日 2025.03.	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 児童クラブ 木造軸組接合部標準図(1)	図面番号 S-09 縮尺 -
-----	----	---	---	------------------------	--------------------	----------------	--	-------------------

木造軸組接合部標準図(2)

5. 軸組標準接合部



(4) 継手・仕口の補強金物

- 耐力壁・柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜き力を計算し、引抜き以上の耐力を有する接合金物を使用すること。
- 上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を有する接合金物(平12建告1460号表3に対応する表符号の"は"相当以上)を使用すること。

山形プレート等
 ※平12建告1460号表3 (は)相当以上の接合金物

短冊金物 ピス又はボルト留め
 短期基準引張耐力7.5kN以上

両引きボルト
 角座金
 孔深さ57~60

羽子板ボルト
 化粧おさまりの場合

平成30年4月5日改訂 一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録 23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲 藤本 誠二 設計 西谷 勇哉	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 児童クラブ 木造軸組接合部標準図(2)	図面番号 S-10 縮尺 -
-----	----	--	---	------------------------	------------------------	--	-------------------------

木造軸組接合部標準図(3)

6. 面材耐力壁

(注) (単位)mm

6.1 共通事項

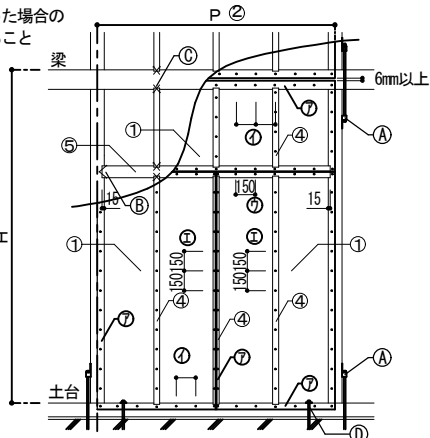
各部仕口形状は、(3)高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、面材厚の10%未満かつ1mmを限度とする。左記を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。
耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐力力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。
柱の有効細長比(断面の最小二次率半径に対する座屈長さの比)は、150以下とすること。

6.2 面材耐力壁の仕様

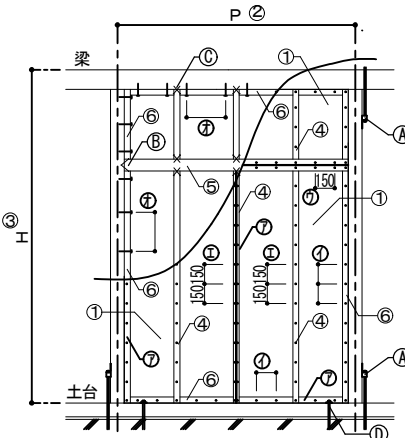
(1) 昭56建告1100号に準じた耐力壁 面材種類: 構造用パーティクルボード、構造用MDF、構造用合板、構造用パネル(OSB)

a. 面材張り大壁仕様耐力壁

※ 入隅部等で受け材を用いて面材を張った場合の壁倍率は、真壁仕様の数値を適用すること



b. 受け材付き真壁仕様耐力壁



a-1. 高倍率仕様大壁耐力壁

壁倍率: 4.3または3.7

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・・・4.3倍 ・・・3.7倍
② 柱間隔	600mm ≤ P ≤ 2000mm	
③ 高さ	H ≤ 6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下	
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下	
⑤ 中棧	幅90mm以上	
2) 各部仕口形状及び性能		
④ 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する	
⑤ 中棧端部	まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち	
⑥ 間柱端部	間柱欠きに6→15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち	
⑦ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける	
3) 面材の釘打ち方法		※ 構造用合板には、CN釘を用いること。
⑦ 面材の釘打ち	面材の4周を釘打ちする。 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。 柱及びはりに対するかり寸法 22.5mm以上 面材に対するへり空き 10mm以上 柱はりのへり空き 12.5mm以上	
④ 横架材・柱	構造用合板: CN50@75mm以下、左記以外の面材: N50@75mm以下	
⑤ 中棧	構造用合板: CN50@150mm以下、左記以外の面材: N50@150mm以下	
⑥ 間柱	構造用合板: CN50@150mm以下、左記以外の面材: N50@150mm以下	
⑦ 受け材	受け材と柱梁 釘N90@120mm以下 (両面張りの場合は、@60mm以下)	
※ 床板勝ち仕様の場合		※ 枠材用ホールダウン金物は、45mm用を用いること(30mm用は不可)

b-1. 高倍率仕様真壁耐力壁

壁倍率: 4.0または3.3

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・・・4.0倍 ・・・3.3倍
② 柱間隔	600mm ≤ P ≤ 2000mm	
③ 高さ	H ≤ 6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下	
④ 間柱	幅45以上、間隔500mm以下	
⑤ 中棧	幅90mm以上	
⑥ 受け材	幅45mm以上	
2) 各部仕口形状及び性能		
④ 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する	
⑤ 中棧端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち	
⑥ 間柱端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち	
⑦ アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける	
3) 面材の釘打ち方法		※ 構造用合板には、CN釘を用いること。
⑦ 面材の釘打ち	面材の4周を釘打ちする。 金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。 受け材に対するかり寸法 22.5mm以上 面材に対するへり空き 10mm以上 受け材のへり空き 12.5mm以上	
④ 外周受け材	構造用合板: CN50@75mm以下、左記以外の面材: N50@75mm以下	
⑤ 中棧	構造用合板: CN50@150mm以下、左記以外の面材: N50@150mm以下	
⑥ 間柱	構造用合板: CN50@150mm以下、左記以外の面材: N50@150mm以下	
⑦ 受け材	受け材と柱梁 釘N90@120mm以下 (両面張りの場合は、@60mm以下) 構造用合板、構造用パネル: 釘N90@200mm以下 (両面張りの場合は、@100mm以下)	
※ 床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はa-1.に準ずる		※ 枠材用ホールダウン金物は、45mm用を用いること(30mm用は不可)

a-2. 標準仕様大壁耐力壁

壁倍率: 2.5

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・・・2.5倍 ・・・2.5倍
② ③ ④ ⑤	a-1. (高倍率仕様) に同じ	
2) 各部仕口形状及び性能		
④ ⑤ ⑥ ⑦	a-1. (高倍率仕様) に同じ	
3) 面材の釘打ち方法		
⑦ 面材の釘打ち	a-1. (高倍率仕様) に同じ	
④ 横架材・柱	N50@150mm以下	
⑤ 中棧	N50@150mm以下	
⑥ 間柱	N50@150mm以下	
⑦ 受け材	受け材 45×60以上	
※ 床板勝ち仕様の場合	受け材と柱梁 釘N90@200mm以下 (両面張りの場合は、@100mm以下)	

b-2. 標準仕様真壁耐力壁

壁倍率: 2.5

① 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上	・・・2.5倍 ・・・2.5倍
② ③ ④ ⑤ ⑥	b-1. (高倍率仕様) に同じ	
2) 各部仕口形状及び性能		
④ ⑤ ⑥ ⑦	b-1. (高倍率仕様) に同じ	
3) 面材の釘打ち方法		
⑦ 面材の釘打ち	b-1. (高倍率仕様) に同じ	
④ 外周受け材	N50@150mm以下	
⑤ 中棧	N50@150mm以下	
⑥ 間柱	N50@150mm以下	
⑦ 受け材	受け材 45×60以上	
※ 床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はa-2.に準ずる		

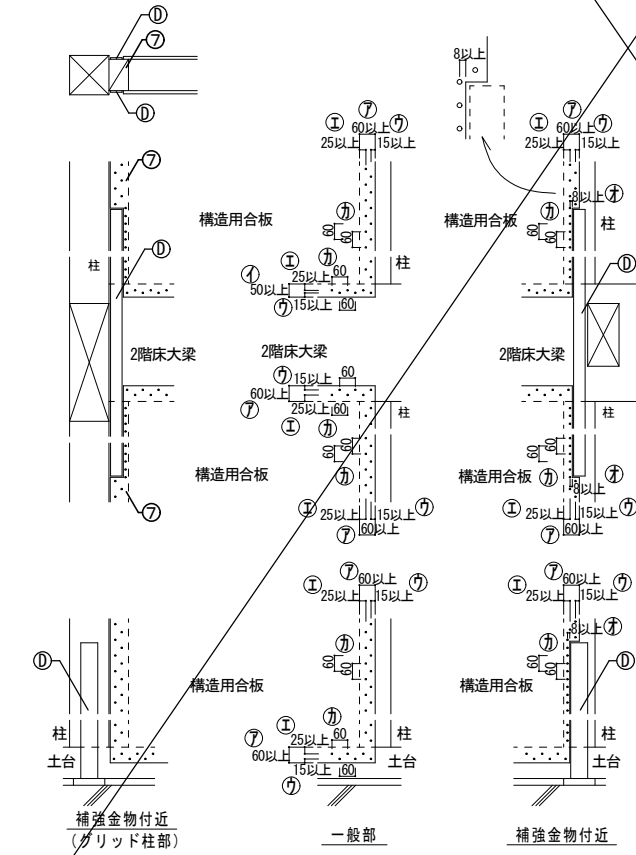
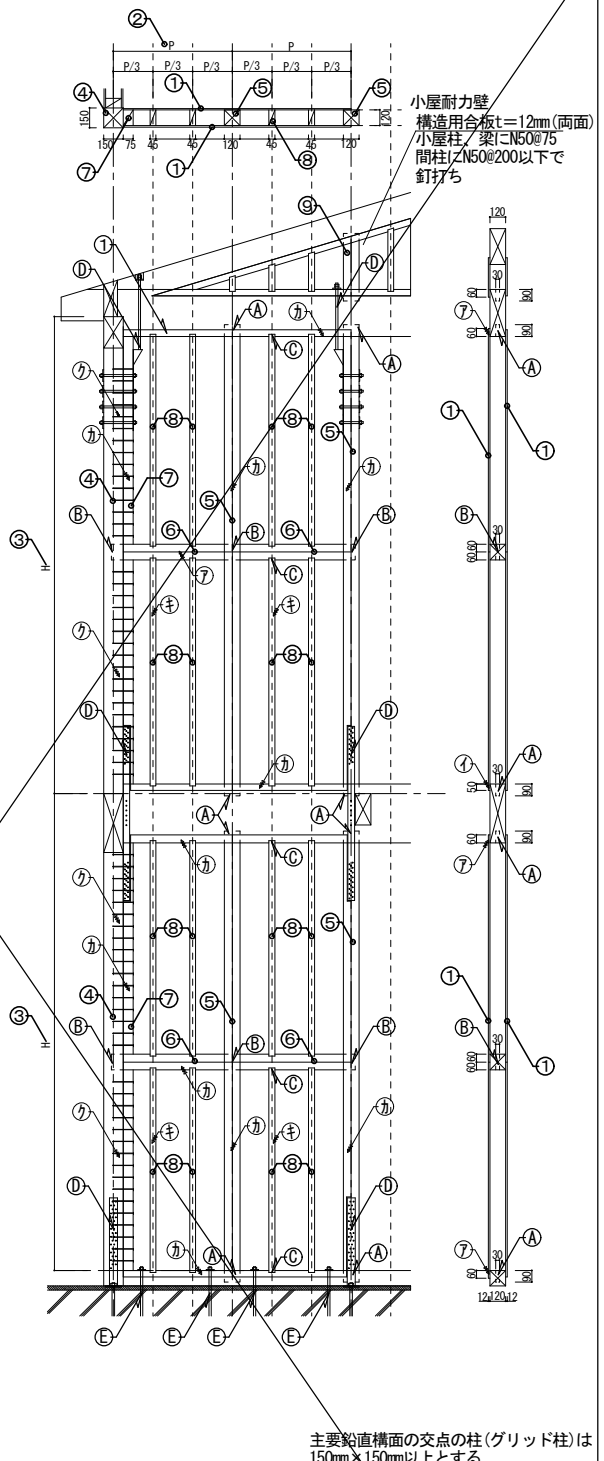
(2) 高耐力仕様構造用合板張り耐力壁 (JIS A 3301標準仕様): 短期許容せん断耐力 $\Delta Q_a = 29.6 \text{ kN/m}$

本耐力壁を採用する場合は、設計図書に試験成績書を添付すること。

a. 条件及び仕様

1) 各部材料

- ① 面材: 構造用合板 t=12mm 両面張り
 - ② 間隔: $900 \text{ mm} \leq P \leq 1000 \text{ mm}$
 - ③ 高さ: $1800 \text{ mm} \leq H \leq 3650 \text{ mm}$
 - ④ 高耐力壁を用いる場合のグリッド柱: 150mm × 150mm以上 (グリッド柱: X方向とY方向の主要鉛直構面の交点の柱)
 - ⑤ 高耐力壁の端部および合板継ぎ目部の柱: 120mm × 120mm以上
 - ⑥ 構造用合板継ぎ目部横つなぎ材: 120mm × 120mm以上
 - ⑦ グリッド柱に取付く受け材: 75mm × 120mm以上
 - ⑧ 間柱: 見付け45mm以上、見込み120mm以上、間隔P/3以下
 - ⑨ 小屋柱: 120mm × 120mm以上
- 2) 各部仕口形状及び性能
- ④ 柱頭柱脚部: 厚さ30mm × 深さ90mm以上
 - ⑤ 中棧端部ホゾ: 片側から柱に取り付く場合: 厚さ30mm × 深さ90mmホゾ差し
両側から柱に取り付く場合: 厚さ30mm × 深さ60mmホゾ差し
 - ⑥ 間柱両端: 横架材への溝加工及び15mm程度大入れ
 - ⑦ 各階の柱頭柱脚部: 水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
 - ⑧ 耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M16アンカーボルト耐力壁1P当り2本設ける
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- 構造用合板はたて張り、4周を釘打ちする
- ①を除き、柱及びはりに対するかり寸法: 60mm以上
 - 2階耐力壁合板を2階床大梁へ留め付ける場合かり代: 50mm以上
 - ④を除き、合板に対するへり空き: 15mm以上
 - ①柱はりのへり空き: 25mm以上
 - ⑦金物が干渉しへり空きが確保できない合板部分のへり空き: 8mm以上
 - ⑧横架材・柱・受け材: N50@60mmチドリ打ち
 - ⑨間柱: N50@90mm打ち
 - ⑩⑦の受け材とグリッド柱: 木質構造用ビスφ6、L130~150@100(2列)で留め付ける。



6.3 その他の耐力壁

・木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)の詳細計算法による面材張り耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様を準拠することとする。
・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守ること。

令和元年9月1日改訂 一般社団法人 中大規模木造プレカッタ技術協会

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26第378号 1級建築士事務所登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲 藤本 誠二 設計 西谷 勇哉	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 児童クラブ 木造軸組接合部標準図(3)	図面番号 S-11 縮尺 -
-----	----	--	--	------------------------	------------------------	--	-------------------------

木造軸組接合部標準図(3B)

6B. 昭56建告第1100号第一号に基づく面材張り大壁耐力壁納まり図

(注) (単位)mm

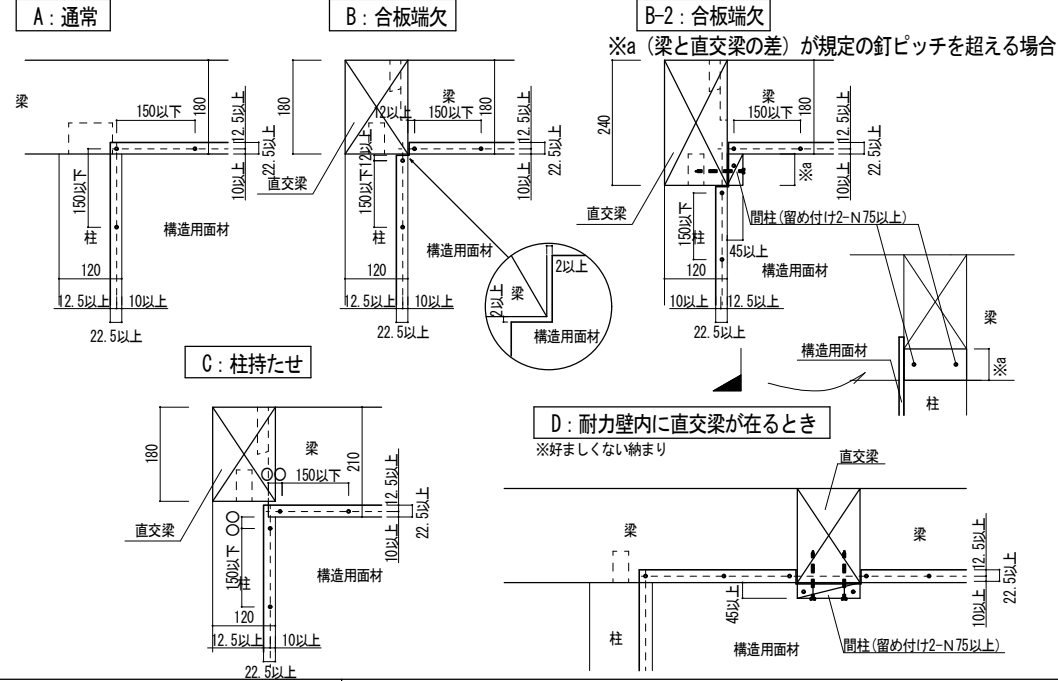
<共通事項>

- ・面材は、9mm以上を標準とする。
- ・梁仕口部及び柱頭柱脚部の接合金物は、木造軸組接合部標準図(2)を参照すること。
- ・間柱・受材・筋違等構造に関わる羽柄材の品質については、未乾燥材および皮付材は不可とし、四面ビン角、ねじれ、反りの無い物とすることを原則とする。
- ・釘ピッチの基準は使用釘本数を満たしている必要がある。記載のピッチは「辺の長さ÷ピッチ+1本」と読むこととする。

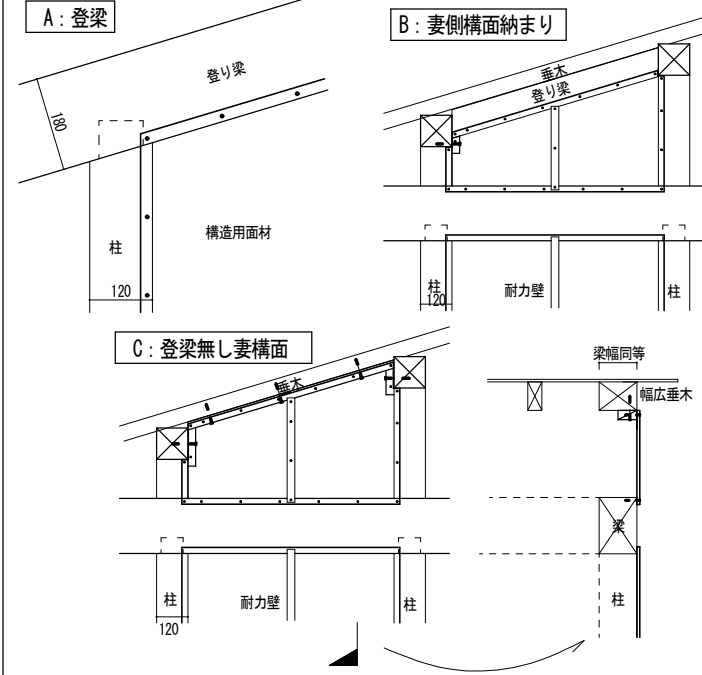
・開口直下の梁への間柱欠きは、原則行わない事。

- ・間柱(受材)を梁等へ留め付ける場合、釘及び木質構造用ビスの長さは、受け材厚さの2.5倍以上を標準とする。
- ・受け材厚30mmの場合は、N75、CN75以上
- ・受け材厚45mm(耐力壁：水平力のみを負担する場合は、N90、CN90(真壁の受け材留め付けと合わせる)以上)
- ・受け材厚45mm(水平構面：鉛直力と水平力を負担する場合は、N115、木質構造用ビスL110以上)

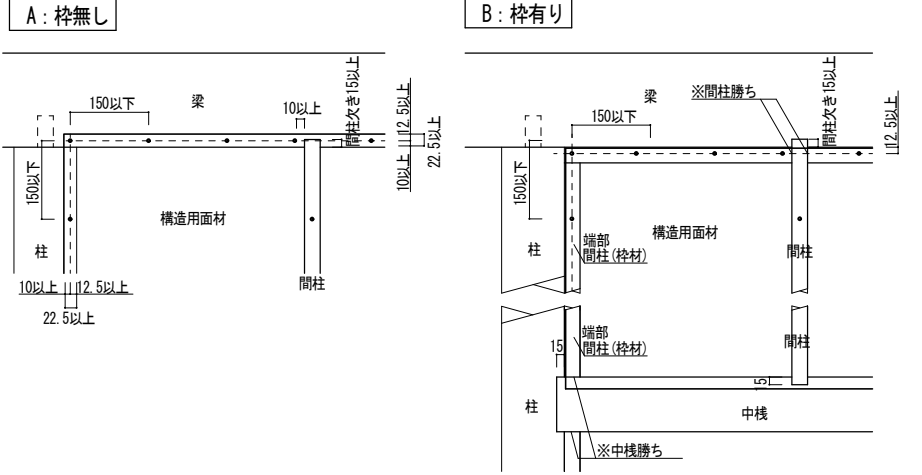
1. 直交梁との取り合い



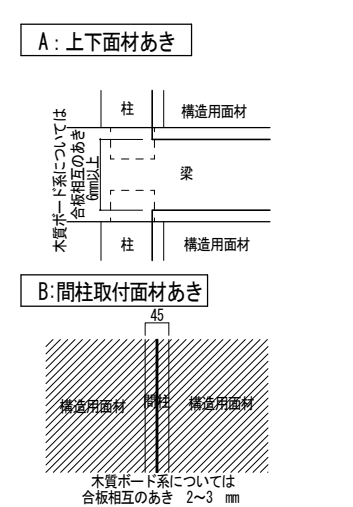
2. 勾配屋根の納まり



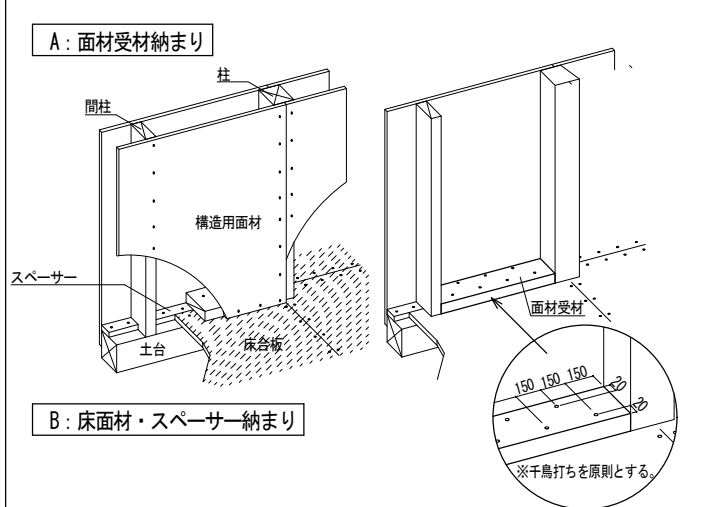
3. 受材・間柱勝ち負けルール



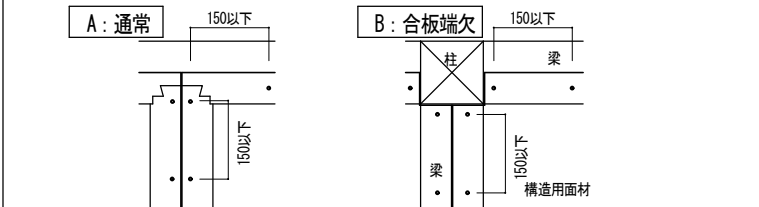
4. 面材相互あきのルール



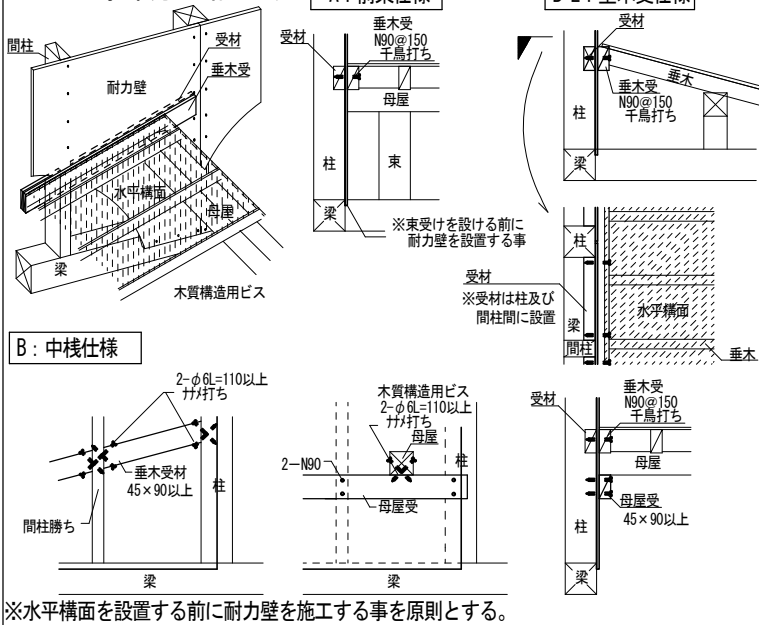
6. 床面材との取り合い



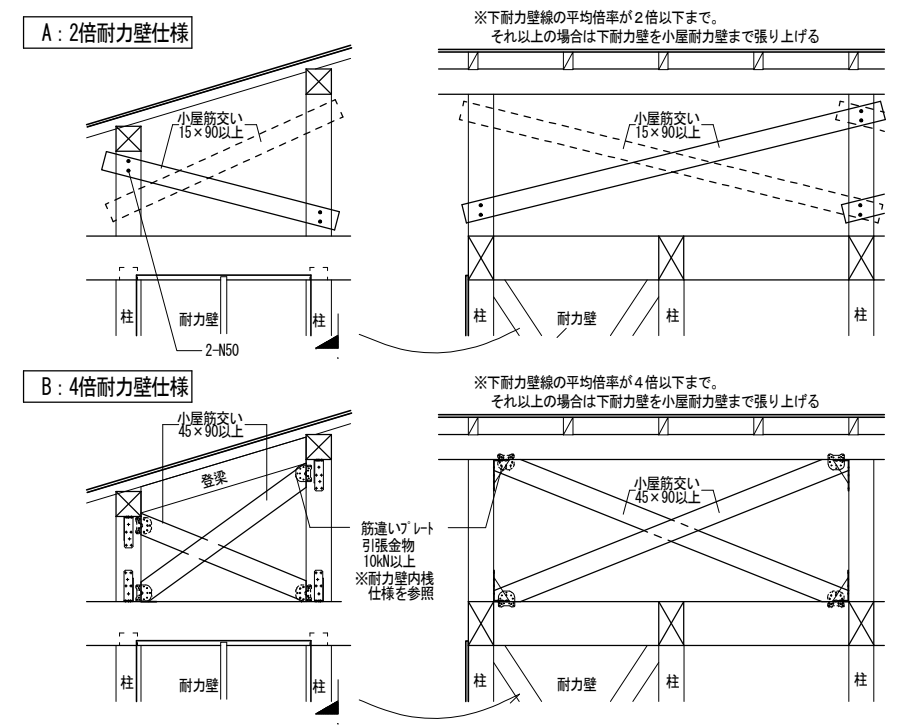
7. 水平構面



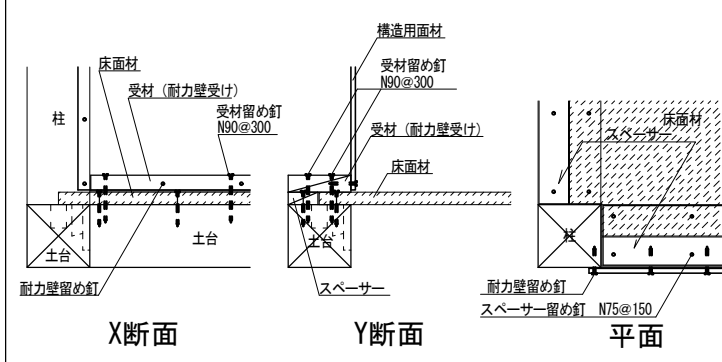
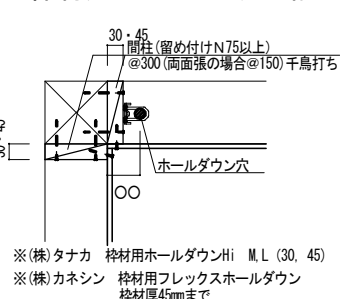
8. 下野部分の納まり



9. 小屋筋交い



5. 入隅時納めおよび 柱材用ホールダウン納め



平成30年4月5日改訂 一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲 (藤本) 設計 (西谷)	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 児童クラブ 木造軸組接合部標準図(3B)	図面番号 S-12 縮尺 -
-----	----	--	--	------------------------	--------------------	---	-------------------------

木造軸組接合部標準図(4)

7. 水平構面

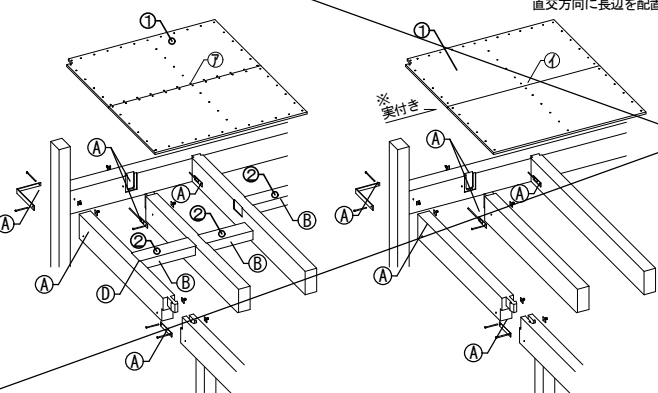
7.1 共通事項

- 各部仕口形状は、(3)高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
- 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年)の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- 指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様準拠することとする。

7.2 水平構面の仕様

(1) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

- (a) 日の字釘打ち
短期許容せん断耐力
7.84kN/m
- (b) 川の字釘打ち
短期許容せん断耐力
3.53kN/m

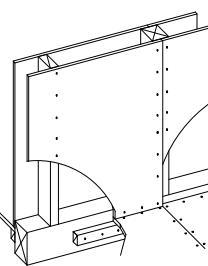


1) 各部材料および寸法

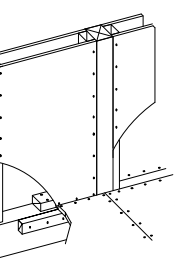
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ ~ 30mm 横架材に直貼
 - ② 甲乙梁: 幅 45mm 以上×せい 45mm 以上・梁及び甲乙梁の間隔 1000mm 以下
- #### 2) 各部仕口形状及び性能
- 各仕口部分:
水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
 - 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
 - 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
 - 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ N75 1本斜め打ち
- #### 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板はN75@150mm日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
 - ⑧ 構造用合板はN75@150mm川の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
- ※ 構造用合板は、実付きとする。

注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする
 2mm を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
 川の字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、
 挽き等に注意する事

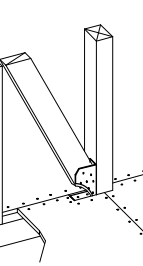
告示耐力壁-床納まり 大壁合板耐力壁-床構面 (壁勝)



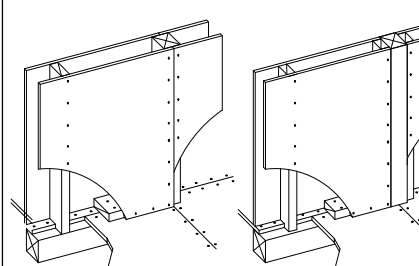
真壁合板耐力壁-床構面 (壁勝)



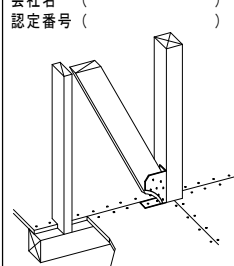
筋違耐力壁-床構面 (筋違勝)



認定仕様例示) 日合連(JPMA)仕様耐力壁-床勝納まり 大壁合板耐力壁-床勝 認定番号: FRM-0296

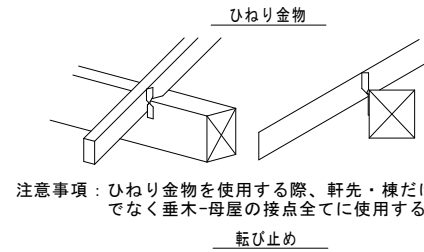
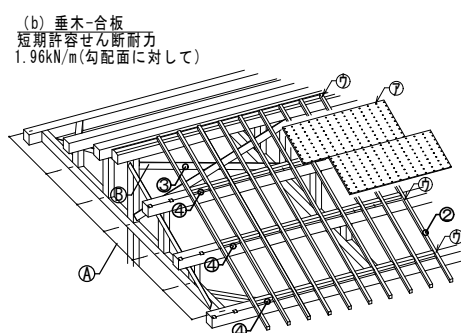
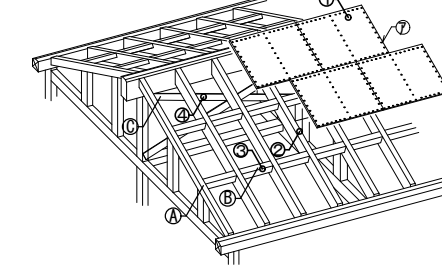


筋違金物による床勝納まり 筋違耐力壁-床構面 (床勝)

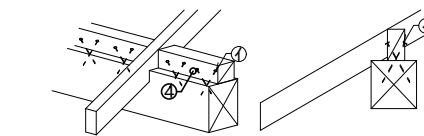


(2) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

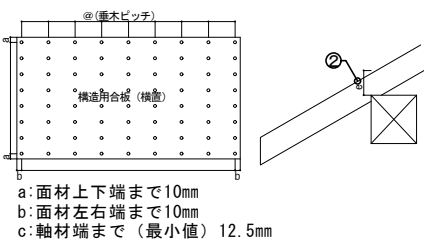
- (a) 登梁-厚合板
短期許容せん断耐力
7.84kN/m(勾配面に対して)
- (b) 垂木-合板
短期許容せん断耐力
1.96kN/m(勾配面に対して)



注意事項: ひねり金物を使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する



注意事項: 転び止めを使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する
 N75釘4本(表2本と裏2本を千鳥配置)斜め打ち



a: 面材上下端まで 10mm
 b: 面材左右端まで 10mm
 c: 軸材端まで(最小値) 12.5mm

1) 各部材料および寸法

- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ ~ 30mm 横架材に直貼
- ② 登梁: 幅 105mm 以上×せい 105mm 以上 間隔 1000mm 以下
- ③ 甲乙梁: 幅 45mm 以上×せい 45mm 以上 間隔 1000mm 以下
- ④ 小屋耐力壁: 15mm 以上× 90mm 以上
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)

2) 各部仕口形状及び性能

- 各仕口部分: 水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違)を設ける事

3) 各部への釘打及びビス止め

- ⑦ 構造用合板はN75@150mm日の字に垂木に留め付ける

注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする

1) 各部材料および寸法

- ① 面材: 構造用合板 $t=9\text{mm}$ ~ 15mm (横置)
- ② 垂木: 幅 45mm 以上×せい 45mm ~ 90mm @ 500mm 以下
- ③ 小屋耐力壁: 15mm 以上× 90mm 以上
(端部は平12建告1460号の筋違耐力壁の接合)
- ④ 転び止め: 45mm × 60mm 程度

2) 各部仕口形状及び性能

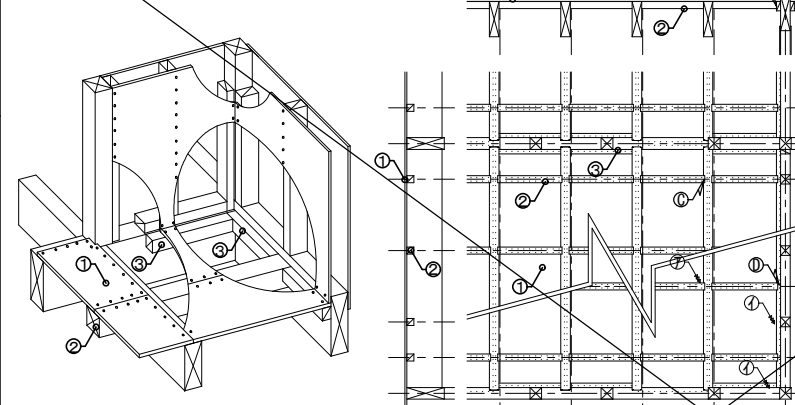
- 母屋ピッチ: 1000mm 以下
- 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違)を設ける事

3) 各部への釘打及びビス止め

- ⑦ 構造用合板はN50@150mmで川の字に垂木に留め付ける
- ⑧ 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
- ⑨ 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対してN75釘2本打ち

7.3 JISA3301仕様高耐力水平構面

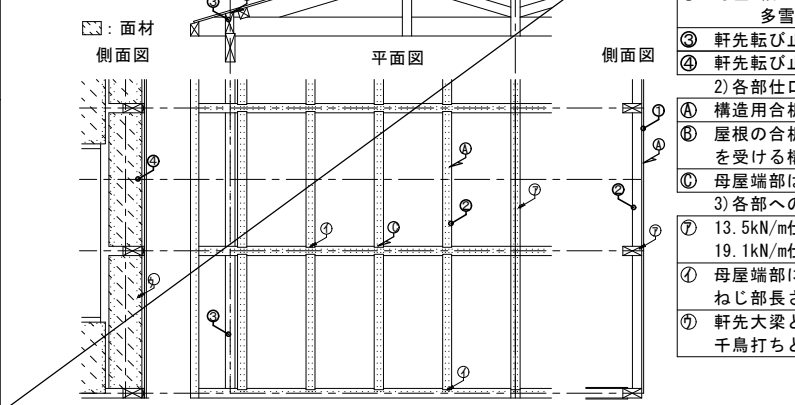
- (1) 2階床水平構面の条件及び仕様
短期許容せん断耐力
14.1kN/m



- #### 1) 各部材料
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 又は 28mm 横架材に直張り
 - ② 甲乙梁: 90mm × 90mm の正角材又は幅 75mm ×成 120mm 製材を平使い
 - ③ 大梁側面に取付ける床受け材: 幅 55mm ~ 75mm ×成 120mm の製材
- #### 2) 各部仕口形状及び性能
- 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
 - 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
 - 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
 - 甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ 15mm ×成 60mm 切り欠き甲乙梁は成 60mm 分大入れし床受け材勝ちの納まりとする
- #### 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板はN75@75mm日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
 - ⑧ 大梁側面へ取付ける床受け材は木質構造用ビス $\phi 6$, L130~150を 150mm ピッチの二列打ちとして留め付ける

(2) 屋根水平構面の条件及び仕様

- 短期許容せん断耐力
13.5kN/m(合板釘ピッチ75mm)
19.1kN/m(合板釘ピッチ50mm)

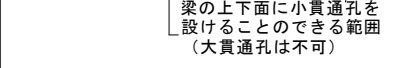
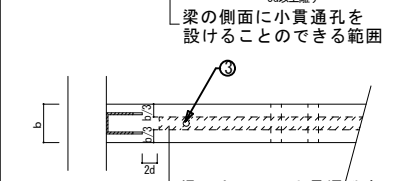
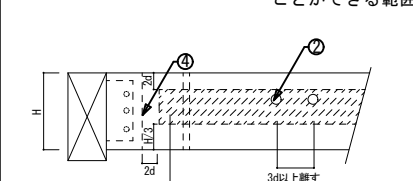
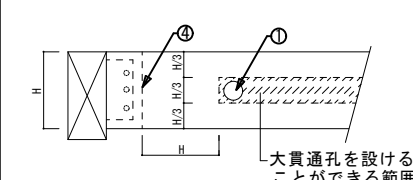


- #### 1) 各部材料
- ① 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 登梁及び母屋に直張り
 - ② 母屋: 幅 120mm ×成 120mm の製材
多雪区域(3級及び4級)の場合は幅 120mm ×成 150mm の製材
 - ③ 軒先転び止め: 幅 105mm ×成 300mm の製材を用い、天端は屋根面に合わせ切り欠く
 - ④ 軒先転び止めの外面に直貼りする構造用合板: $t=12\text{mm}$
- #### 2) 各部仕口形状及び性能
- 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
 - 屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
 - 母屋端部は登梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
- #### 3) 各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 13.5kN/m仕様: 構造用合板はN75@75mm4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
 - ⑧ 19.1kN/m仕様: 構造用合板はN75@50mm4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
 - ⑨ 母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビス $\phi 5$, L150(頭部径 $\phi 12.5$ 以上ねじ部長さ 50 以上)1本を斜め打ちとする
 - ⑩ 軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は、N50くぎを 50mm ピッチの千鳥打ちとして留め付ける

8. 貫通孔

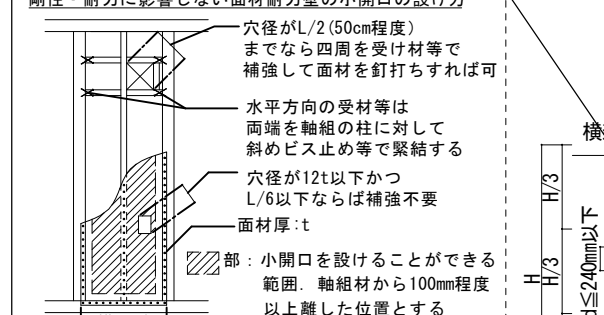
8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

- ① 大貫通孔: $d \leq H/4$ かつ 150mm
- ② 小貫通孔: $d \leq 30\text{mm}$ (隣り合う孔は $3d$ 以上離す)
- ③ 縦小貫通孔: $d \leq b/6$ かつ 30mm
- ④ 接合金物用切り欠きライン



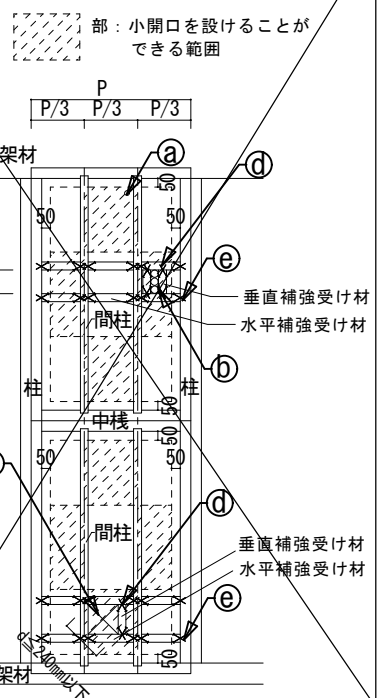
8.2 耐力壁貫通孔

- (1) 小開口耐力壁: 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)
※壁倍率7倍までの孔開けルール



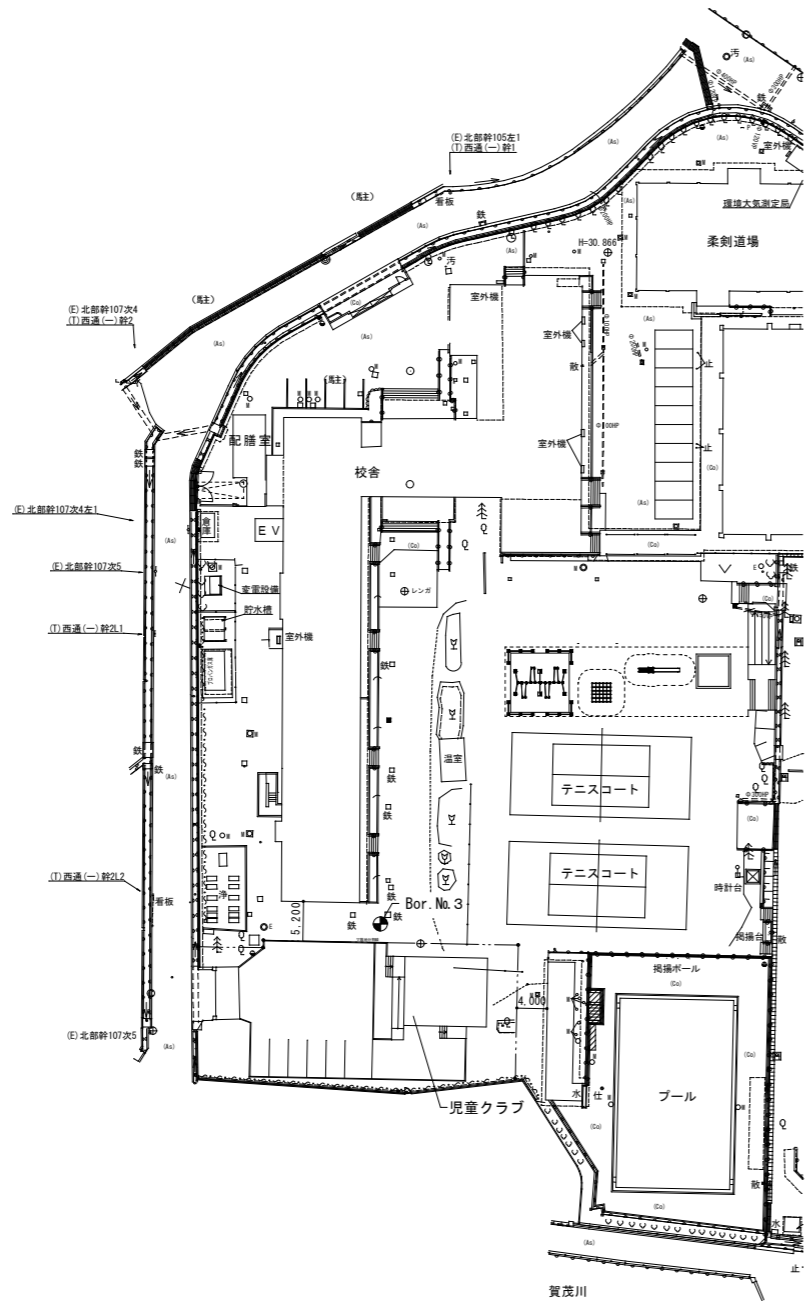
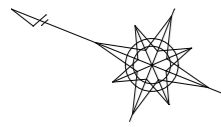
- (2) 高耐力仕様合板貼耐力壁(JISA3301標準仕様)
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール(JISA3301仕様)

- #### a) 貫通孔基準
- 小貫通孔($d \leq 30\text{mm}$)
1区画につき1か所までなら補強不要
 - 小貫通孔×3(外接円の径 $d \leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
 - 大貫通孔($d \leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
- #### b) 釘打ち及び断面
- ⑩ 合板から補強受材へN50@90mmで釘打ち
補強受材は間柱と同寸以上の断面
 - ⑪ 補強受材の留め付けは斜めビス2本止め



令和2年2月17日改訂 一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

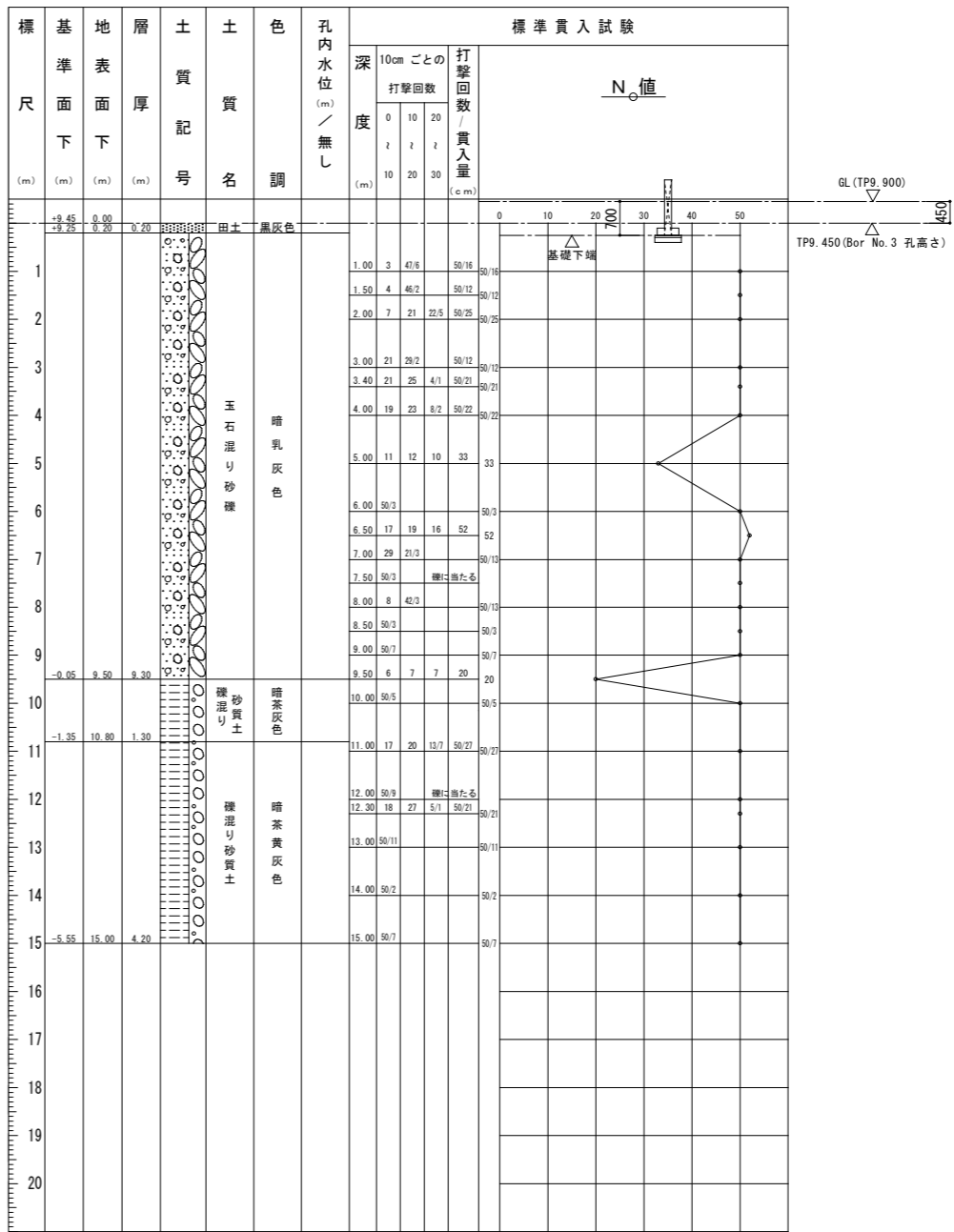
御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲 藤本 誠二 設計 西谷 勇哉	工事名称 (仮称) 賀茂学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 児童クラブ 木造軸組接合部標準図(4)	図面番号 S-13 縮尺 -
-----	----	--	--	------------------------	------------------------	---	-------------------------



調査位置図

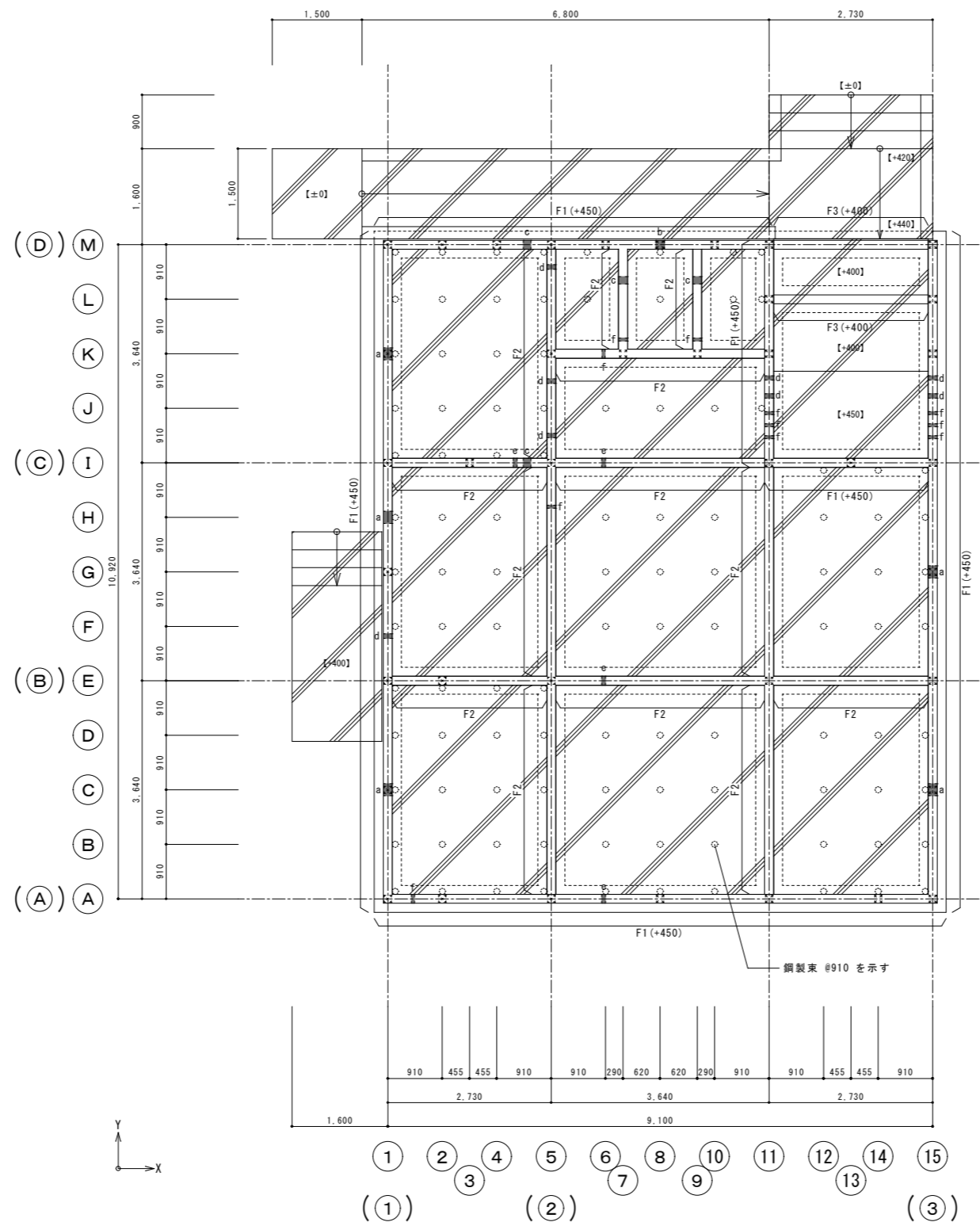
No. 3 調査名：賀茂川中学校 校舎 建設用地 地質調査

調査位置	広島県 竹原市	地盤高	+9.45m
調査期間	昭和53年5月1日～5月6日	孔内水位	GL-2.44m



GL (TP9_900)
TP9_450 (Bor. No. 3 孔高さ)

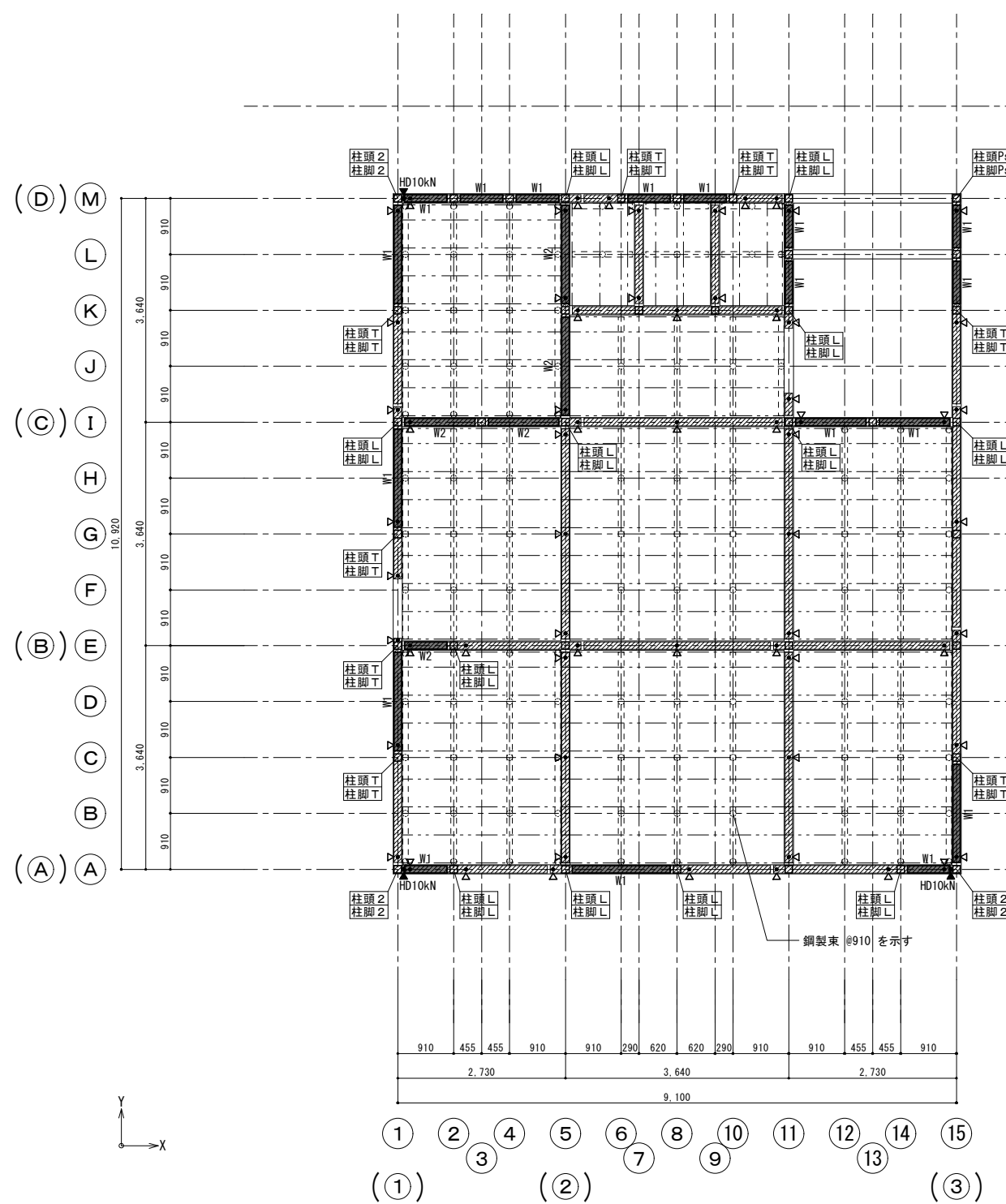
御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲 藤本 設計 西谷	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 設計年月日 2025.03.	図面名称 児童クラブ 地質調査図	図面番号 S-14 縮尺 -
-----	----	--	--	------------------------	------------------	--	---------------------	-------------------------



- 特記なき限り下記による
- 1FL = 設計GL+450
 - 基礎梁天端：設計GL+270
ただし()内寸法は設計GLからの基礎梁天端を示す。
 - 基礎下端：設計GL-700
 - 土間厚150を示す。
 - 土間天端は設計GL+60とする。
ただし【 】内寸法は設計GLからの土間天端を示す。
 6. 梁貫通孔
 - a: 200φ 5箇所
 - b: 150φ 1箇所
 - c: 125φ 4箇所
 - d: 75φ 8箇所
 - e: 65φ 4箇所
 - f: 50φ 11箇所
- ※梁貫通孔位置は、S-08『11.1 梁貫通孔』もしくは既製品の適用範囲に従うこと。

基礎伏図 1/50

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号	1級建築士登録 西谷 勇哉 第350543号	校閲	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事	図面番号 S-15
			1級建築士登録 藤本 誠二 第293685号	設計	設計年月日 2025.03.	図面名称 児童クラブ 基礎伏図	縮尺 1:50



特記なき限り下記による

1. □ は1階柱を示し、C1(120×120)とする。
2. 1FL=設計GL+450
3. ■■■ は土台(ヒノキ 芯持ち材)とし、120×120とする。
4. □□□ は大引き(ヒノキ無等級)とし、90×90とする
5. - - - は根太を示す。特記なきは45×60 @455
6. 土台・柱・間柱・合板は、GLから1m以内の高さ部分について防腐防蟻措置を施工のこと。
7. □□□ は柱頭・柱脚金物を示す。特記なきは(イ)とする。

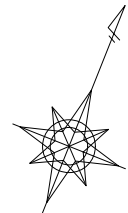
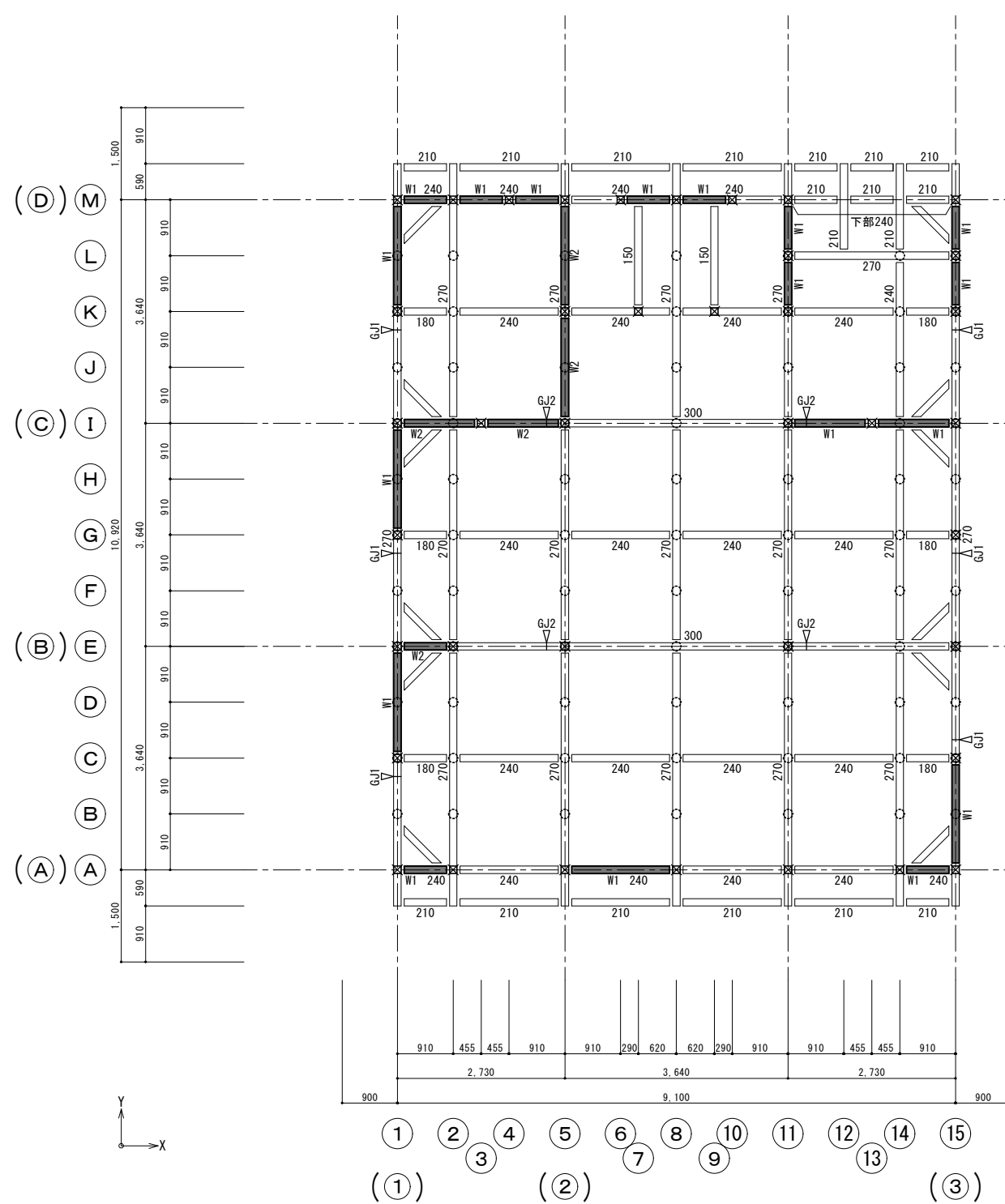
<A. BLT概要> 埋込深さは、使用金物による

符号	アンカーボルト	定着長	備考	本数
▲	M16	360mm	ホールドダウン直結型	3
△	M12	250mm		64

- ・ ホールドダウン金物用アンカーボルトは、M16とし土台用とは別に配置する。
- ・ 10kN以上のホールダウン用アンカーボルトは、埋込長さ360mm以上とし、基礎へ埋め込み定着とする。
- ・ アンカーボルト M12 埋込長さ250mm以上とし、A. BLT間隔は@3000mm以内、埋設位置は柱芯から200mm以内とする。
- ・ アンカーボルト位置は、本図をもとに再検討を行い承認を受けること。

1階柱壁 1階土台伏図 1/50

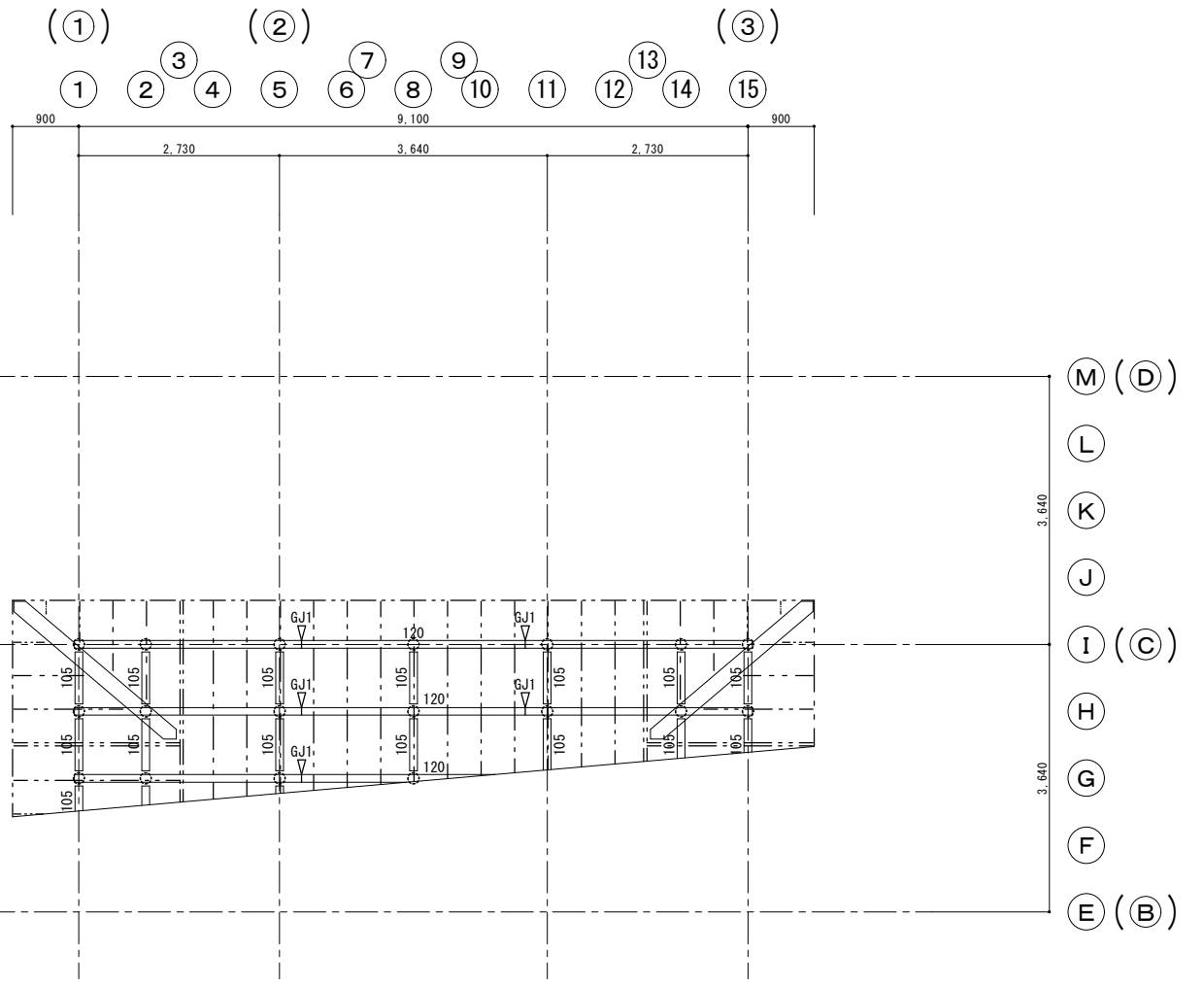
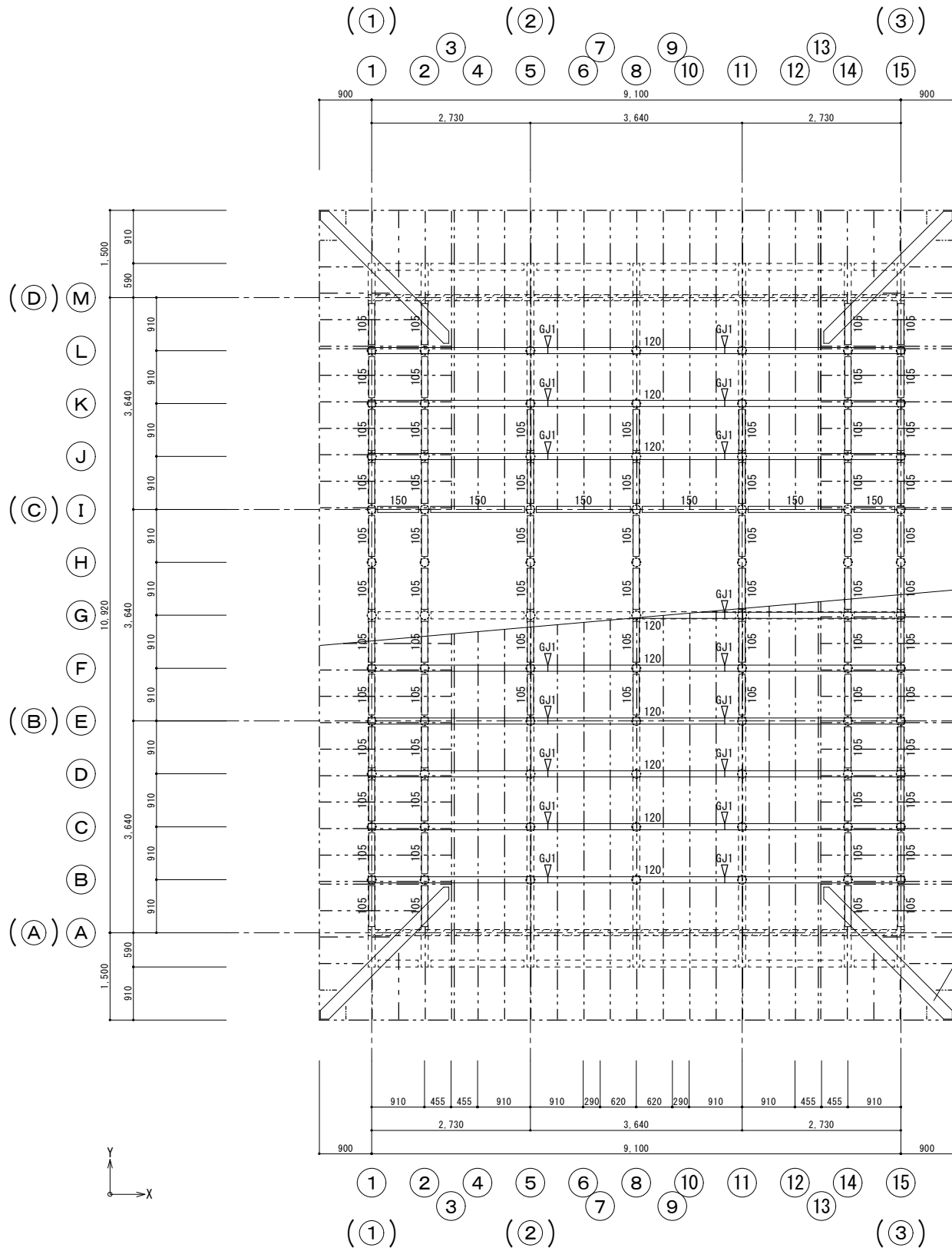
御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事	図面番号 S-16
			1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	設計	設計年月日 2025. 03.	図面名称 児童クラブ 1階柱壁 1階土台伏図	縮尺 1 : 50



- 特記なき限り下記による
- ×は、下階柱位置を示す。
 - は、小屋束を示し、105×105とする。
かすがい又はコーナー金物を両側に一箇所ずつ設置し取付のこと。
 - 梁類は、梁幅 120 とし各数値は梁せいを示す。
梁せい 105～270 (ベイマツ無等級)
梁せい 300～ (欧州アカマツ集成材 E105-F300 以上)
 - GJ は、梁の継手位置を示し、柱芯から300mm程度とする。
梁の継手は下記同等とする。
GJ1: 腰掛け鎌継手+短冊金物×1 (Ta=10.10kN)
GJ2: 腰掛け鎌継手+短冊金物×2 (Ta=15.90kN)
 - 梁の端部仕口は下記同等とする。
せい270以下: 大入れ鎌掛け+羽子板ボルト×1 (Ta=10.10kN)
せい300以上: 大入れ鎌掛け+羽子板ボルト×2 (Ta=15.90kN)

陸梁レベル 梁床伏図 1/50

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲 藤本	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事	図面番号 S-17
			1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	設計 西谷	設計年月日 2025.03.	図面名称 児童クラブ 陸梁レベル 梁床伏図	縮尺 1:50

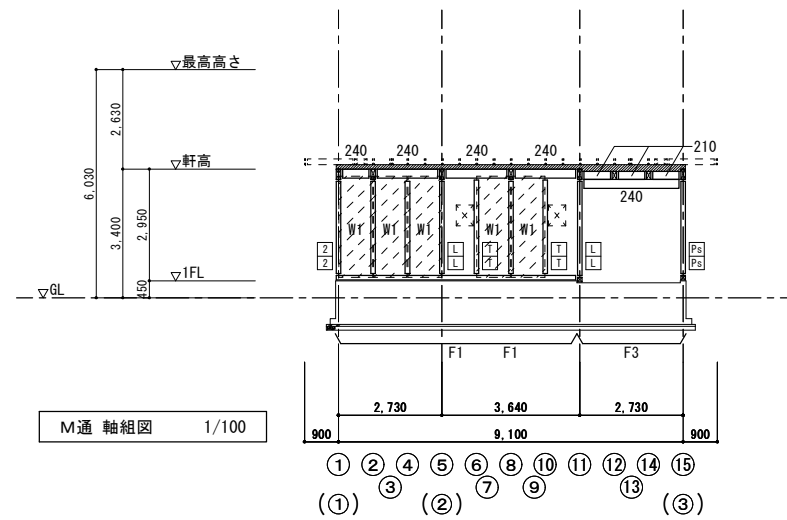
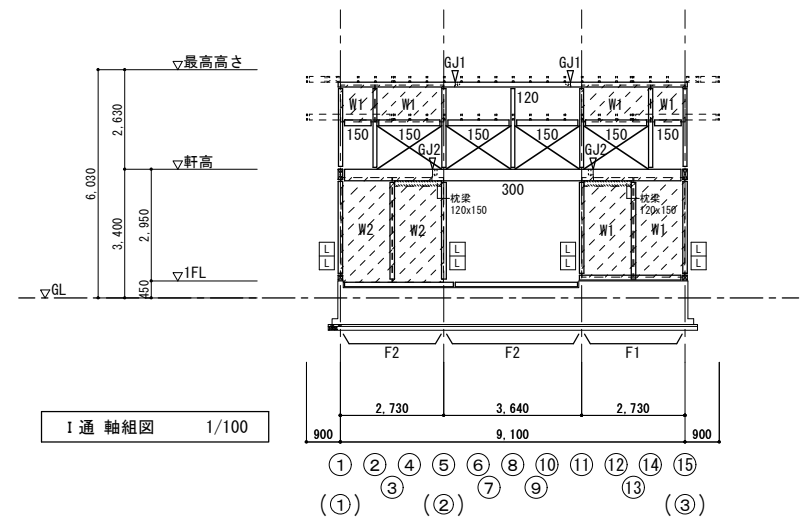
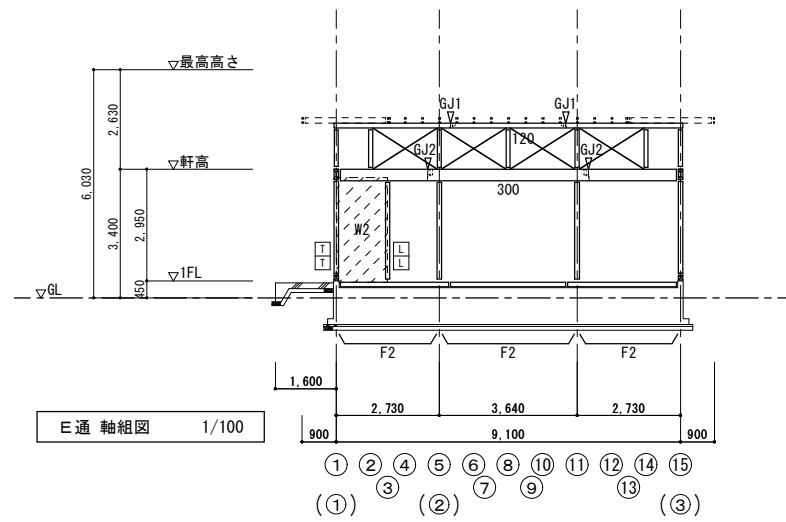
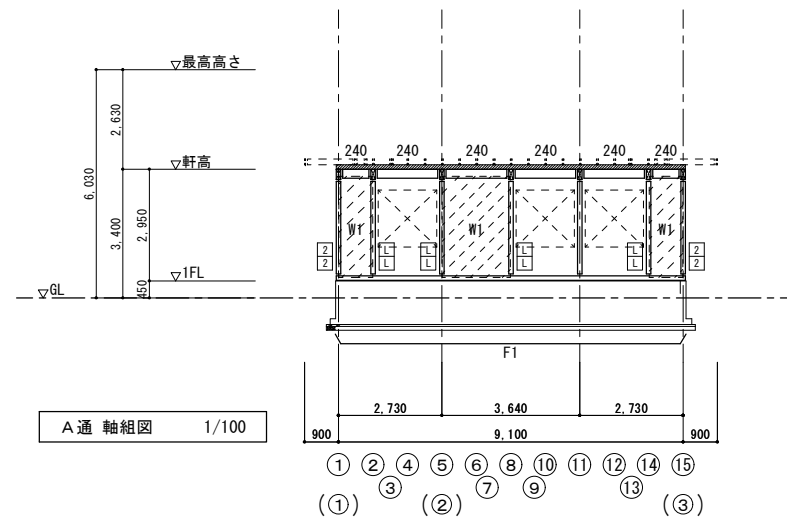



鼻隠し 30x105 (材) 2-N90
 隅木 : 210x105 (2-105x105とする場合、コーナボルトにより連結)




- 特記なき限り下記による
- は、小屋束を示し、105 x 105とする。
 かすがい又はコーナー金物を両側に一直所ずつ設置し取付のこと。
 - 梁類は、梁幅 105 とし各数値は梁せいを示す。
 母屋・梁の仕口及び継手は下記同等とする。
 仕口 : 大入れ蟻掛け+羽子板ボルト×1
 継手 : 腰掛け継手+短冊金物
 - は、梁上床受材 幅105とする。
 N75釘2本 (表と裏各1本) @150mm以下 斜め打ち
 - : 垂木: 45 x 105 @455 (ベイマツ無等級・ころび止めあり) とする。

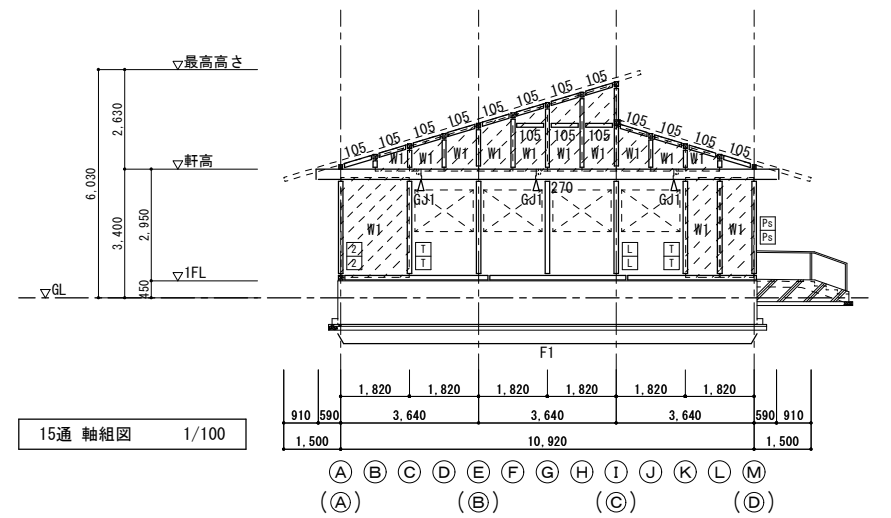
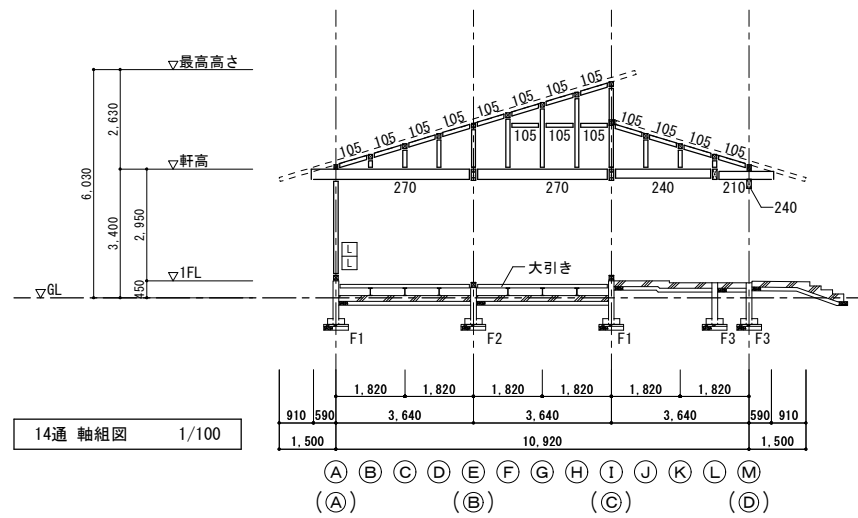
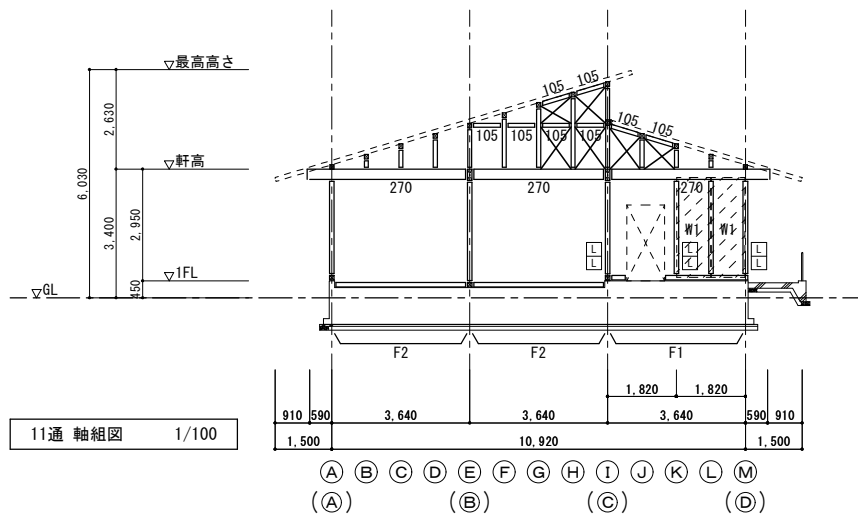
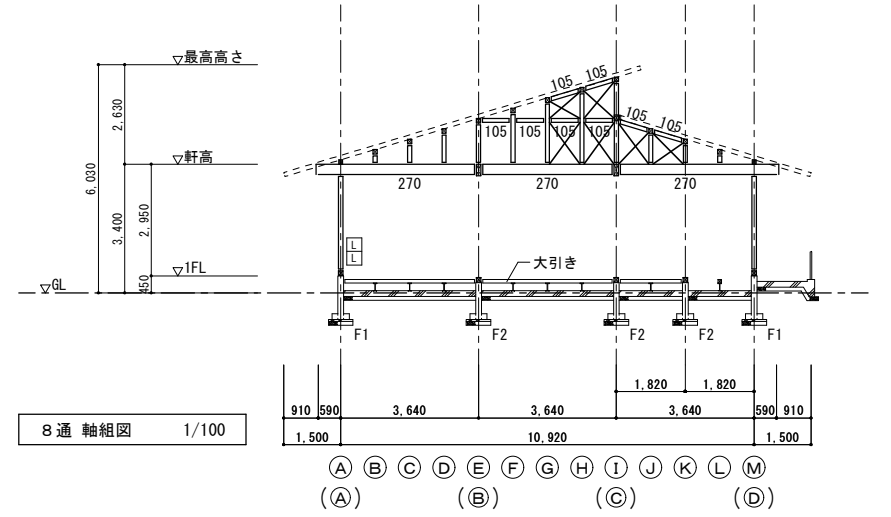
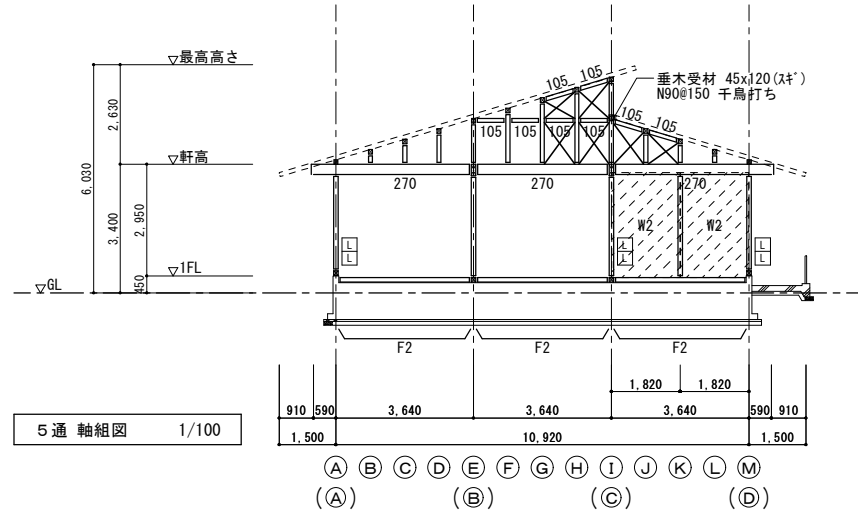
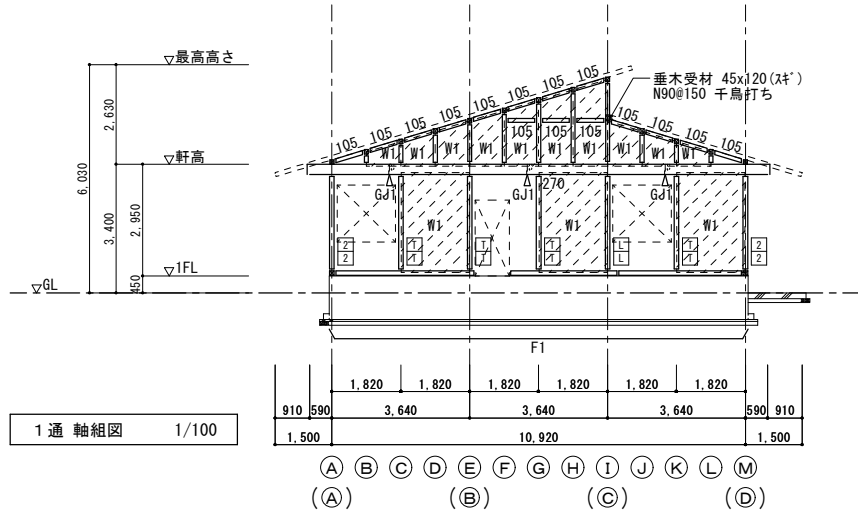
登り梁、母屋伏図 1/50

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号	1級建築士登録 西谷 勇哉 第350543号	校閲	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事	図面番号 S-18
			1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	設計	設計年月日 2025. 03.	図面名称 児童クラブ 登り梁、母屋伏図	縮尺 1 : 50



- 特記なき限り下記による
1. 柱はC1とする。
 2. 特記なき梁幅は120mmとし、記載数値は梁成を示す。
ただし、梁せい105および小屋束上部梁は梁幅105とする。
 3.  は柱頭・柱脚金物を示す。特記なきは(い)とする。

御承認	記事	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲 	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事	図面番号 S-19
					設計 	設計年月日 2025.03.	図面名称 児童クラブ 軸組図(1)



- 特記なき限り下記による
- 柱はC1とする。
 - 特記なき梁幅は120mmとし、記載数値は梁成を示す。
ただし、梁せい105および小屋束上部梁は梁幅105とする。
 - は柱頭・柱脚金物を示す。特記なきは(い)とする。

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1)第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第350543号 西谷 勇哉	校閲 藤本 設計 西谷	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 児童クラブ 軸組図(2)	図面番号 S-20 縮尺 1:100
-----	----	--	---	------------------------	------------------	---	-----------------------------

・主筋位置は、アンカーボルトを考慮の上決定すること。

符号	F1	F2	F3
B×D	150×1150	150×970	150×1100
位置	全断面	全断面	全断面
断面 (Fc21N/mm ²)			
上端筋	1-D16	1-D16	1-D16
下端筋	1-D16	1-D16	1-D16
スタップ	1-D10-@200	1-D10-@200	1-D10-@200
腹筋	3-D10	2-D10	3-D10

木部材リスト

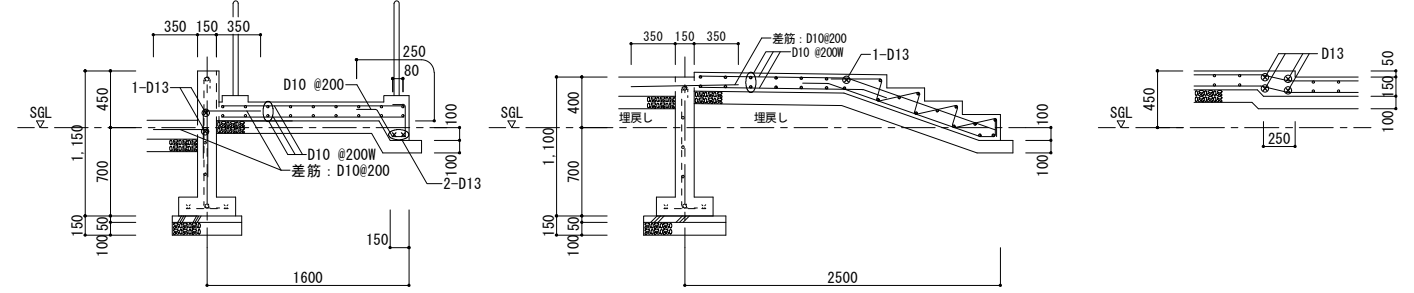
種別	記号	部材	樹種	備考
柱	C1	120x120	スギ 無等級	
陸梁	300	120x300	欧州アカマツ集成材 E105-F300	対称異等級構成集成材
	270	120x270	ベイツ 無等級	
	240	120x240	ベイツ 無等級	
	210	120x210	ベイツ 無等級	
	180	120x180	ベイツ 無等級	
	150	120x150	ベイツ 無等級	
小屋梁	105	105x105	ベイツ 無等級	
	150	105x150	ベイツ 無等級	
母屋	120	105x120	ベイツ 無等級	
垂木 (@455)	-	45x105	ベイツ 無等級	N75 2本又はタルキックⅡ 転び止めあり
野地板	-	構造用合板 厚15		N50 @150mm (転び止めあり 1.96kN/m) : 屋根面
火打梁		鋼製		
小屋束		105x105	スギ 無等級	
土台		120x120	ヒノキ 芯持ち材 無等級	
大引		90x90	ヒノキ 無等級	
根太 (@455)	-	45x60	ヒノキ 無等級	
床束		鋼製 ≒910		

備考：○含水率は、20%以下とする。
○柱ほぞ寸法は、75x30とする。

金物リスト

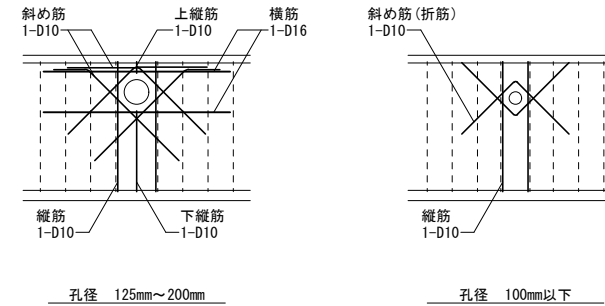
記号	仕様	Ta (kN)	備考
□	短ほぞ差し+かすがい打	1.08	(い)
L	CP-L	3.38	(ろ)
T	CP-T	5.07	(は)
Ps	スクリュー釘併用羽子板ボルト	8.50	(ほ)
2	10kN ホールダウン金物	10.00	(へ)

備考：※ 金物はZ金物又は認定品とする。
※ 梁の上下でホールダウン金物を緊結する場合、上下の金物は大きい方の金物を使用すること。



基礎梁貫通補強要領

・補強筋の定着長さは S-08の図11.2による。
・----- は、一般部分のあばら筋を示す。

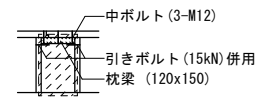


耐力壁リスト

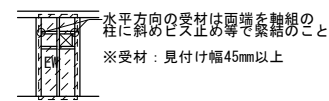
符号	材料	接合部の仕様	壁倍率
W1	構造用合板 t=9 (外面) 大壁	釘：N50 外周：@150 中通：@150	2.5
W2	構造用合板 t=9 (片面) 大壁(床勝ち仕様)	釘：N50 外周：@150 中通：@150	2.5
小屋筋交い	筋かい 45x90 (ダブル)		4.0

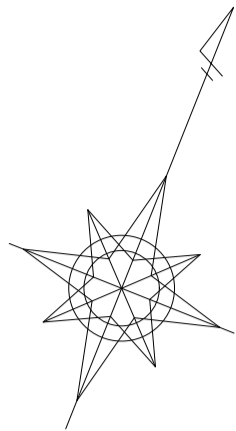
○耐力壁以外の壁下地に使用する構造用合板は非耐力壁とするため、釘打ちについては(N50@200 川の字打ち)とする。

○耐力壁内(筋交い・面材共)には原則、梁継手を設けないこと。
やむを得ず継手を設ける場合は、枕梁で補強すること。

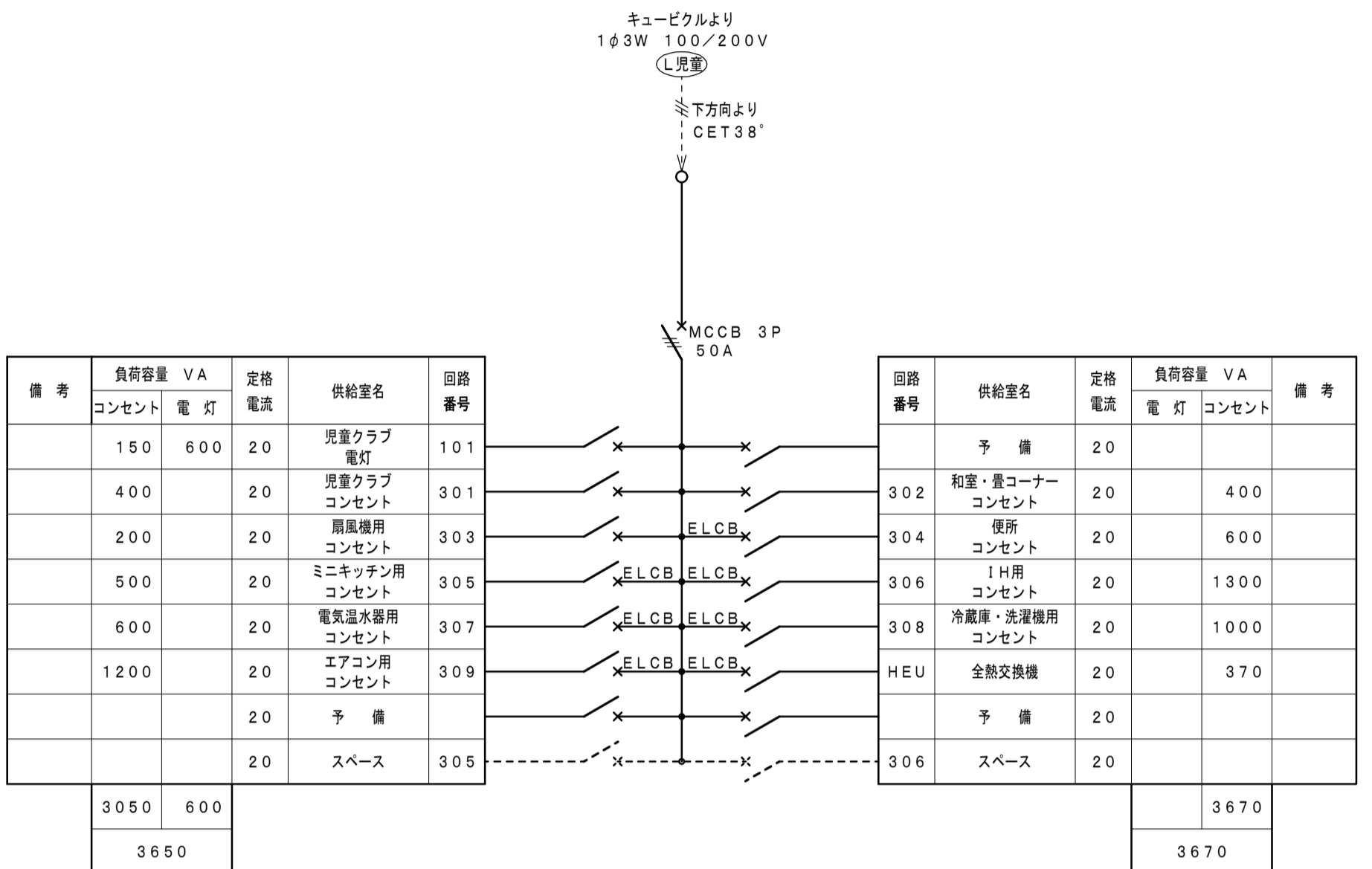


○面材耐力壁内には原則、開口を設けないこと。
やむを得ず小開口を設ける場合は、四周を受材で補強の上、面材を四周釘打ちのこと。
但し、小開口寸法は、38cm以下とする。

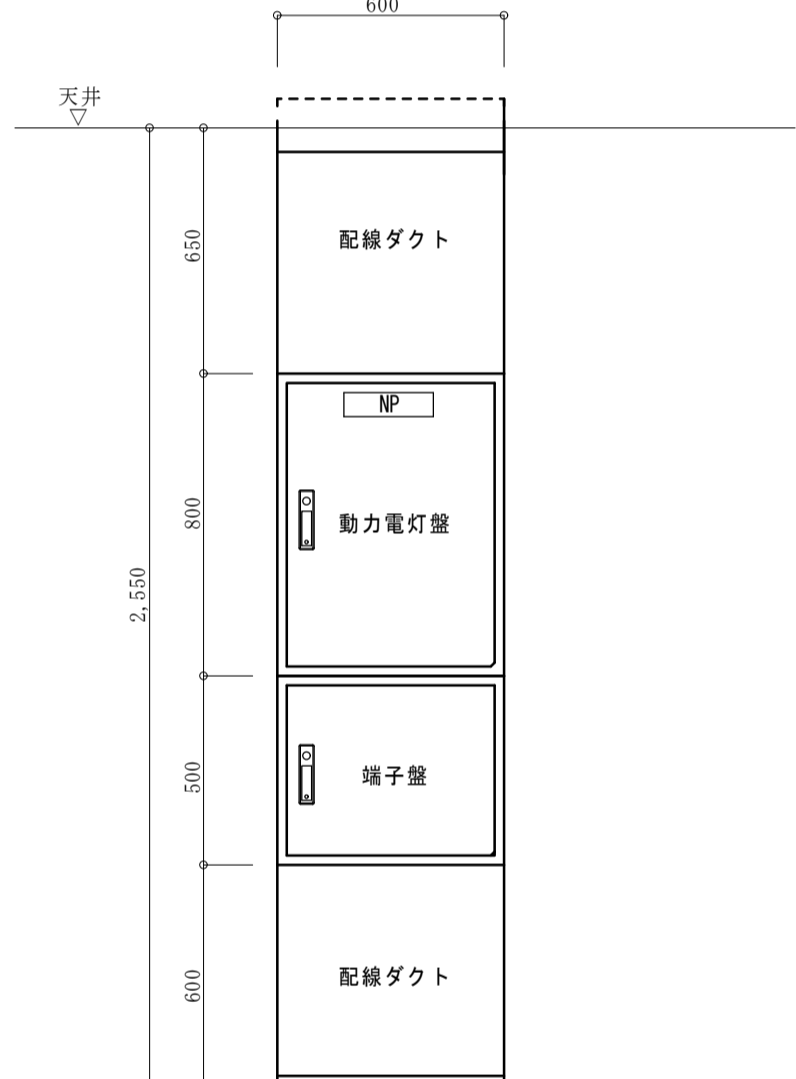




分電盤名称	LMT-1	
キャビネット型式	屋内壁掛型 (上部下部ダクト付)	
電気方式	種別	常用回路
	相線	単相3線式
	電圧	100/200V
負荷容量	7.32kVA	9.75kW
備考	鋼板製・指定色塗装	



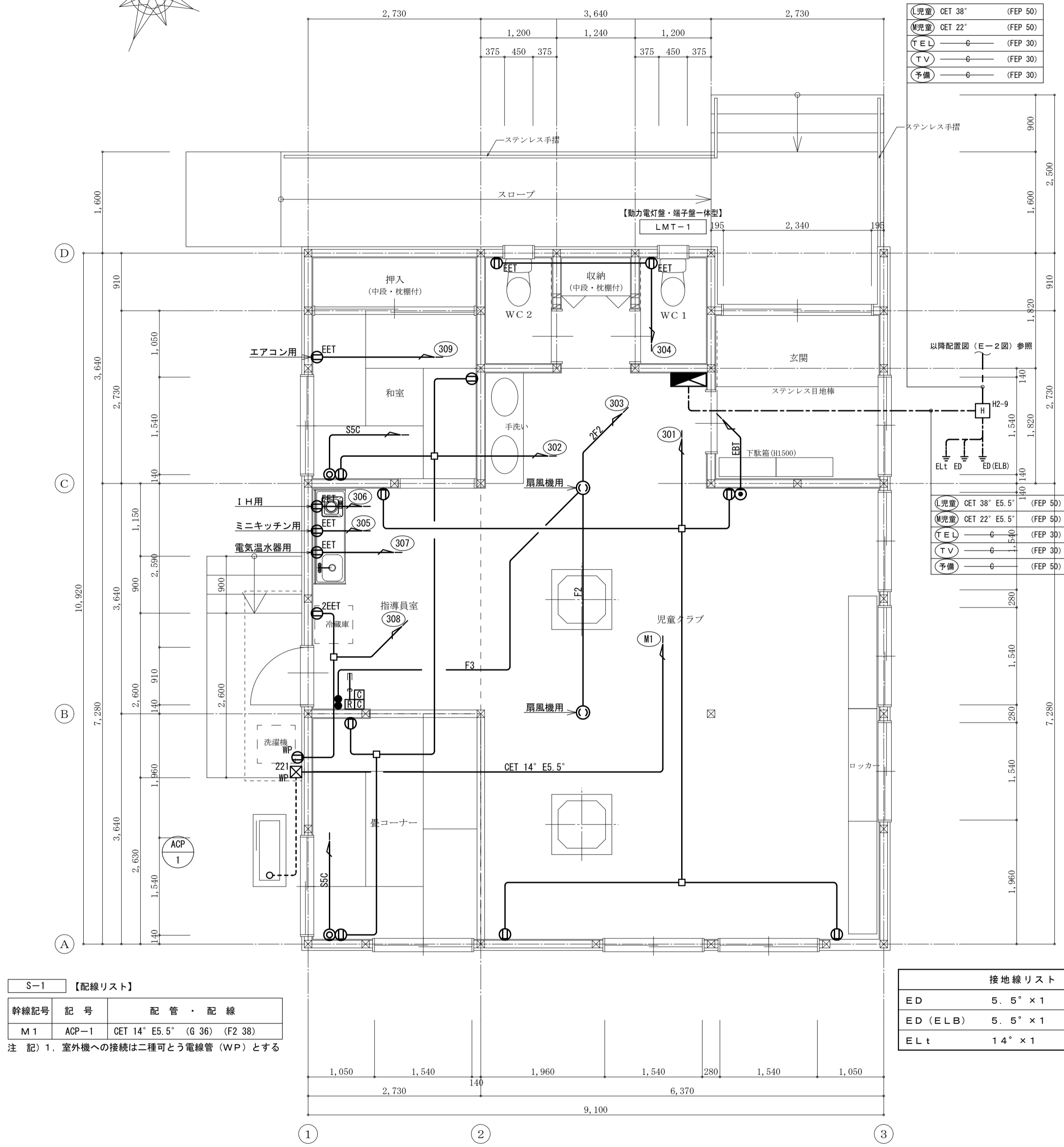
回路番号	供給室名	定格電流	負荷容量 KW	備考
M1	S-1	50	9.75	
			9.75	



分電盤 LMT-1 参考姿図

端子盤名	取付場所	電話	テレビ共同受信
LMT-1	児童クラブ	保安器10Pスペース10/10	プスター35dB SH-D2

動力電灯盤 LMT-1 単線接続図



幹線記号	記号	配管・配線
M1	ACP-1	CET 14" E5.5" (G 36) (F2 38)

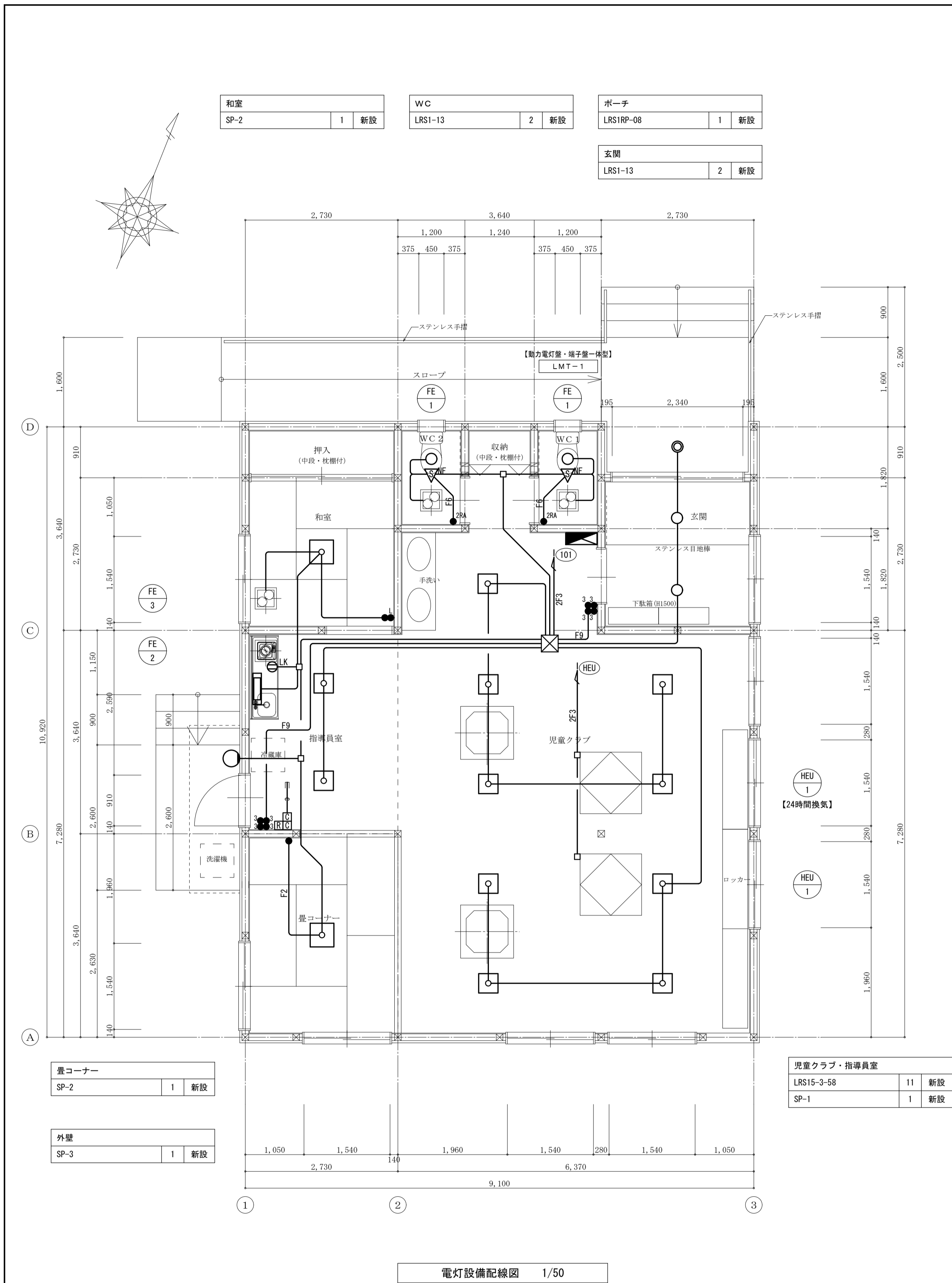
注 1. 室外機への接続は二種可とう電線管 (WP) とする

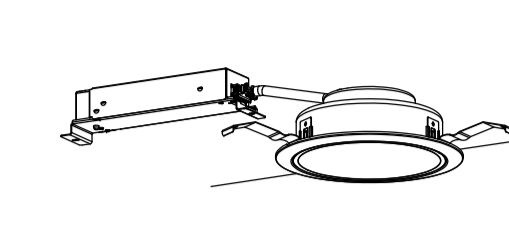
接地線リスト	規格	規格
ED	5.5" x 1	(VE16)
ED (ELB)	5.5" x 1	(VE16)
ELt	14" x 1	(VE16)

コンセント・構内交換・テレビ共同受信設備配線図 1/50

凡例	記号	名称	備考	配線特記事項
	■	動力電灯盤	端子盤一体型	1. 図中内特記なき配管配線は下記とする。
	①	埋込コンセント (樹脂製プレート)	2P 15A x 2 接地極付	F2 EEF 1.6-2C (PF 16)
	②	埋込コンセント (樹脂製プレート)	2P 15A x 1 接地極・接地端子付	F3 EEF 1.6-3C (PF 16)
	③	埋込コンセント (樹脂製プレート)	2P 15A x 2 接地極・接地端子付	EEF 2.0-3C (PF 22)
	④	埋込抜き止めコンセント (樹脂製プレート)	2P 15A x 1	EBT EBT 0.4-2P (PF 16)
	⑤	埋込抜き止めコンセント (樹脂製プレート)	2P 15A x 1	SSC EM-SSC-FB (PF 16)
	⑥	防水コンセント	2P 15A x 2 接地端子付	空配管 (PF 22)
	⑦	埋込スイッチ (樹脂製プレート)	1P 15A x 2	
	⑧	電話用モジュージャック		
	⑨	テレビ端子		2. 注記
	⑩	空調機用リモコンスイッチ	別途機械設備工事	(1) 二重天井内はケーブル芯がし配線とし、壁部等に必要箇所には適合電線管にて配線保護とすること。
	□	位置カギ (0B 44 C付)		(2) ELt用接地線はハンドホール内にて10m程度余長をとること。
	⑪	ブルボックス	SS200 x 100 WP-SUS	

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	1級建築士登録 第322322号 小笠原 勲	校閲 藤本 設計 小笠原	工事名称 (仮称) 賀茂川学園整備工事に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 コンセント・構内交換・テレビ共同受信設備配線図	図面番号 E-04 縮尺 1:50
-----	----	---	--	------------------------	-------------------	--	----------------------------

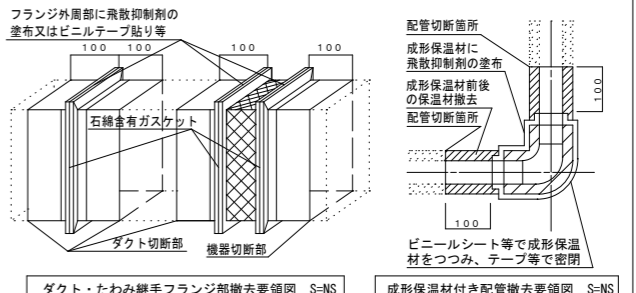


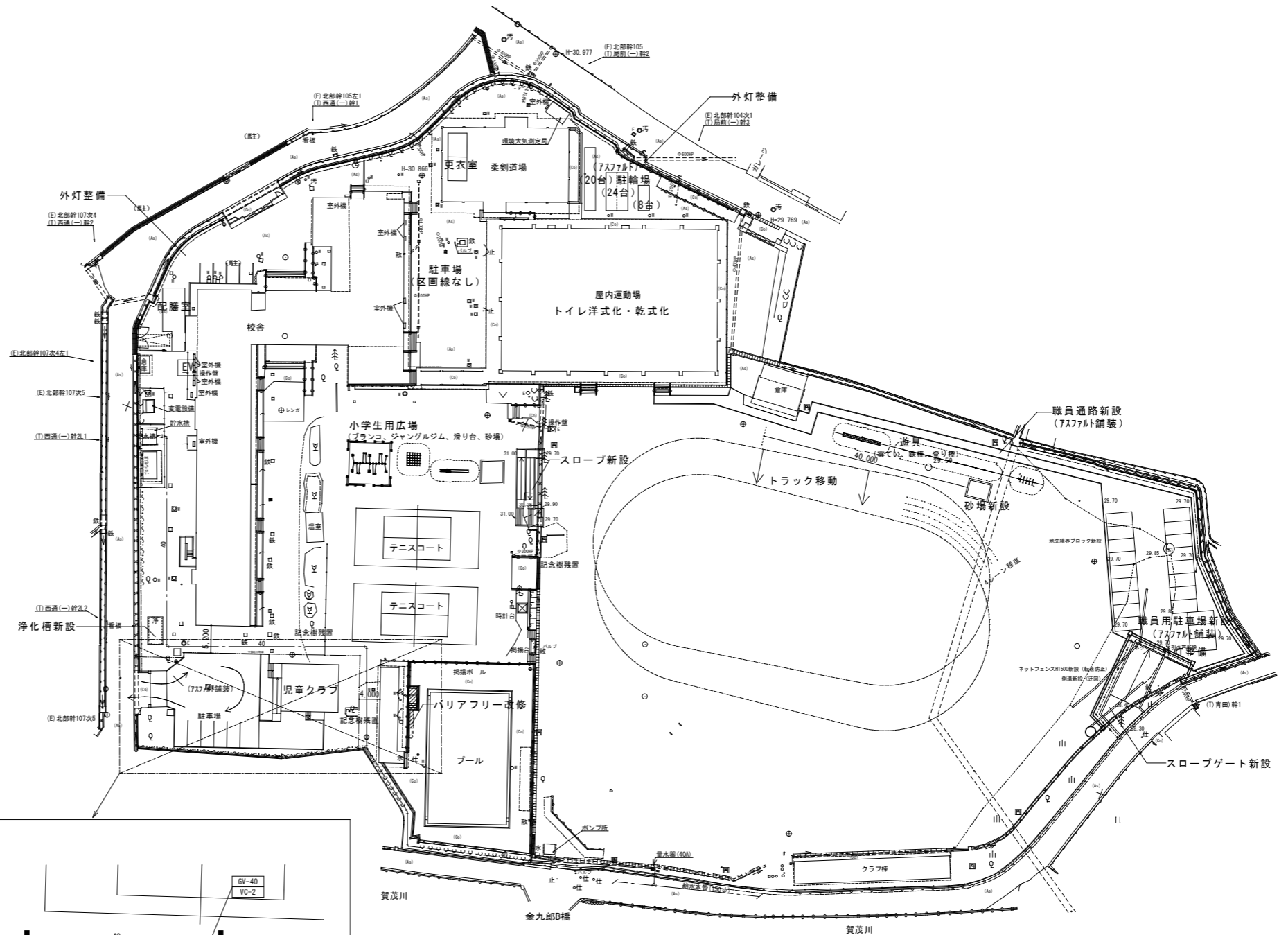
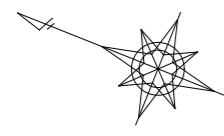
LRS15-3-58	LEDスクエアベースライト 埋込型 下面開放型 □350	LRS1-1-3	ダウンライト 150形	LRS1RP-08	軒下用ダウンライト 100形
 <p>スクエア光源タイプ、一般光源ユニット、6500lmタイプ 消費電力41.5W、電圧100~242V 調光タイプ(約10~100%) 本体：鏡板(高反射白色粉体塗装) 点灯ユニット(カバー)：ポリカーボネート(乳白) 光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 昼白色(5000K)、Ra83</p>		 <p>LED内蔵くワコア(ひと粒)タイプ、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源光束角15度、光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 器具光束：1695lm、消費電力：11.6W、電圧：100~242V 反射板(上部)：プラスチック(ホワイト) 反射板(下部)：鏡板(ホワイトつや消し仕上) 枠：鏡板(ホワイトつや消し仕上)、埋込穴φ150</p>		 <p>LED内蔵くワコア(ひと粒)タイプ、電源ユニット内蔵、軒下用(防雨型) 5000K、Ra85、拡散タイプ、一般光色タイプ、光源光束角15度 器具光束：970lm、消費電力：7W、電圧：100~242V 光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 反射板(上部)：プラスチック(ホワイト) 枠：鏡板(ホワイトつや消し仕上) パネル：アクリル(透明)、埋込穴φ150</p>	
LRS15-3-58		LRS1-1-3		LRS1RP-08	
SP-1	LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当	SP-2	シーリングライト	SP-3	LEDウォールライト 20形 センサ付
 <p>FL15×1→FL20×1相当</p> <p>昼白色(5000K)、Ra83 器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 直管タイプ、コンセント付 カバー：プラスチック(乳白) プルスイッチ付、両面化転タイプ</p>		 <p>昼光色(6500K)、Ra83/電球色(2700K)、Ra83 器具光束4000lm、消費電力32W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、回転金具方式、カチットF 光源寿命40000時間(光束維持率70%) カバー：アクリル(乳白つや消し) 本製(白) リモコンで(100%~5%)調光、専用リモコン送信器同梱</p>		 <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵 防雨型、ひと(熱線)センサ・Eセンサ付(約30~100%段調光) 5000K、Ra83、光束維持時間40000時間(光束維持率85%) 器具光束1470lm、消費電力14.9W、電圧100~242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート(乳白) 壁直付型、保護等級：IP23</p>	
参考型番：パナソニック LGB52097LE1 相当品		参考型番：パナソニック LGC35833 相当品		参考型番：パナソニック NNF521852CLE9 相当品	

児童クラブ・指導員室	LRS15-3-58	11	新設
	SP-1	1	新設

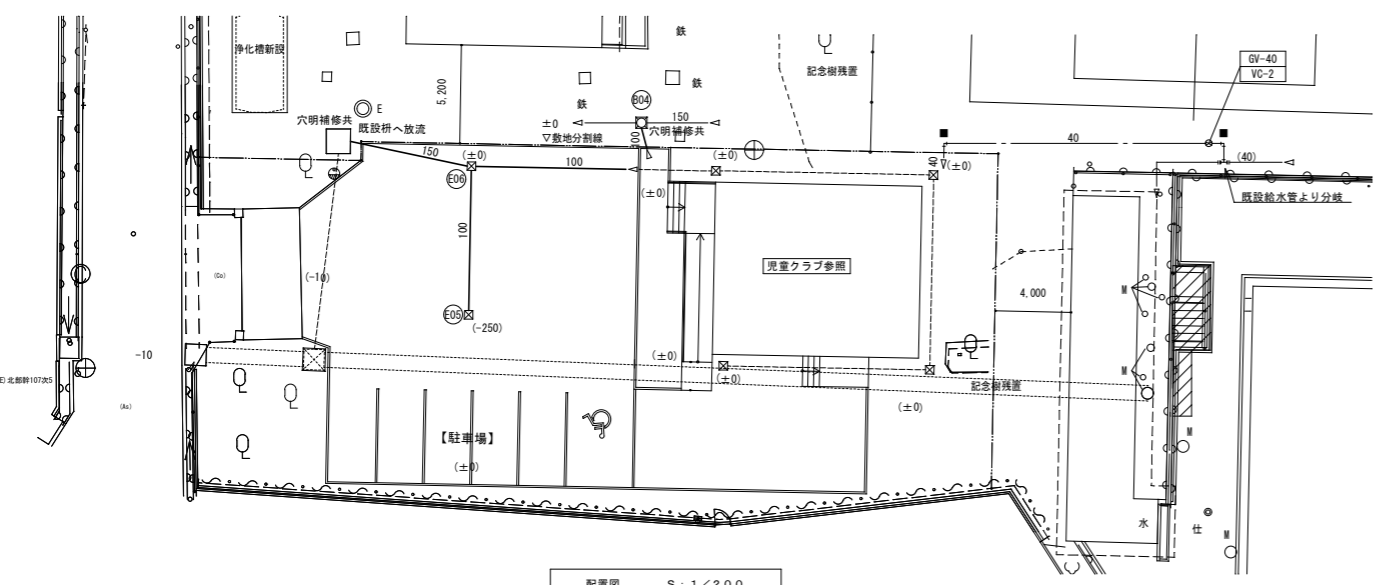
電灯設備配線図 1/50

凡例			配線特記事項
記号	名称	備考	
	動力電灯盤	端子盤一体型	1. 図中内特記なき配管配線は下記とする。
	埋込スイッチ(樹脂製プレート)	1P15A×n (nは回路個数)	F2 EEF 1.6-2C (PF 16)
	埋込スイッチ(樹脂製プレート)	1PL4A×1 (確認表示灯付)	EEF 1.6-3C (PF 16)
	埋込3路スイッチ(樹脂製プレート)	3W15A×n (nは回路個数)	F6 EEF 1.6-3C×2 (PF 22)
	埋込止り止めコンセント(樹脂製プレート)	2P15A×1	F9 EEF 1.6-3C×3 (PF 22) ×2
	埋込止り止めコンセント(樹脂製プレート)	2P15A×1	2F3 EEF 2.0-3C (PF 22)
	照明制御器(観機-換気扇接続端子付)	換気扇連動用	空配管 (PF 22)
	熱線式自動スイッチ	2回路用(自動-連続-切)	
	空調機用リモコンスイッチ	別途機械設備工事	
	全熱交換機用リモコンスイッチ	別途機械設備工事	2. 注記
	位置ロック(0B 44付)		(1) 二重天井内はケーブルころしが配線とし、壁部等に必要箇所には適合電線管にて配線保護とすること。
	ブルボックス	SS-C200'×100	




空 気 調 換 機 設 備	① 設計用温湿度条件	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">外 気 条 件</th> <th colspan="2">室 内 (調整目標値)</th> </tr> <tr> <th>温度(D.B)</th> <th>湿度</th> <th>一 般 系 統</th> <th>湿度</th> </tr> <tr> <td>夏季 34.9℃</td> <td>51.0%</td> <td>28.0℃</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>冬季 -0.2℃</td> <td>69.9%</td> <td>19.0℃</td> <td>40%</td> </tr> </table>	外 気 条 件		室 内 (調整目標値)		温度(D.B)	湿度	一 般 系 統	湿度	夏季 34.9℃	51.0%	28.0℃	50%	冬季 -0.2℃	69.9%	19.0℃	40%	28. 消音内貼り 29. 機器用基礎 30. 空調用流体の水質基準 31. フィルターの予備品	3. 汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ 4. 接続納付金等 5. 樹のコンクリート巻き	水中形三相誘導電動機は、(※ 乾式 ・ 油封式)とする。 電動機の種数は図示による。 着脱装置、ストレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。 ※ 別途工事 ・ 本工事 小口径樹等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)	石綿含有設備資材の処理について I. 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告する。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考に、計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニールテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にからない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 II. 石綿を含有する設備資材の処理方法(※撤去費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。 (3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。 
	外 気 条 件		室 内 (調整目標値)																			
温度(D.B)	湿度	一 般 系 統	湿度																			
夏季 34.9℃	51.0%	28.0℃	50%																			
冬季 -0.2℃	69.9%	19.0℃	40%																			
② 配管材料	※重複して適用の場合の使用区分は図示による 1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼管(白管) 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼管(白管) 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼管(白管) 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼管(黒管) 5) 蒸気遠水 ・ 圧力配管用炭素鋼管(STPG370Sch40) 6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼管(黒管) 7) 冷媒 ① 断熱材被覆鋼管 8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管(SUS304) 9) 空調用排水 ① 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 トラップの形式はフロートボール式(床置型) ※ FRP製保温型 1) 長さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付可 ・ 取付不可 ・ 取付座を取付ける 3) ばいじん量測定口(80φ×2) ※ 取付可 ・ 取付不可 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに錆止表面露露対策は ※ 不要 ・ 図示による。 風量30.000m ³ /hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷温水管の接続部(往・還)にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 (定流量弁の場合は、ダイヤフラム式流量可変式 ・ カトリッジオフリス型) 床置形にはサブドレンパンを設ける。 インター機は表示された能力は、型番で選定する。 内外送配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む) パッケージ形空気調和機 パッケージ形空気調和機の記載による。 集中管理リモコン ・ 個別リモコン 集中管理リモコンの機能は、 ※ 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能(外部記憶媒体への出力機能含む) リモコンの系統区分は図示による。 ろ材ユニットは(・再生式 ・ 非再生式)とし、形式及び性能等は図示による。 形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 鉄製はしご ※ 要 ・ 不要 1) 据付け方法は ※ 標準図(施工32)(二重殻タンク) ※ 標準図(施工33)(タンク室有り) 2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3) 遠隔油満指示装置(液面計は(・抵抗変換式 ・ 磁気式)で(・屋内 ・ 屋外)より油満監視用)を取付ける。 4) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要(但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事) 5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要(・本工事 ・ 別途工事) 油面計はゲージ式(側立式)とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法 (共振フランジ又はスライドオンフランジ) (ただし、長辺が1500mmを超えるものは アングルフランジ工法とする) ・ アングルフランジ工法 3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通部分の前後150mmを 1.6mm厚鋼板製とする。 4) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1) シーリングディフューザーの接続は標準図(施工49)を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製 ・ グリスイクストラクター ・ グリスフィルター 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空調機のサブライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空気調和機、全熱交換器廻りの遠気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計 ・ ガード付きL形温度計 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 (1) 防火ダンパーは表示等により区分する。 (2) 防煙ダンパー 遠隔復帰式(定格入力はDC24V、0.7A以下。) ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形 ユニット 1) エア溜まりを生ずるとされる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置(※ 手動 ・ 自動)を設ける。 2) 自動エア抜き弁装置は、標準図(施工38(g))による。 3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。 点検口の大きさは、原則として400×600とする。 防振基礎の防振材及び振動絶縁率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。 日本冷凍空調工業会(冷凍空調機器用水質ガイドライン)による。 空気調和機器等又は77φ×77φの装置枚数の100%を予備品(特付)として納める。 77φ×77φは総合数の(・50% ・ 100%)に当たる77φを予備品(特付)として納める。 自動巻取り及びグリーンフィルターは装置単位の100%を予備品として納める。	※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製(厚1.6mm) ・ パネル形 (・天井取付 ・ 壁取付) ・ スリット形 (・天井取付 ・ 壁取付) ・ ダンパー形 (・天井内取付) 電気式(遠隔操作 ※ 不要 ・ 要) 排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1.5.1表4.1.1に準じて耐熱・耐火ケーブルとする。	1. 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 弁類 3. 保温	1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼管(白管) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管ビット内(SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼管(Sch40) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(STPG370-VS) 3) 一般配管用 ・ ※ 10K ・ 16K 1) 呼水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次のとおり。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e2、(ハ)・VII による) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリングラウ ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結排水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ※ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鋼鉄製(要部青銅製) ・ ステンレス鋼製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製																	
3. 弁類	4. 空調機用トラップ 5. 鋼板製煙道	1) 排煙口 2) 排煙口開放及び復帰方式 3) 排煙風量測定	1) システム構成・機能 2) 自動制御機器 3) 自動制御盤 4) 中央監視制御装置 5) 計装工事の配線	1. 都市ガス設備 2. 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による 3. ガス漏れ警報器 4. 充てん容器 5. バルク貯槽 6. ガスメーター 7. 容器廻りの配管 8. 容器転倒防止	ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス ガス事業者の定めによる。 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼管(白管) 地中配管用 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ※ 不要 ・ 要(取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要) 警報器から制御盤、遮断弁までの電線は別途工事とする。 ※ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 ・ 借用 ※ 買取り ・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____ kg ・ 借用 ※ 買取り 1) 観メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式(・直読 ・ 遠隔表示) 施工方法は標準図(施工73)の(・a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図(施工74)の(・a) ・ (b)	1) 都市ガス設備 2. 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による 3. ガス漏れ警報器 4. 充てん容器 5. バルク貯槽 6. ガスメーター 7. 容器廻りの配管 8. 容器転倒防止	1) 一般配管用 ① 水道用硬質塩化ビニル管(HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 ② 水道用硬質塩化ビニル管(HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 2) 土間配管用 ① 水道用硬質塩化ビニル管(HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 ② 水道用硬質塩化ビニル管(HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 3) 地中配管用 ① 水道用硬質塩化ビニル管(HIVP) ・ 水道配水用ポリエチレン管 ・ 水道用ポリエチレン二層管 1) 公営水道に直結する配管に使用するもの耐圧は、10Kとする。 2) 受水タンク以降の配管に使用するもの耐圧は、5Kとする。 3) 給水引込部の(・止水栓 ・ 弁類)は水道事業者指定品とする。 1) 観メーター ※ 借用 ・ 買取り(・直読 ・ 遠隔表示) 2) 子メーター ※ 買取り ・ 借用(・直読 ・ 遠隔表示) 現地表示式(直読式)の表示機構は ※ 湿式77φ式 ・ 乾式77φ式 遠隔表示式は(※ バルブ式 ・ 電文式)発信器を備える。 1) 観メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57) 2) 子メーター用 ※ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の直前に設置する。 遮断弁の駆動方式は(※ 電気式 ・ 機械式)とする。 ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による 寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による 1) 屋外の水栓は ・ キーハンドル 2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 給水用配管の接続口を(※ 設けない)ものとする。 2槽の場合は、連通管を設けるものとする。 ※ 別途工事 ・ 本工事 弁が77φ、散水栓が77φ等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)	1) 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 弁類 3. 量水器 4. 量水器併 5. 定水位調整弁 6. 緊急遮断弁装置 7. 水栓柱 8. 不凍水栓柱 9. 水栓 10. タンク 11. 引込納付金等 12. びんがのコンクリート巻き	1) 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 排水金物	1) 配管材料 ※ 重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 排水金物	冷媒の回収方法について 冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は(※ 本工事 ・ 別途工事)とする。 (1) 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ① 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書(都道府県知事登録)の写し ② 事前確認書の写し ③ 回収依頼書の写し ④ 引取証明書 ⑤ 破壊証明書の写し (2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ① 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し											



全体配置図 S: 1/500



配置図 S: 1/200
 ※給水引き込み位置が設計時既存図での判断しか出来ない為、
 施工時現地調査を行い、接続位置を決定すること。(調査費用は本工事に見込んでおくこと。)
 ※■は埋設表示杭を示す。

御承認	記事	 中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	校閲  設計 	工事名称 (仮称)賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 全体配置図	設計年月日 2025.03.	図面番号 M-03 縮尺 1/500
-----	----	---	--	--	---	-------------------	-----------------------------

器具表 (放課後児童クラブ)

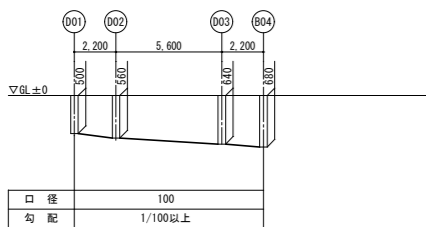
名称	TOTO (参考品番)	仕様	合計	備考
洋風大便器 (普通便座)	CS597BMS T0F589AU (AC100V314W) YH500	床置床排水大便器、密結タンク式、暖房洗浄便座 (貯湯式) 床排水フレンジ (7.5塩ビ管用)、紙巻器	2	
洗面器 (手動水栓)	L532 TLC11AR	アンダーカウンター式洗面器・立水栓 (手動)	2	
電気温水器 (12リットル)	REXB12A12一式 1φ100V 1.1kW	電気温水器、開放式排水ホッパー、耐震用脚、アングル形止水栓、接続口キャップ ※混合水栓は別途建築工事	1	
洗濯機パン	PWP640M2W PJ2009NW	洗濯機パン、縦引き排水トラップ	1	
洗濯機用横水栓	TW11R	洗濯機用横水栓 (緊急止水機能付)		

※各種手すり及びライニング、洗面器用カウンター、化粧鏡、器具取付に伴う補強は建築工事とする。
 ※水栓は対応できるものは全て寒冷地対応タイプとすること。
 ※器具標準付属品 (樹脂プラグ・固定金具・接続金具等) は全て本工事に設置とする。

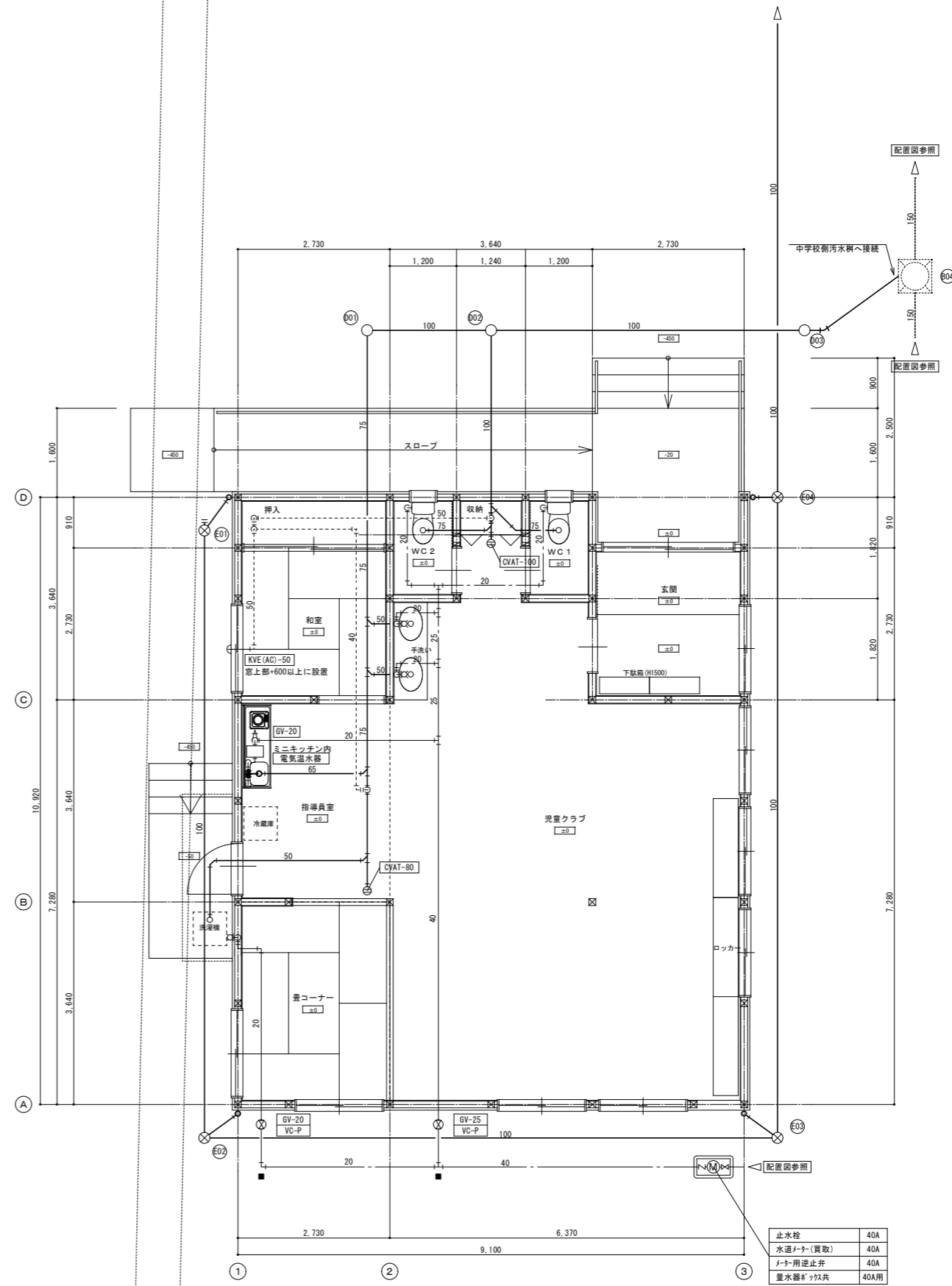
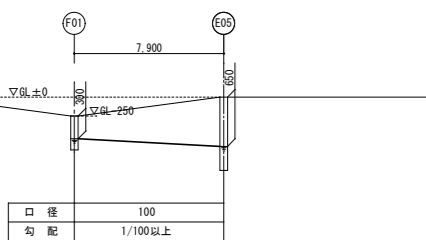
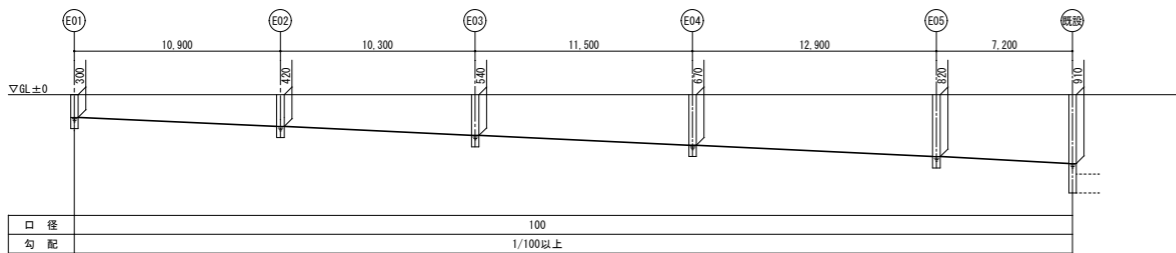
樹リスト

記号	名称	大きさ	深さ	備考
001	小口径汚水樹	200φ	500	100-200 90L 塩ビ蓋
002	小口径汚水樹	200φ	560	100-200 90Y (段差付) 塩ビ蓋
003	小口径汚水樹	200φ	640	100-200 ST 塩ビ蓋
E01	小口径雨水樹	200φ	300	100-200 90Y 塩ビ蓋
E02	小口径雨水樹	200φ	420	100-200 90Y 塩ビ蓋
E03	小口径雨水樹	200φ	540	100-200 90Y 塩ビ蓋
E04	小口径雨水樹	200φ	670	100-200 90Y 塩ビ蓋
E05	雨水樹	RC-2	820	格子蓋 (耐中通重)-450
F01	雨水樹	RC-1	300	格子蓋 (耐中通重)-350

勾配図 (汚水系統)



勾配図 (雨水系統)



御承認

記事

中電技術コンサルタント株式会社
 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8

建設コンサルタント登録 建 26 第378号
 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号
 1級建築士登録 藤本 誠二
 第293685号

1級建築士登録 小笠原 勲
 第322322号

校閲 藤本
 設計 小笠原

設計年月日
 2025.03.

工事名称
 (仮称)賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事
 図面名称
 給排水衛生設備 器具表・樹リスト・勾配図・平面図

図面番号
 M-04
 縮尺
 1/50

機器表(既設)						
記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備考
ACP 1	パッケージ型空調機 高効率上位タイプ インバータ制御 280形 (ツインタイプ)	4方向吹出カセット形	3φ200V	1	児童クラブ	
		定格冷房能力 25.0kW 定格暖房能力 28.0kW 付属品 ワイヤードリモコンスイッチ、室外機架台、その他付属品共 アクティブフィルター共				
RAC 1	ルームエアコン 22形	壁掛形	1φ100V	1	和室	
		定格冷房能力 2.2kW 定格暖房能力 2.5kW 付属品 ワイヤードリモコンスイッチ、室外機架台、その他付属品共				

機器表(既設)						
記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備考
HEU 1	全熱交換器 (24時間換気(内1台))	天井埋込形(隠蔽タイプ)	1φ100V	2	児童クラブ	
		処理風量 420m³/h × 50Pa 付属品 200φ用SUS製丸型防風板付(覆付・7d水切・網・焼付塗装)×2 天井吊金具、24時間用2010-44付共				
FE 1	天井扇	便所用	1φ100V	2	便所	
		処理風量 60m³/h × 50Pa 付属品 100φ用SUS製深型7-d(防虫網付・水切板付・焼付塗装共) 防振吊金具				
FE 2	天井扇	台所用	1φ100V	1	台所	
		処理風量 50m³/h × 50Pa 付属品 100φ用SUS製深型7-d(防虫網付・水切板付・焼付塗装共) 防振吊金具				
FE 3	天井扇	一般用	1φ100V	1	和室	
		処理風量 120m³/h × 50Pa 付属品 100φ用SUS製深型7-d(防虫網付・水切板付・焼付塗装共) 防振吊金具				

特記事項

定格能力及び消費電力は、JIS B 8016 に規定された条件による値とする。

機器は製造者標準仕様機器は製造者標準仕様(グリーン購入法適合品)とする。

配管等の防火区画貫通は、令129の2の4及び告示1422号による。

耐震措置は「建築設備耐震設計・施工指針」による。

冷媒配管サイズは参考とし、メーカー選定後仕様にあったサイズとすること。

1次側電源工事は、電気工事とする。

セパレート式の屋内外連絡配線・電源線は、本工事とする。

コントロールスイッチの取付・配線は本工事、配管・リモコンボックス取付は電気工事とする。

屋外機取付用アンカーボルト、ナットはステンレス製(Wナット)～本工事

冷媒ガス充填が必要な場合は本工事にて行うこと。

ドレン立下り部には間接排水口及び防虫網(室内側)を設置すること。

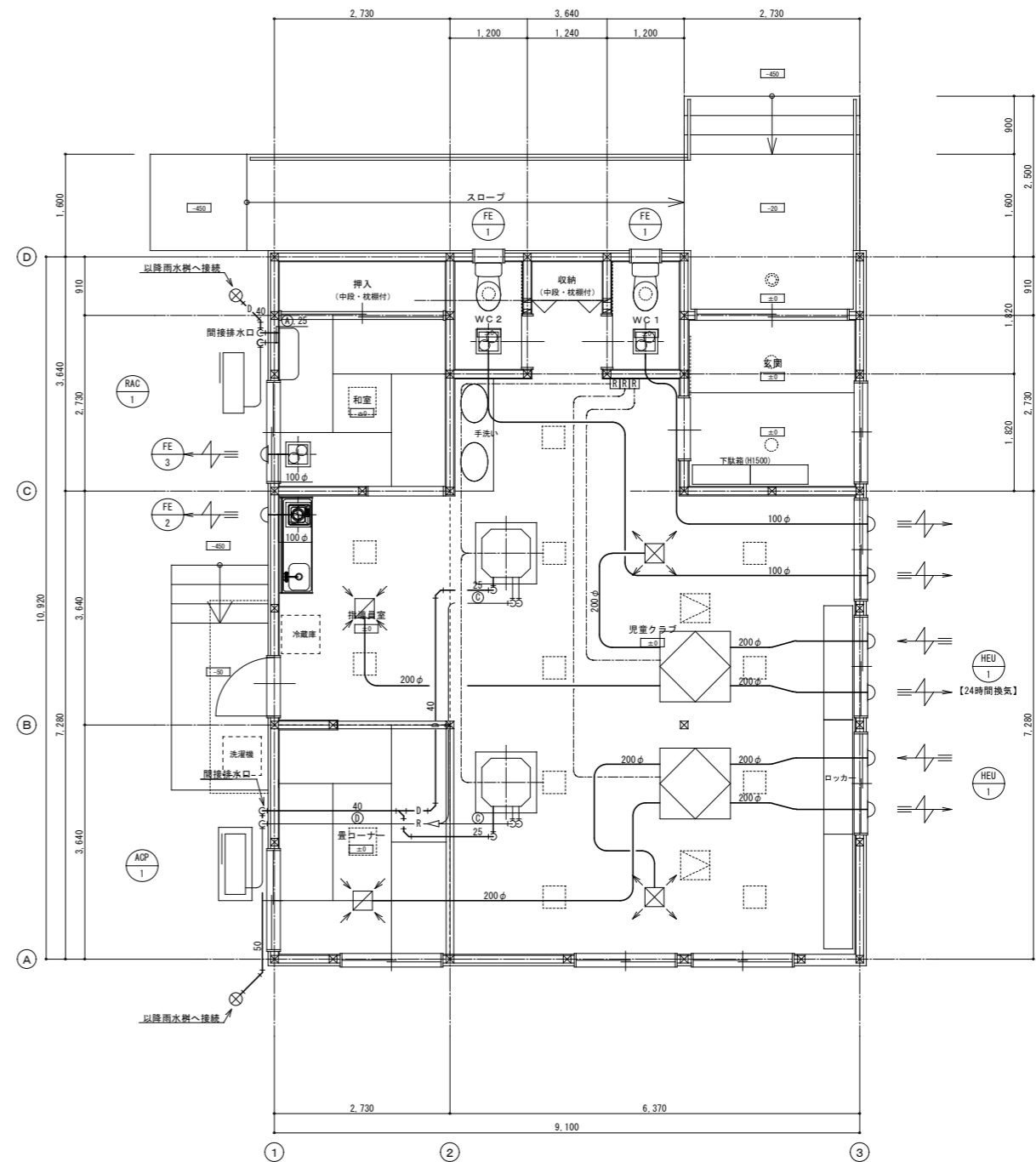
アクティブフィルター～屋外機間の配管、配線、接続は機械設置工事とする。

令第129条の2の5、換気設備に準拠すること。

換気用機器の1次側電源工事は、電気工事とする。

換気用のスイッチ(取付・ボックス共)・配管・配線は電気工事とする。

火気(電気コンロ等含む)を使用する排気ダクトはロックウール50mm/mにて断熱被覆とする。



1階平面図 S:1/50

---	リモコン配線 (EM-CEES1.25°-2C)
[R]	空調用リモコン

※配線種は参考とし、各メーカーの基準に準じて施工を行うこと。
※空調室内機から室外機への配管は冷媒配管共巻とする。(配管図参照)
※配管及びリモコンボックスは別途電気工事とする。

冷媒配管表(参考)	
△	6.4φ、9.5φ
◎	9.5φ、15.9φ
○	12.7φ、25.4φ

御承認	記事	中電技術コンサルタント株式会社 広島市南区出汐2丁目3番30号 TEL. 082-255-5501-8	建設コンサルタント登録 建 26 第378号 1級建築士事務所登録23(1) 第1252号 1級建築士登録 第293685号 藤本 誠二	校閲 小笠原 勲 設計	工事名称 (仮称)賀茂川学園整備に伴う放課後児童クラブ新築工事 図面名称 空気調和・換気設備 機器表・1階平面図	図面番号 M-05 縮尺 1/50
-----	----	--	--	-----------------	---	----------------------------